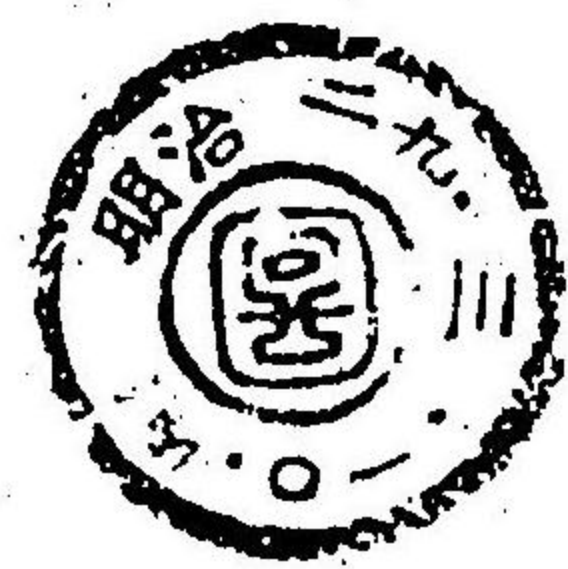


矢津昌永著



中萬國地誌 上卷

東京 丸善株式會社



學中萬國地誌自序

萬國地誌成ル。茲ニ編述ノ主旨ヲ記シテ以テ序トス。本書ハ日本地誌ニ於テ希望セル四要點ノ主旨ヲ益々進ンテ一層其範圍ヲ擴メタルモノ也。抑々日本地誌ニ於テハ只身邊四圍ノ事情ヲ明ニシテ我郷土ノ愛スベキヲ知リ。觸目スル山河ノ秀麗ニ依リテ美想ヲ養ヒ。内國產物ノ產地產額ヲ詳ニシテ益々其發達ヲ圖リ。又我國內ニ於ケル風

土ノ差違ヲ觀察スル等其眼界總テ日本國
内ヲ出テスト雖進シテ萬國地誌ニ至レ
バ眼ヲ海外ニ一轉シテ萬里ノ遠キヲ望ミ
既ニ學ベル我帝國ヲ中心トシ基礎トシ總
テ我國ト比較的ニ考究シ彼ノ長ヲ採リテ
我短ヲ補フモノトシ歐米的地誌即チ翻譯
的地誌ノ舊套ヲ去リテ必ス日本的ニ學ハ
サルベカラス。故ニ世界種々ノ國體ヲ學ヒ
テハ如何ニ我帝國ノ萬國ニ卓越スルヤヲ

知り又其風土ヲ學ヒテハ彼ノ山川草木及
氣候ハ如何ニ我山水ノ美我氣候ノ暢和ニ
若カサルヤヲ知り。各國ノ產物ニ就テハ其
産額販路ハ如何、又吾人ハ如何ニ之ヲ利用
スベキヤ、若クハ吾人カ現ニ駕シテ馳セツ
、アル軌道ハ何國ノ鐵坑ニ仰キシヤ、吾人
カ衣テ暖ヲ取ル毛織、温ニ眠ル毛布ハ何地
ニ産セシヤ、棉花ハ何地ニ餘リアリテ蠶糸
ハ何國ニ需用スルヤ等ヲ學ヒ以テ益々通

商貿易ノ發達ヲ計ル豫備トセサルベカラ
ズ。又地球ノ各所ニハ人智大ニ進ミ所謂鬼
神ヲ役シ天巧ヲ奪ヒ錦衣玉食文明ニ誇ル
ノ民アリ、或ハ裸體跣足獸類ト群ヲ成シ昆
蟲ヲ食トスルノ蠻人、若クハ毛衣脂食シ氷
雪堆裏ニ埋居スル可憐ノ寒民アリ此等ノ
土俗風習ハ如何ニ我國風ト差違アルカラ
察スベシ斯ノ如ク、自カラヲ知リ又他ヲ知
ルノ原則ニ遵ヒ海外萬里ノ事情ト雖モ恰

モ比隣一家ノ如ク充分ニ偵察ヲ盡シ以テ
商戰學爭ノ優勝ヲ制セサルベカラズ
亞細亞地誌ヲ學ブ者ハ既ニ遍チク日本國
中ノ遊歴ヲ了リ更ニ九州ヨリ一筆水ノ朝
鮮海峡ヲ渡リ亞細亞大陸ノ新旅程ニ上ル
者ト想像シ假ニ身ヲ其位地ニ逍遙セシム
可シ、先ツ釜山ヨリ上陸シテ衰退ノ半島國
ヲ過キ、鴨綠江ヲ涉リテ尨大ノ老帝國支那
ニ入り其天然ノ富源、絶大ノ版圖、住民國運

ノ現況ヲ察シ。次ニ醉生夢死ノ間ニ彷徨ス
ル後印度諸邦ヨリ。無盡藏ノ富ト、二億八千
餘萬ノ民トヲ有シテ英領ニ歸セル印度ヲ
見舞ヒ、英露ノ爭地タリシ伊蘭、洲内ノ獨立
王國タル波斯、張幕人ノ本據タル亞良比亞
ヲ歷遊シ、一轉シテ洲ノ北邊ニ連リ荒涼寂
漠ノ一大平原タル西伯利ハ今如何ニ發動
セントシツ、アルヤヲ見。最後ニ亞細亞土
耳其二至リテ其人情風俗ヲ察シ遂ニだる

だねるすノ一海峡ヲ涉リテ更ニ歐洲山河
ノ跋涉ヲ始ムルモノトシ、歐洲ヨリハ對岸
ノ亞弗利加、亞弗利加ヨリ米國、米國ヨリ濠
洲ニ及ホシ。終ニ端無ク世界ヲ遍歷スルモ
ノト假想セサルベカラス、而ノ何洲何國ノ
地誌ヲ學ブ間ニモ常ニ我國トノ關係連絡
ヲ取り我國ト比較シ決シテ個々別々互ニ
相分離セサランコトヲ務ムベシ。要スルニ
世界ハ我郷ニシテ四海我兄弟也、我郷ノ山

河到ル處棲ムベク、我郷ノ天産悉ク利用ス
ベシ、我兄弟ノ消息傳フベク、我兄弟又悉ク
交ルベシ、此思想以テ萬國地誌ヲ終ルベキ
也

明治二十九年紀元節 著者識

中^學萬國地誌例言

一、本書ノ用意ハ序言ニモ示セル如ク從來
ノ萬國地誌ハ概テ「歐米ノ地誌ヲ翻譯シ
來ル物ナルヲ以テ歐洲若クハ米國ノ
學生ニ課スベキ書」ニシテ固ヨリ本邦學
生ノ爲ニ適切ナル物ニ非ス本書ハ其通
弊ヲ認メ外國地誌ヲ成ルベク日本的ニ
學バシメンテ期セリ

二、各國誌ハ大抵其國實地遊歷ノ學者ニ就

テ一々其現況ヲ糺シ其事實ヲ確メ學生
 ヲシテ其國ノ實勢ヲ誤ラザラシメン
 ヲ務メタリ
 三、前項ノ外、通商局出版ノ通商彙纂●States-
 man's Year Book 1895。各公使館、領事
 館報告等ヲ以テ之ヲ補ヘリ
 四、地名、人名ノ讀方、書方ハ地理歴史名稱會
 議決ノ方針ニ據レリ
 地理歴史名稱會ハ普通教育上困難ナル外國

ノ地名、人名ノ讀方、書方ヲ一定スルノ目的ヲ
 以テ時々高等師範學校ニ於テ會スルモノニ
 シテ帝國大學、高等師範學校、高等學校、學習院
 等其道ノ學者ヲ以テ成ル
 五、度量衡等ノ數量ハ成ルベク本邦制ニ改
 算シ本邦ト比較シ易カラシム、但シ各國
 通貨ハ時々換算率ヲ異ニスルモノナレ
 バ左表ヲ參照スベシ(明治二十八年
十二月大藏省告示)

國	名	外 國 貨 幣	日 本 銀 貨
英	吉	一磅(ポンド)	九・二四

獨逸	一馬(マーク)	四四六
北米合衆國	一弗(ドルラル)	一・八七二
佛蘭西	一法(フランク)	三六二
瑞西	一法(フランク)	三六二
白耳義	一法(フランク)	三六二
伊太利	一リラ	五〇二
丁抹	一クロイン	五〇二
瑞典	一クロイン	五〇二
那威	一クロイン	五〇二
和蘭	一ギルドル	七五四
西班牙	一ペセタ	三六二
葡萄牙	一ミルリ	二〇二四

土耳其	一ピアストル	〇八二
澳地利、匈牙利	一クロイナ	三八〇
英領印度	一ルーピー	五二七
支那	一兩(テール)	一・三七九

中學萬國地誌 上卷目次

◎總叙

○地球ト天體	一
地球ノ大サ	四
○地球ノ運動	五
氣候帶	八
○水陸ノ配置	〇
○生業及天產物	一三
動物產	一三
植物產	一四
○社會	一五
社會ノ等級	一七

○人種	一八
人情	二〇
言語	三一
○宗教	二二
○國家	二四
○國體	二四
政體	二五
◎亞細亞洲總論	二七
○地形	二八
○沿海	三〇
○氣候	三二
雨量	
風	

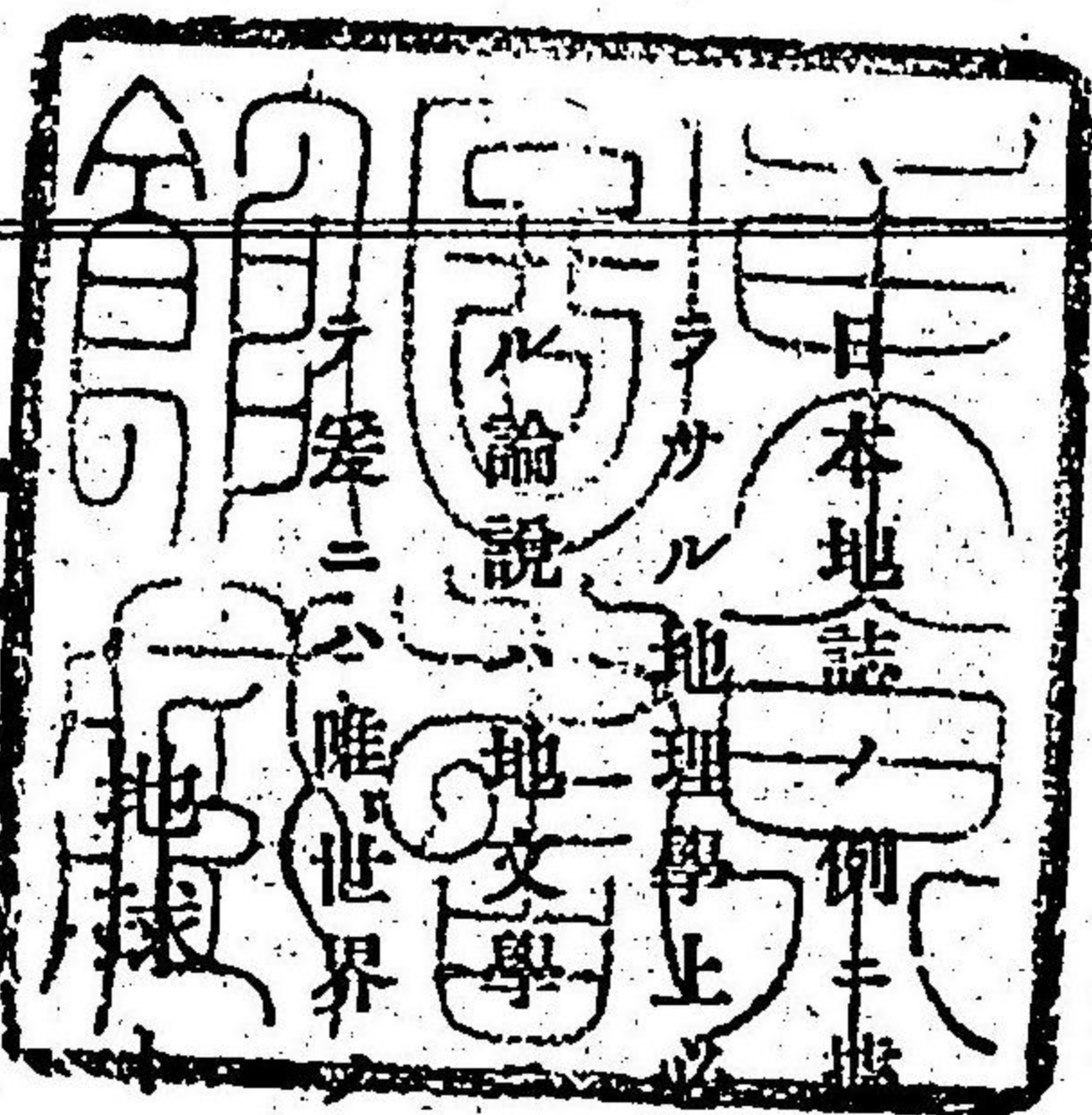
○天產物	三四
○政治區畫	三五
○國體及政體	三七
○住民	三九
人情	
習俗	
○宗教	四二
◎各國誌		
○朝鮮王國	四五
○支那帝國	六九
內藩	七〇
外藩	一〇二
滿州(一〇二)	
蒙古(一〇四)	
○安南	一一三

○暹羅王國	一一九
○緬甸	一二五
○巫來半島	一三一
○印度	一三五
○土耳其斯坦(西韃靼)	一四九
○阿富汗及比耳路斯坦	一五三
○波斯王國	一五七
○亞良比亞	一六三
○亞細亞土耳其	一六九
○西伯利	一七五

中萬國地誌上卷目次終

中萬國地誌上卷

矢津昌永著



日本地誌ノ例ニ據リ中等教育トシテ萬國地誌ヲ學フニ豫知セサルヘカ
ラカル地理學上必要ノ意義并ニ學語等ヲ解説スヘシ然ルニ天然ニ關ス
ル論說ハ地文學
ニ差ニシテ世界
地誌ヲ學フニ必要ナル事項ヲ略説スルニ止ムヘシ
天體

○太陽系 我地球ハ宇宙ノ間ヲ運行スル一ノ遊星ニシテ空間無數
ノ群星中我地球ハ他ノ諸遊星ト共ニ自カラ一系統ヲナシ我太陽ヲ中
心トシテ其周圍ヲ運行スルモノナリ此ノ系統ヲ指シテ太陽系(Solar

system)ト云フ我太陽系中重モナル遊星八個アリテ太陽ノ周圍ヲ各々一定ノ經路即チ軌道ニヨリテ運行ス而シテ各星體ノ大小太陽ヨリハ距離各同シカラス今太陽ニ近キモノヨリ擧クレハ水星金星地球火星此間ニ小遊星アリ木星土星天王星海王星是ナリ則チ我地球ハ太陽ヲ距離第三位アリテ太陽トノ平均距離ハ凡九千二百萬哩アリ其周圍ヲ一周廻スルニハ三百六十五日四分ノ一則チ一年ヲ要ス最モ遠キ海王星ハ地球ト太陽トノ距離ニ凡三十倍シ其一周廻ニハ百六十五年ヲ要ス以テ我太陽系ノ廣大ナル知ルヘシ

次ニ八遊星ノ大小ヨリ謂ヘハ地球ハ第五位ニシテ直徑七千九百哩アリ最モ大ナル木星ハ其直徑八萬五千哩ニシテ最モ小ナル水星ハ三千哩ノ直徑アリ而シテ太陽ハ系ノ中心ニ位シ其直徑ハ八十五萬哩餘ニシテ八遊星ヲ混合シタルモノヨリ尙ホ大ナルヲ約五百倍ニシテ地球

△

ノ百二十萬倍ノ大サアリ

太陽ハ我太陽系全體ニ與フル光及熱ノ本源ナリ彼ノ諸遊星カ光輝ヲ放シカ如キ又我地球ノ晝間吾人ヲノ明ニ物ヲ視ルヲ得セシムルカ如キ則チ太陽ノ光ニヨルナリ又太陽ノ射熱ハ甚タ強烈ニシテ九千二百萬哩ノ遠距離ナル我地球ニ及ホス熱ハ吾人ノ日常實驗スル所ノ如シ

諸遊星ニ附屬シテ主星ナル遊星ノ周圍ヲ旋轉シ且ツ主星ト共ニ運行スル小星アリ之ヲ衛星ト云フ月ハ則チ我地球ノ衛星ナリ

月ハ太陽ニ對シ太陽ト稱セラル肉眼ニテ見ル時ハ頗ル大ニシテ太陽ト大差ナキカ如クナレモコハ只其距離ノ地球ニ近キガ故ニシテ其實諸遊星ニ比スレバ甚タ小ニ月球ノ直徑ハ僅ニ二千六百十二哩ニ過キス其容積ハ地球ノ約五十分ノ一ナリ而シテ地球トノ平均距離ハ二十萬八千八百哩ナリ

△

月ハ地球ノ周圍ヲ橢圓形ナル軌道ニヨリテ凡二十九日半ニシテ一周廻ス是レ即チ太陰曆ノ一ヶ月ナリ又月ニモ自轉アリテ凡二十七日三分ノ一ヲ以テ一回轉ス故ニ月ニハ三様ノ運動アルモノト知ルヘシ月ノ輝クハ太陽ノ光ヲ受ケテ反射スルニヨル而シテ強ク白ク輝ク部分ト稍々薄黒キ部分アリ其輝ク所ハ高所ニシテ日光ヲ反射スルト強ク又薄黒キハ原野又ハ谿谷等ノ凹所ナリ高所ハ概チ火山ノ遺跡ニシテ最高二萬尺ニ超ユヘシトノ説アリ又月球ニハ空氣ナク水ナキヲ以テ生物ナカルヘシトナリ

●地球ノ大サ 地球ノ形ハ圓體ナレバ赤道部ハ稍々膨大シテ兩極ニ平扁ナリ故ニ其直徑ニハ差ナキヲ得ス即チ赤道ノ直徑ハ七千九百二十五哩ニシテ兩極ノ直徑ハ七千八百九十九哩ナレハ二十六哩ハ差アリ而シテ其平均直徑ハ七千九百十六哩ナリ(約シテ八千)赤道ノ周

圍ハ二萬四千九百哩(約シテ二萬五千)ナルヲ以テ一時間二十哩ヲ走ル流車ニテ一周スルニハ約五十三晝夜ヲ要スヘシ又地球ノ面積ハ約一億九千七百萬方哩ナリ

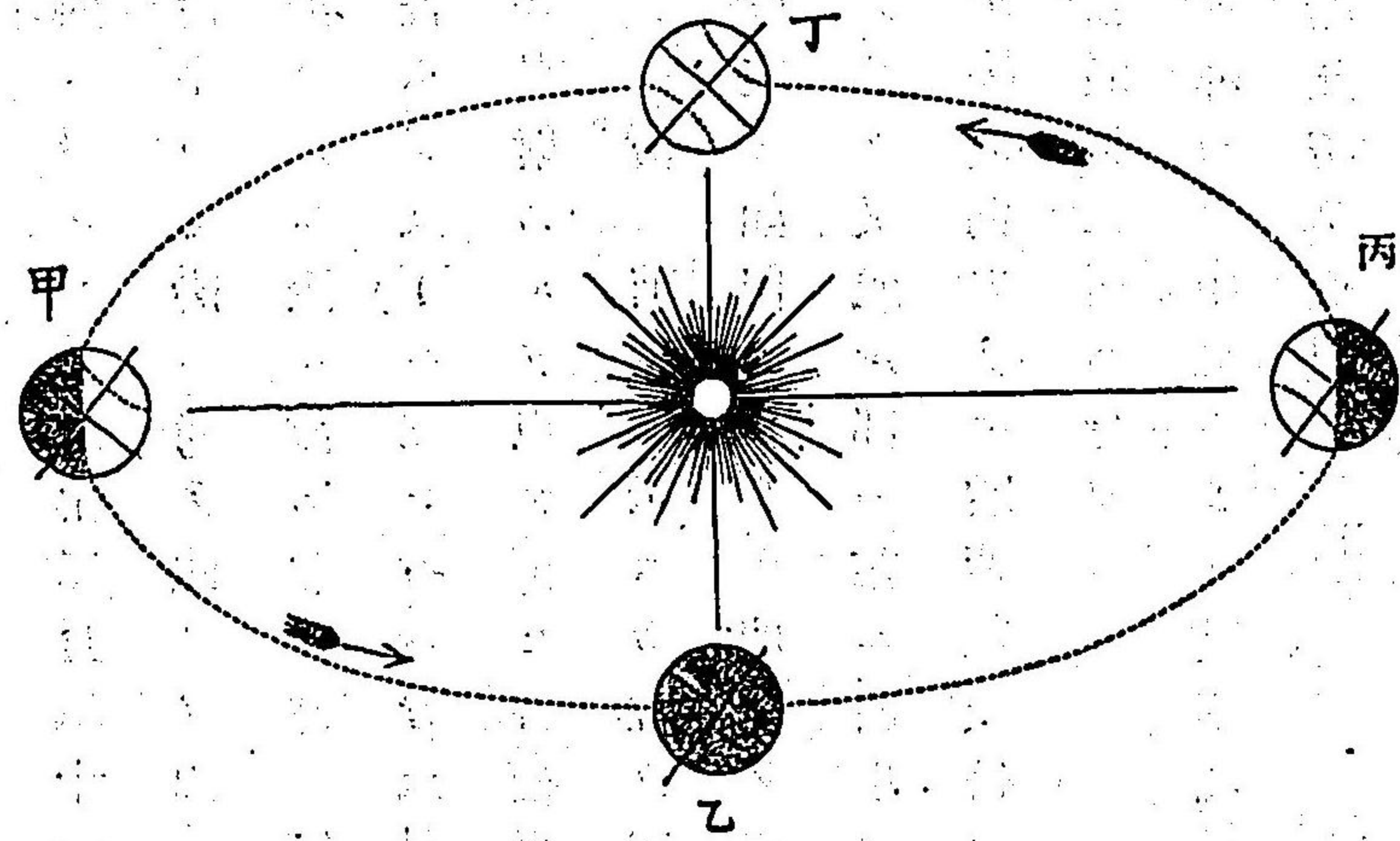
地球ノ運動

●公轉及自轉 地球ニハ二種ノ運動アリ一ハ恰モ獨樂ノ廻ルカ如ク自己ノ中線ヲ軸トシテ回轉スル運動ニシテ自轉(或ハ私轉又曰助ト云フ)ト云フ。一ハ太陽ノ周圍ヲ軌道ニヨリテ旋轉スル運動ニシテ之ヲ公轉(或ハ助年ト云フ)ト云フ。自轉ハ斷ヘス西ヨリ東ニ向テ約二十四時間ニ一回轉ヲ果スモノナリ其一回轉ヲ一晝夜即チ一日ト云フ而シテ自轉ニヨリ太陽ニ對スル半面ハ晝トナリ其背ク半面ハ夜トナルナリ自轉ノ速度ハ赤道ヲ距ル遠近ニ應シテ差アリ赤道部ハ其周圍最モ大ナルカ故ニ自轉ノ速度モ亦最モ大ナリ則チ二萬四千九百哩アル周圍ヲ僅ニ二十四時間

ニシテ一周スレハ一時間ニ一千里以上ヲ走ラサルヘカラス然レモ兩極ニ近ツクニ從ヒ周圍小トナルヲ以テ速度モ次第ニ減シ兩極ニ至リテ遂ニ無ニ歸ス我日本ニテハ一時間ニ約八百哩乃至九百哩ヲ走ルモノト知ルヘシ斯ク大速度ヲ以テ毎日西ヨリ東ニ回轉シツ、アルニ吾人ノ之ヲ感セサルモノハ地上ノ萬物皆共ニ運動シ面邊目標トナルヘキ物ナキヲ以テナリ唯太陽ノ朝ニ東ニ出テ、西ニ走ルカ如ク見ヘルモノハ著シキ地球回轉ノ證ニシテ猶ホ氣車ニ乘リテ窓外ノ物皆ナ我後ニ走ルカ如ク見ヘ氣車ノ走ルヲ忘ル、ニ異ナラス

地球公轉ノ速度ハ自轉ノ速度ニ比スレハ一層大ニシテ一時間ニ平均六萬八千哩ヲ走り而シテ尚ホ三百六十五日四分ノ一ヲ以テ一公轉ヲ果スナリ地球ノ軌道ヲ旋轉スルヤ地軸ハ軌道面ニ對シテ常ニ六十六度半ノ傾斜ヲ保テリ此ノ傾斜アルカ故ニ地球上ニ四季ノ更代晝夜ノ長

圖之環循季四



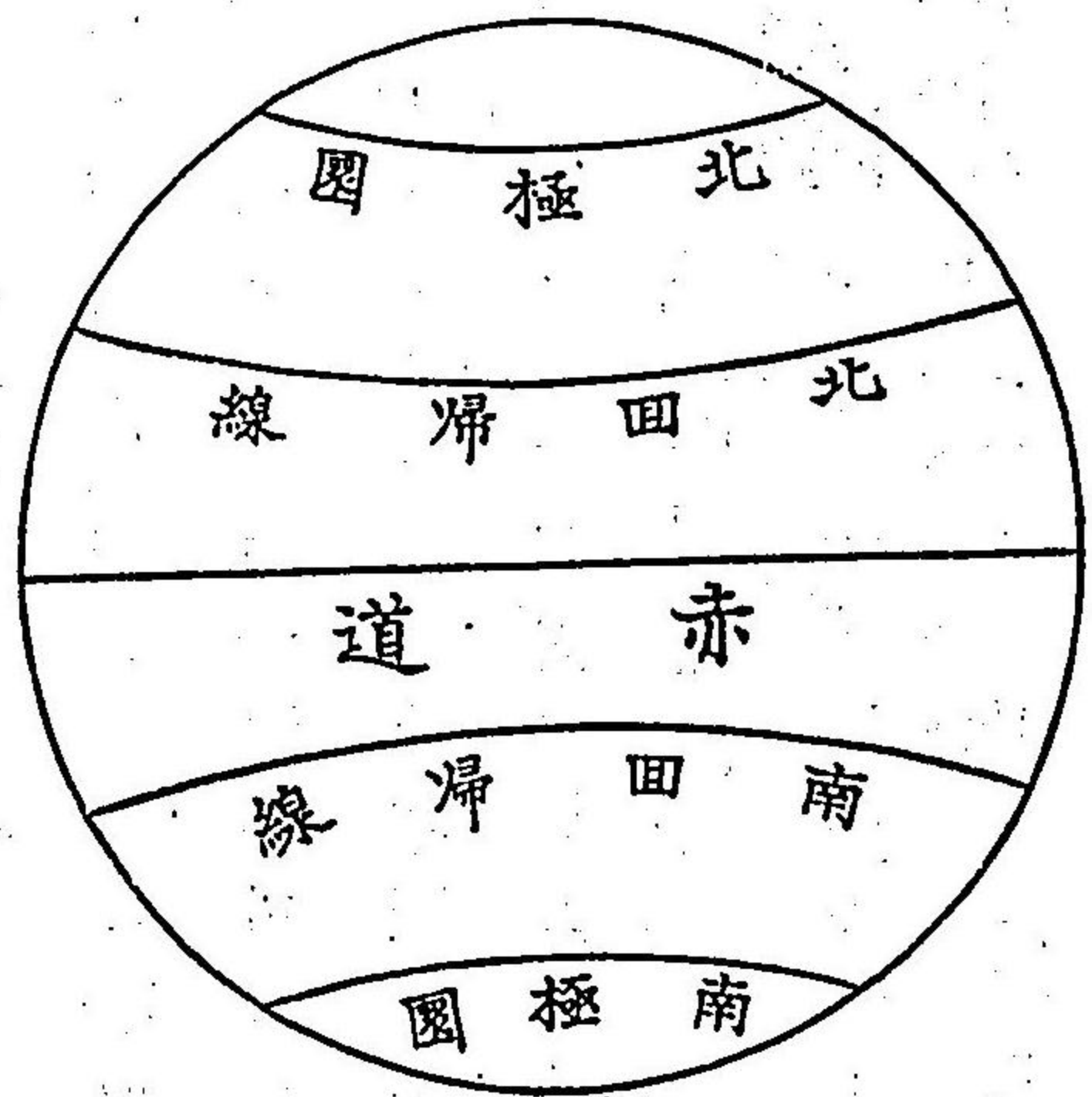
短ヲ生セシムル原因トナルナリ左ニ其理由ヲ説クヘシ

上ニ示ス四季循環ノ圖ニ就テ見ルヘシ地球(甲)ノ所ニアルハ六月二十一日ノ位置ヲ示ス此時ニアリテハ地球ノ北半太陽ニ向テ傾クヲ以テ太陽ハ北緯二十三度半(夏至)ノ處ニ直射ス故ニ北半球ハ暑氣強クシテ晝最モ永シ夏至是ナリ地球移リテ(乙)ニ至レハ秋分日(九月廿三日)ナリ此日ハ太陽赤道ニ直射シ地球上晝夜平分ナ

リ又丙ニ遷レハ冬至十二月二十一日ニシテ地球ノ北半太陽ニ背キテ傾キ南半ハ太陽ニ向テ傾クヲ以テ南緯二十三度半ナル冬至線上ヲ太陽直射スルニ至ル故ニ北半球ハ寒冷ニシテ晝最モ短ク南半ハ暑候ニシテ晝永シ又丁ニ遷レハ春分三月二十一日ニシテ(乙)ト全ク太陽赤道ニ直射スルヲ以テ再ヒ晝夜平分トナルナリ

●氣候帶 前項ニ示スカ如ク四季ノ循環アルノ外地球カ太陽ニ對スル位地ノ如何ニヨリテ地球ノ或ル部ハ比較的ニ常ニ太陽ノ直射ヲ受ケテ熱ク又或ル部ハ常ニ斜射ヲ受ケテ寒ク又或部ハ其中ヲ得テ温暖ナル等ノ別アリテ所謂氣候帶ナルモノヲ生ス地球上ノ氣候帶ハ之ヲ熱帶。溫帶。寒帶ニ分ツ

熱帶ハ赤道ヲ中央トシテ其南北各々二十三度半ニ至ル一帶ナリ太陽ハ終始此帶ヲ往復シ地球ノ公轉ニヨリ太陽往復スルカ如ク見ユ夏期北進スルモ北緯二十三度



半以北ニ至ラスシテ再ヒ南ニ回歸ス此回歸限界ニ一線アリテ地球ヲ一周スルモノト相像シテ北回歸線(Tropic of Cancer)或ハ夏至線ノ名アリ又冬期太陽ノ南ニ至ルモ南緯二十

三度半ヲ踰ヘス再ヒ北ニ回歸ス是レ南回歸線(Tropic of Capricorn)或ハ冬至線ノ名アルモノナリ斯ノ如ク此帶ニ於テハ太陽常ニ頭上ヲ往復シテ直射(比較的ニ)スルヲ以テ氣候炎熱ニシテ草木ノ繁茂著シク巨大ノ動物棲息シ住民概チ野蠻ナリ

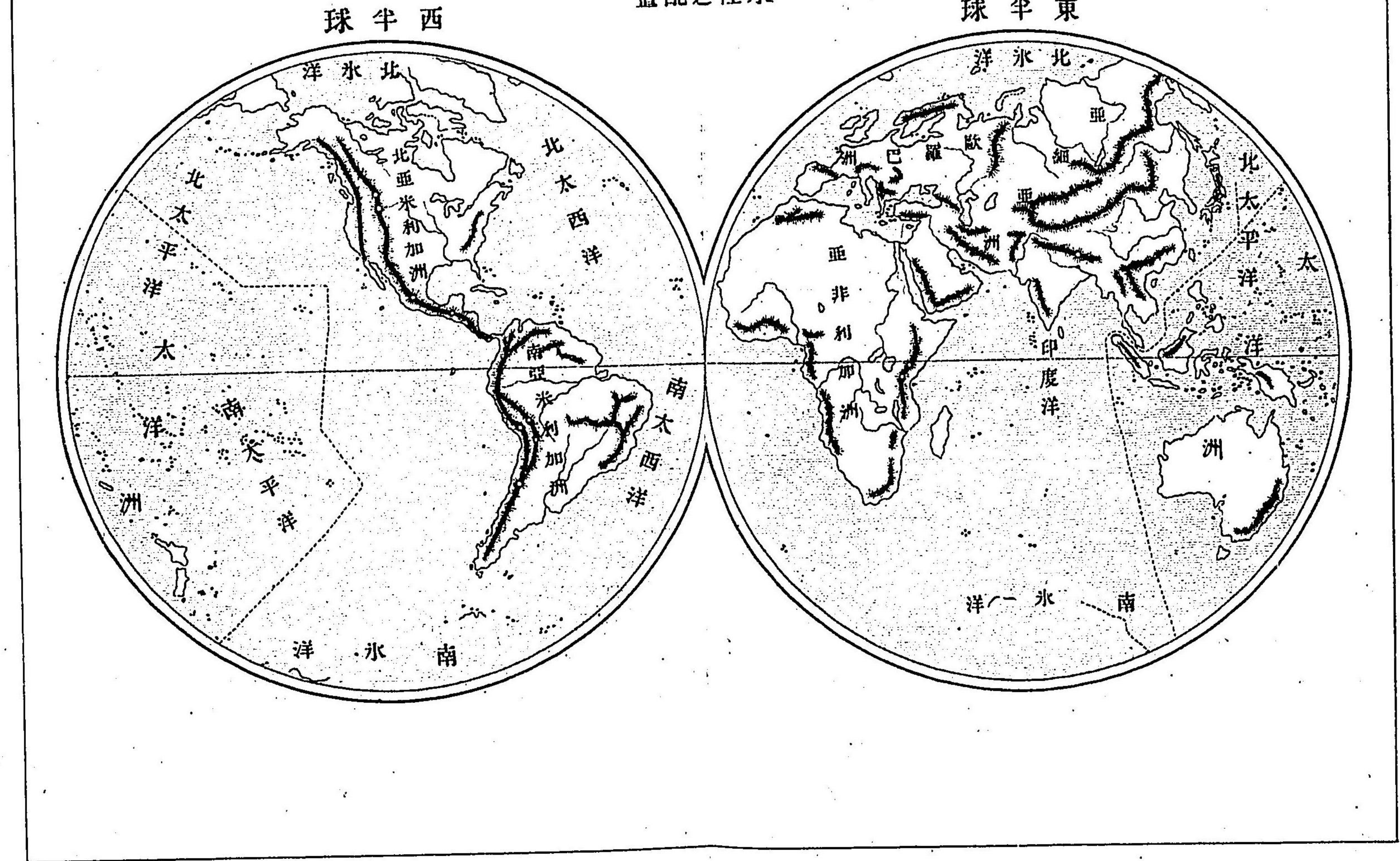
溫帶ハ熱帶ノ兩側ニアリ夏至線ヨリ北緯六十六度半即チ北極圈ニ至ルマテヲ北溫帶ト云ヒ冬至線ヨリ

南緯六十六度半ナル南極圈ニ至ル間ヲ南温帶ト云フ。温帶ノ氣候ハ寒
暖中ヲ得テ有用ノ動植物ヲ生シ人智ノ發達ニ適シ優勝ノ國多シ
寒帶ハ南北兩極圈ヨリ極ニ至ルマテニシテ北ヲ北寒帶ト云ヒ南ヲ南
寒帶ト云フ。寒帶ハ太陽斜射スルニヨリ氣候沍寒ニ概テ冰雪ヲ以テ埋
メラレ極ニ近キ所ハ半年間ハ全ク晝ノミニシテ夜ナク他ノ半年ハ夜
ノミニシテ全ク日光ヲ見ズ動植物共ニ種類少ナク人口モ亦稀ナリ

水陸ノ配置

●水陸ノ積 地球表面ハ陸ト水トヨリ成ル而シテ水面ノ積ハ凡一
億四千五百五十萬方哩ニシテ陸面ノ積ハ凡五千二百萬方哩ナリ故ニ
其比ハ水²⁵⁰ニ陸¹ニ當ル而シテ水面ハ南半球ニ多ク陸面ハ北半球
ニ多シ故ニ地球上ノ人事ハ北半球ニ旺盛ナリ
陸地ハ三大塊ヲ成セリ東半球(西經十七度四十分ヲ以テ東西兩半球ヲ

兩半球之圖
水陸之配置



分ツニアル大陸ハ廣大ニシテ之ヲ東大陸ト稱シ其面積三千二百二十萬方哩アリ東大陸ノ南ニ南大陸アリ其面積三百十七萬方哩アリ西半球ニアル大陸ハ之ヲ西大陸ト稱シ其面積一千五百七十萬方哩アリ故ニ陸地ハ著シク東半球ニ多シ特ニ陸地ハ地球ノ東北ニ偏シ水ハ西南ニ偏ス是ヲ以テ人類ノ競作營逐ハ常ニ地球ノ東北ニ多シ

三大陸ハ之ヲ六大洲ニ分テリ其名稱面積左ノ如シ(面積ニハ島嶼ヲ算入ス)

- 亞細亞洲 一千七百萬方哩
- 東大陸 亞非利加洲 一千四百四十萬方哩
- 歐羅巴洲 三百八十萬方哩
- 西大陸 北亞米利加洲 八百七十萬方哩
- 南亞米利加洲 七百萬方哩
- 南大陸 大洋洲 四百七十萬方哩

殆ト陸地三倍ノ廣サアル水面ハ之ヲ太平洋ト稱シ重モニ南半球ト西半球トニ偏セリ而シテ陸地ノ如ク箇々ニ分離セス水界ハ至ル處相連絡シ交通ノ便ヲナスコト甚タ大ナリ。又水界ハ限底ナキモノニアラス必ス陸地ヲ以テ底トナセリ其最深ノ所ト雖モ四千五十尋即チ二萬四千三百尺ニ過キス。故ニ大洋ハ球面ノ四所ニ湛ユル瀦水ノミ(海深ヲ現ハスニ尋ヲ以テス約我六尺ニ)水界ハ之ヲ五大洋ニ區別ス其名稱廣袤左ノ如シ

- 太平洋(東大陸ノ東西大陸ノ西ニアリ赤道以北ヲ北太平洋以南ヲ南太平洋ト云フ) 六千七百八十萬方哩
- 大西洋(東大陸ノ西ト西大陸ノ東ニアリ赤道以北ヲ北太平洋以南ヲ南太平洋ト云フ) 三千五百十六萬方哩
- 印度洋(南ニアリ) 二千五百萬方哩
- 北氷洋(東西兩大陸ノ北ニアリ) 五百萬方哩
- 南氷洋(西南兩大陸ノ南ニアリ) 四百五十八萬方哩

生業及天產物

地球ノ產物ニハ數多ノ種類アリト雖モ其原料ハ悉ク自然物ニ仰カサルベカラス自然物ハ動植礦ノ三品ニシテ其生産ノ配布ハ土地ト氣候トニ應シテ差アリ人類ハ天產品ヲ利用シテ生存シ又發達スルモノナリ故ニ人類ノ生業ナルモノハ其地天賦ノ富饒ナル物品ニ應シテ定マルヘシ例ヘハ家畜ノ繁殖ニ適スル地アレハ牧畜業者多ク穀産ニ適スル地ニハ農業者多ク又礦脈豐ナル所ニハ礦業ニ從事スル者多キカ如シ而シテ商業ハ生産者ト需用者トノ間ニアリテ相方ノ願望ヲ達スル媒介者ナレハ商業モ自然其地富産ノ物料ニ傾向セリ次ニ重モナル天產物(礦物ヲ除ク)ノ氣候及土地ニ對スル配布ノ概要ヲ述ヘシ

●動物產 動物ハ移住ノ性アレハ氣候ニヨリテ著シク産種ヲ異ニス先ツ熱帶地方ニ生スル動物ハ總テ體軀長大ニシテ其性獍猛ナリ獸類ニテハ象獅子斑馬(ジラ)駱駝猿猴類ヲ特産トシ虫類ニテハ鱗蜥蜴巨

蟒ヲ生ス鳥類ニハ鸚鵡、尹哥、風鳥、孔雀等羽毛美麗ノモノアリ熱帶産ノ
 動物ハ有用ノモノ少ナク寧ロ有害ノ動物多シ
 温帶産ノ動物ハ概テ有用ニシテ獸類ニ馬、牛、羊等諸種ノ家畜ヲ始メト
 シ鹿、猪等人力ヲ助ケ若クハ食用獸ヲ産シ其海水ニハ多クノ魚族ヲ生
 ス。虫類ハ巨大有害ノモノ少ナク鳥類ハ食用ニ供スヘキ有用ノモノヲ
 産ス
 寒帶産ノ動物ハ其種類頗ル少ナク僅ニ白熊、馴鹿、狐、獺等ニシテ鳥類、虫
 類ノ特産ハ甚タ少ナシ然レモ水産ハ甚タ豊ニ臘虎、臘肭、鯨ヨリ鱈、鯨等
 ニ富メリ故ニ住民ノ食料ハ重モニ海産ニ依ル
 ●植物産 植物モ氣候ニ應シテ大ニ其種類ヲ異ニス。熱帶ハ植物ノ
 發生盛ニシテ喬樹多ク概テ潤葉ノ常綠樹ニシテ終年落葉スルモノ稀
 ナリ榕樹、椴樹、椴類及香料多ク、椰子、檳榔、鳳梨、珈琲、芭蕉等總テ菓實ヲ結ヒ

住民ハ之ヲ常食トシ穀類ノ如キ能ク生スレモ務メテ耕スヲナサス
 唯々天與ニ安ニスルノ蠻民ナリ
 温帶ハ氣候適順ナルヲ以テ堅緻ノ用材タル植物ヲ生シ松柏、樺、檜、杉、樅
 ハ其特生樹ナリ又食料トシテハ嘉穀能ク産シ藍、綿、烟草モ亦能ク生セ
 リ故ニ人ハ此等ノ植物ヲ利用シテ著シク發達スルナリ
 寒帶ニ至リテハ温度ノ低キカ爲メ植物漸ク稀疎ニ極地近カクニ至レ
 ハ草木共ニ生セザルニ至ル其生スルハ矮小ノ楊、杜松、落葉松、樺等ナリ
 尙ホ北ニ進メハ夏季微カニ蘚苔ヲ生スルニ過ギス

社會

社會トハ人類ノ相結合シタル一ノ團體ニシテ協力同心ヲ以テ第一ノ
 要素トス故ニ始メテ社會ヲナスヤ人々食料ヲ得シカ爲メ團結シテ獸
 類ヲ追ヒ或ハ協力シテ敵ヲ防禦スルカ如キハ社會結合ノ始メナリ社

會ノ組織ハ實ニ人類ニ要用ニシテ若シ人類ニシテ社會ヲナサズ獨力ニテ事ヲ成ス時ハ常ニ憐ムヘキ状態ニ沈淪スルモノナリ彼ノ久シク野蠻ノ境界ニ停滯スル所アルハ主トシテ社會ノ組織完全ナラサレハナリ

社會ノ漸次發達スルト又否カラサルトハ天然のト人類のノ如何ニヨル則チ其土地ノ位置及形勢氣候天產物ノ多少等天然の又ハ其種族體質ノ強弱性情ノ如何人類の等ニヨルナリ萬國ノ地理ヲ學ブモノハ各地ニ就キ以上ノ諸點ニ注目シテ國ノ盛衰興亡アル所以ヲ究メサルヘカラス

今社會ノ發達ニ適スル各原由ヲ記スレハ天然のニアテハ先ツ土地ノ位置ハ溫帶ニ位シテ海ニ遠カラス交通自在ニシテ氣候快美ニ地勢ハ種々ニ分レ人力ヲ加フレハ有用トナルヘキ天產ノ原料特ニ礦物ニ富

マサルヘカラス○又人類のニアリテハ住民ノ體質強壯ニシテ久シク勞ニ耐ヘ能ク外界ノ事物ヲ制スルノ能力ヲ有シ協心同力シテ事ニ從フノ義氣ヲカルヘカラス

◎社會ノ等級 社會ハ發達ノ度ニ應シテ之ヲ未開半開開明ノ三

大級ニ分ツ 未開社會ハ人民ニ協同ノ心乏シク常ニ散在シテ個々ノ運動ヲナシ或ハ僅ニ小部落ヲ建テ昆虫若クハ魚獸ヲ食シ生活甚タ劣等ナリ其最モ劣等ナル種族ニ至リテハ協同ノ何物タルヲ知ラス徒ニ互ニ相鬪爭ヲ事トスル者アリ之ヲ野蠻人ト云フ其稍々進歩シタルモノハ往々大ナル部落ヲナシテ一ノ酋長ヲ戴キ或ハ牧畜ヲ業トシ張幕ヲ家トシ家畜ト共ニ水草ヲ逐フテ移轉スル張幕人種アリ或ハ土着シテ農耕ノ法ヲ知リ粗製ノ農具ヲ使用シテ禾穀ヲ食トスル土着人種アリ

半開社會ハ未開ニ比スレバ頗ル進歩シ人民ハ集居協同シテ政府ヲ建
 テ法律制度ヲ供ヘ其民ハ専ラ農耕ヲ業トシ禾穀ヲ收メテ之ヲ蓄ヘ多
 少ノ富ヲ有シ或ハ商業ヲ營ミ或ハ工業ヲ勤メ其技藝學術ノ如キモ稍
 々見ルヘキモノアリ然レモ社會ノ組織未ダ不完全ニシテ弊害尠ナカ
 ラス
 開明社會ニ至リテハ社會ノ組織總テ完全シ政治ハ國民ノ輿論ニヨリ
 テ執行シ人民ノ生命財產ハ安全ニシテ一般ノ教育大ニ進ミ智識博ク
 道德高ク職業ハ分業法行ハレ民度富豊ニシテ國強ク人民現世ノ最幸
 福ヲ享有スル者ナリ

人種

世界ノ人類ハ凡ソ十四億八千萬人(或ハ既ニ十五億ニ達セリト云フ)アリ其稟性風俗習慣
 固ヨリ相同シカラスト雖モ之ヲ數種ニ概括スルヲ得ヘシ今最モ行ハ

ル、概括法ハ人種ハ皮膚ノ色ニヨリテ區別スルコトニシテ黃人種白人
 種黑人種ノ三大團ニ分テリ之ニ銅色人棕色人ヲ加ヘテ五大人種トス
 然レモ下ノ兩種ハ其系統黃人種ニ屬スヘシト云フノ説アリ

黃人種ハ最モ多數ニ又最モ廣ク播布セル人種ニシテ其特相ハ皮膚稍
 々黃色ヲ帶ヒ頬骨高ク毛髮漆黒ニシテ鼻高カラス眼睛々釣リテ眼睛
 黒シ此種蒙古地方ホカチニ一大團ヲナスヲ以テ或ハ蒙古人種ト稱ス其北極
 地方ニ住スルモノハ軀軀長大ナラス

白人種ハ黃人種ニ亞イテ其數多ク皮膚白色ニ近ク頬骨高ク眼窠深ク
 シテ鼻隆準ナリ毛髮ハ灰色若クハ蒼色ヲ帶ヒ眼睛ハ概テ綠色ナリ此
 種ハ出所オカシニヨリテ高加索種ト稱ス印度ニ住スル者ハ印度歐羅巴種ノ
 稱アリ

黑人種ハ皮膚暗黒ニシテ口吻突出シ鼻ハ低クシテ其端廣ク頬骨後ニ

傾キ頭髮ハ多ク捲縮ス此種ハ其居所ニヨリテ亞○弗○利○加○人○種○ノ○名○アリ
 銅○色○人○ノ○黃○人○種○ト○異○ナル○點○ハ○氣○候○ニ○ヨリ○テ○皮○膚○ノ○稍○々○銹○銅○色○ヲ○帶○ヒ
 ルト其居所ノ黃人種ト頗ル懸隔セルニアルナリ即チ印○甸○種○或ハ亞○米
 利○加○種○ノ○名○アル○モノ○ナリ
 棕○色○人○モ○黃○人○種○ト○異○ナル○點○ハ○皮○膚○ノ○棕○色○即チ暗褐色ヲ帶ヒルニアリ
 一名巫○來○種ト稱スルモノナリ
 ●人情 ハ人種ニヨルヨリモ寧ロ其住所ノ地理的事情ニヨリ涵養
 セラル、ト多シ例ヘハ平原地ニ住スル人民ハ氣宇宏遠ニシテ小事ニ
 拘ラス然レハ精密ヲ缺キ粗大ニ陥ル傾キアルカ如ク又山間ノ住民ハ
 氣質自ラ偏狹ニシテ眼界卑近ナレハ眞摯樸實且ツ勇悍ノ風アルカ如
 シ故ニ人情ハ其局部ニヨリテ異ナルヲ以テ今一々之ヲ説明セサレハ
 學者宜シク各國各部ニ就キテ之ヲ觀ルヘシ

●言語

思想ノ發表ナレバ重モニ同一社會ニ行ハル故ニ言語ノ殊
 別ハ社會ノ異同ヲ辨別スル標識トナルモノナリ然レハ世界言語ノ種
 類ハ頗ル夥シク一地方ニ行ハル、方言ノ如キハ其類別際限ナシト雖
 凡ソ世界ノ土音ヲ三千五百餘種ニ別チ更ニ之ヲ一千餘種ニ概括シ
 次ニ廣ク行ハル、國語ヲ八十餘種トシ終ニ之ヲ左ノ三大統語ニ總括
 セリ
 (一)亞○爾○泰○統○語○亞○細○亞○ノ○東○北○部○大○半○ノ○言○語○ハ○皆○此○統○語○ニ○屬○ス○(二)ありや
 統○語○ハ○歐○羅○巴○及○印○度○人○一○般○之○ニ○屬○ス○(三)せみち統語ハ亞細亞西部
 人ノ使用スル語ナリ凡テ國語ハ國ノ存立ヲ表スルモノニシテ隨テ勢
 力盛ナル國ノ語ハ自ラ廣ク行ハル、ノ例ナリ故ニ昔ハ羅○甸○語○西○班○牙
 語○佛○蘭○西○語○其○國○勢○ニ○應○シ○テ○交○々○通○語○ト○ナリ○今○ハ○英○語○及○獨○語○ノ○行○ハル
 ルガ如シ然レハ方今ハ各國トモ自國語ヲ主張シ國際上ニモ自國語ヲ

用ユルヲ以テ公式トセリ

宗 教

何レノ地ヲ問ハズ人カノ及ハサル所ハ人類以上ノ有力アリテ人間ヲ支配スルモノト信シ所謂神ヲ尊崇スルノ習俗アリ之ヲ宗教ト謂フ而シテ神ハ一體ナリトノ尊信スルヲ唯神教ト云ヒ多種ノ神アルモノト信シ多クノ神體ヲ禮拜スルヲ多神教ト云フ左ニ各宗ノ概略ヲ述フヘシ

佛教ハ印度ニ於テ釋迦牟尼ノ主唱セシ教ニシテ専ラ因果應報ヲ説ク教ナリ最モ多數人ノ信奉スル教ニシテ凡ソ五億ノ人民ハ之レニ屬ス其播布ハ重モニ亞細亞ニアリ

基督教(Christian)ハ即チ耶穌教ト云フ亞細亞土耳其ニ於テ惠斯基督ノ主唱セシ博愛ヲ主トスル教ニシテ重モニ歐羅巴及北米ニ行ハレ後世左ノ三派ニ分レタリ(一)希臘教(二)羅馬加特力(Roman Catholic)即チ舊教(三)

ぶろてすたん(Protestant)即チ新教獨乙人るゝとるノ主唱セシヲ以テるゝとる教(Lutheranism)トモ云フ是ナリ其信徒ノ數一億三千萬人アリ

回教(Mohammedan)ハ亞良比亞ニ於テまほめつどノ主唱セシ教ニシテ吉凶禍福ヲ豫言スルモノアリ其播布ノ地積ハ甚ク廣ク亞細亞及歐羅巴ニ及ヒ其數二億人アリ

婆羅門教(Hindoo)ハ印度ニ於テ行ハレぶらまヲ以テ天地ノ主宰ト仰ク教ニシテ佛教ハ之ヲ改良セルモノナリ其徒凡一億五千萬人アリ

猶太教(Jews)ハ古ノ猶太國ニ起リ所々ニ散在スル猶太人之ヲ奉シ其數六百萬人アリ

蠻教トハ野蠻人ノ信スル教ノ義ナリ其旨義荒唐無稽ニシテ或ハ草木ヲ祭リ昆虫ヲ崇拜シ其他猛獸毒蛇等ヲ尊崇スル固陋ノ形式ニシテ宗

教中、最劣等ニ位ス諸種ノ野蠻人ハ之ニ屬スルヲ以テ其數二億人ニ下
ラサルヘシ

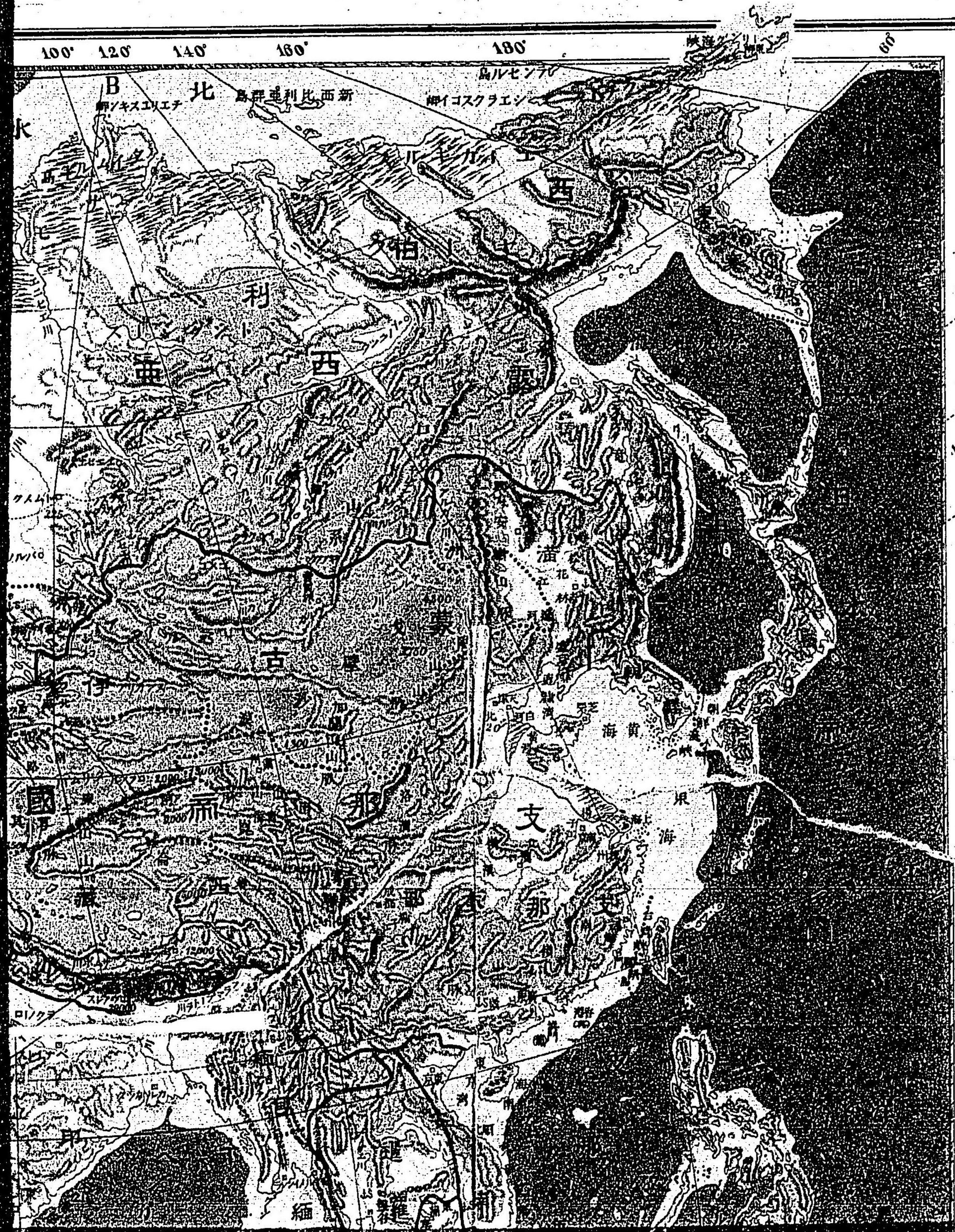
國家

國家ハ社會ノ一個獨立シテ主權ヲ有スル本體ナリ。既ニ人民協同シテ
一ノ人間社會ヲ成立シ此社會ニ主權アリテ一定ノ法律ヲ確立シ有形
無形ノ利害ヲ保護スル組織ニシテ一ノ國家即チ邦國ト謂フヲ得ヘシ
土地及人民ハ國家ヲ組織スル二大要素ナリ。爰ニ土地アリ然レトモ住
民ナキハ國家ト云フヘカラス又人民ノ團體アレバ一定ノ住所即チ土
地ナクシテ是レ又國家ト云フヲ得ス故ニ國家トハ一定ノ主權ノ下ニ
アル土地人民ヲ併稱ス。故ニ國家ノ二大原力タル土地ノ廣狹(即チ面積
住民ノ多少(即チ人口)ハ國家強弱ノ二大原因ナリ

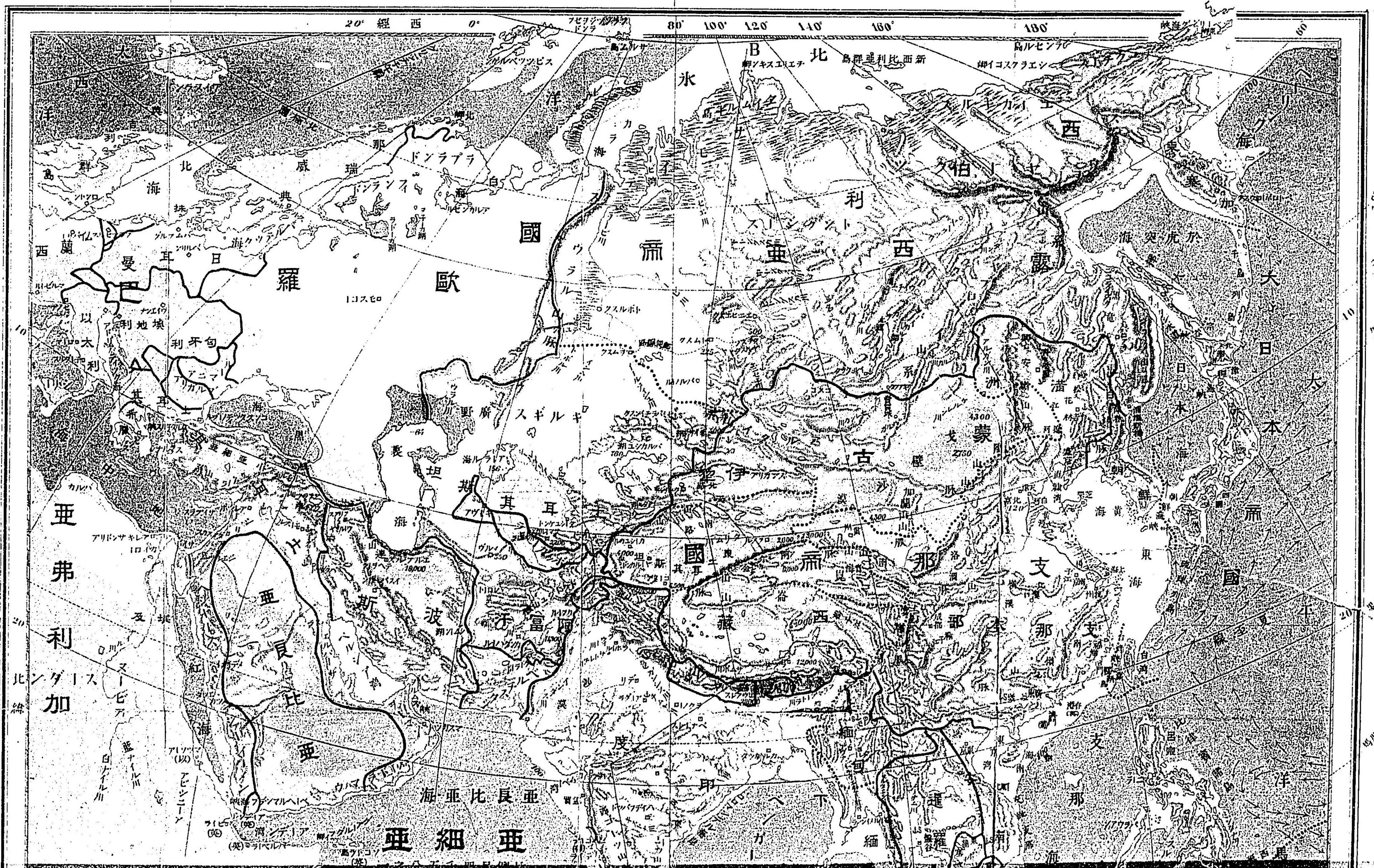
國體

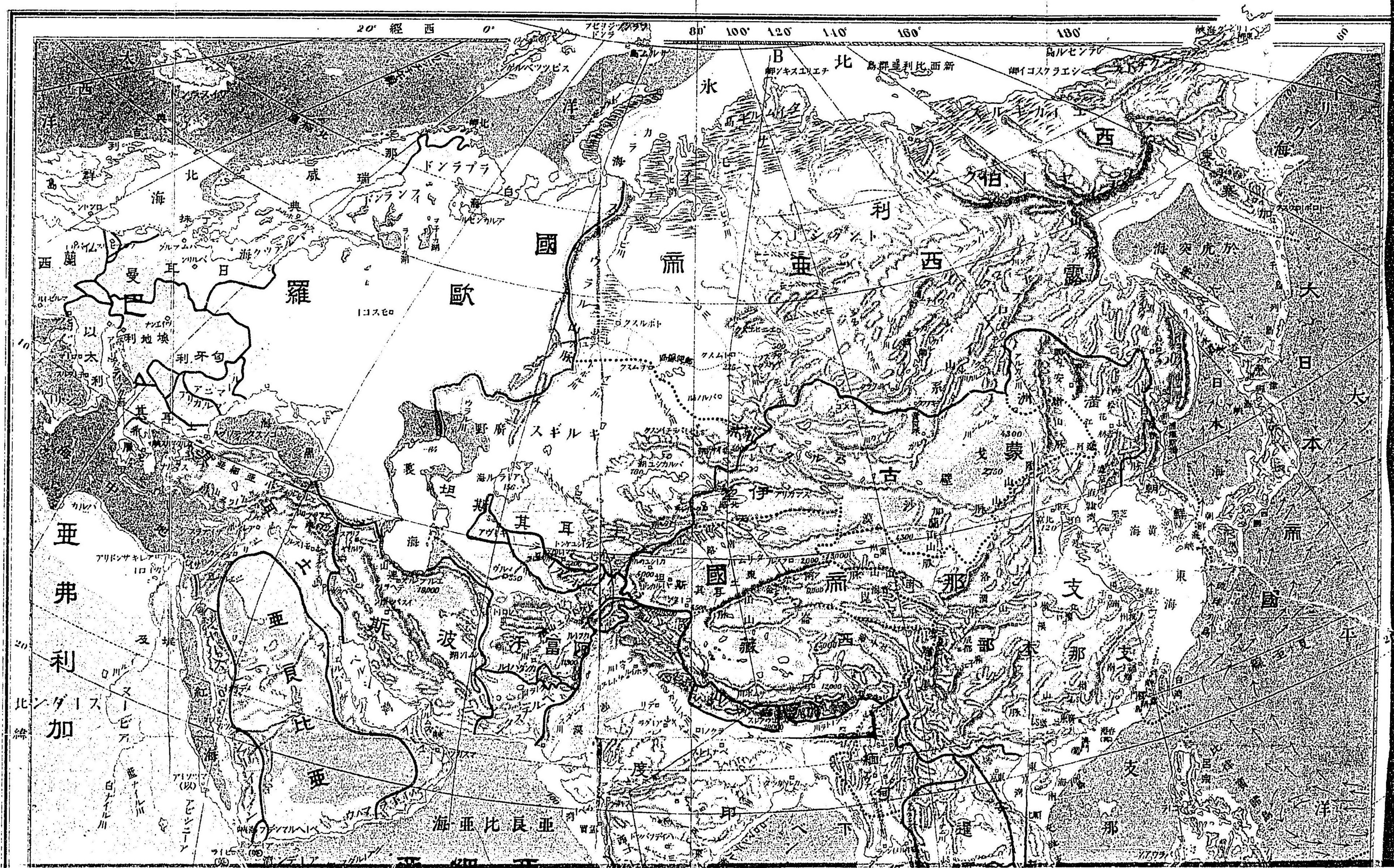
國體トハ國家組織ノ源質ニシテ世界萬國其建國ノ事情ニ應シテ各々
區別アリ今之ヲ大別シテ君主國體、民主國體ノ二トス。君主國體トハ君
主ノ力ニヨテ其國ヲ創建シ若シクハ裁定中興シタル國體ニシテ國家
ノ主權ハ君主ニ存在ス君主國ハ之ヲ帝國、王國ニ別ツ帝國ハ最モ尊嚴
ナル國父即チ皇帝ヲ奉戴スル國ヲ謂ヒ王國ハ王禮ヲ享クヘキ君主ヲ
戴ク國ヲ謂フ王國ハ又帝國ノ配下ニ立ツ所アリ
民主國體ハ國ニ君主ナク人民合同シテ國家ヲ成立シ國民即チ國家ノ
主權者タルヘキ國體ナリ共和國是ナリ以上ノ如ク其國民自ラ國ヲ建
テ毫モ他國ノ制裁干涉ヲ受ケスシテ自ラ内外諸般ノ政務ヲ治理スル
ヲ獨立國ト謂フ凡ソ獨立國ハ國ノ大小貧富強弱等ニ拘ラス其權利ハ
各國トモ同等ナリトス

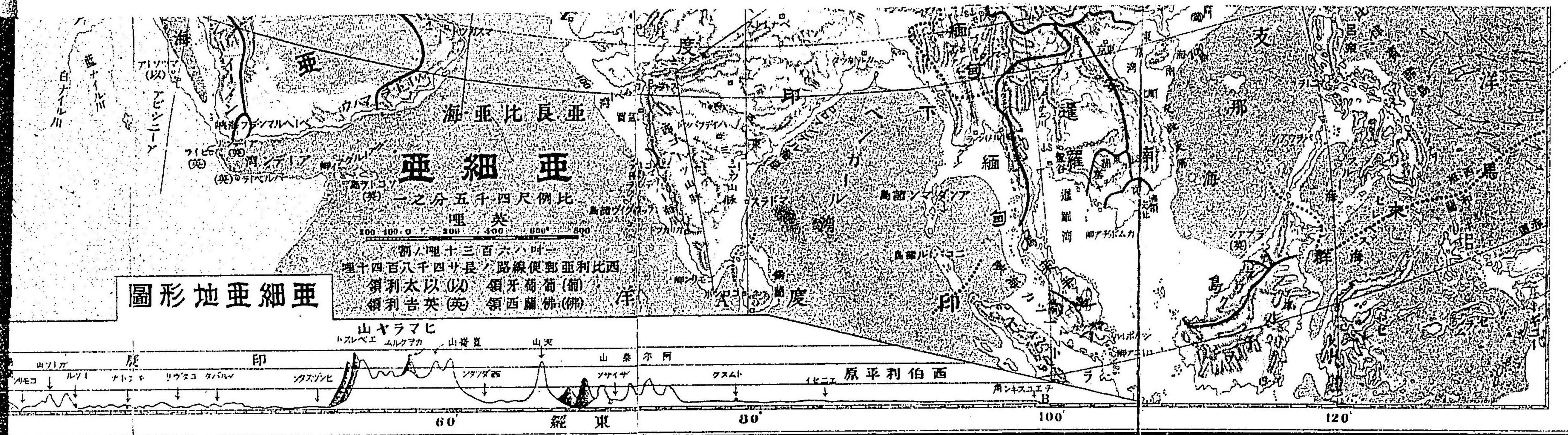
政體トハ國家ノ主權ヲ執行スル政治組織ノ總體ヲ云フ故



政體ハ國體ニ應シテ異ナリ即チ國家主權ノ君主ニ存スル政治組織
 ハ君主政體ト謂ヒ主權ノ人民ニ在ル政治ハ民主政體ト謂フ
 君主政體ハ再ヒ別チテ立憲君主政體及專制君主政體ノ二トス立憲君
 主政體ハ主權ハ固ヨリ君主ニアリト雖モ主權ヲ執行スルニハ必ス確
 立ノ國憲即チ憲法ヲ遵守スヘキノ制ナリ方今開明ノ諸國ハ概チ此政
 體トス專制君主政體トハ君主一人ニテ萬機ヲ獨裁專行シ君主ノ威權
 ニハ敢テ制裁アルコナク君意即チ國法タルモノニシテ半開國以下ハ
 概チ此政體ナリ
 民主政體ハ或ハ共和政體ト稱ス憲法ニヨリテ主權ヲ行フモノナレモ
 國民ノ代表者タル大統領ニ委任シテ主權ヲ行フモノト國民直接ニ主
 權ヲ行フモノトノ別アリ共和政體ヲ採ルモノハ概チ最初他ノ屬國タ
 リシモノ民力ニヨリテ新ニ獨立シ國家ニ奉戴スヘキ國祖ナキ所トス







島麻巴



屬國トハ其土民自ラ國ヲ建ツルノ力兵力富力無ク他ノ強國ノ爲メニ
征伏セラレ其強國ノ政令ノ下ニ服従スルモノナリ屬國ノ民ハ本國民
ト同等ノ權利無ク而シテ納稅等ノ義務ハ却テ重シ保護國トハ既ニ國
ヲ建ツルト雖モ自國民ノ力ヲ以テ國運ヲ維持スルヲ能ハス他ノ強國
ノ力ヲ藉リ其庇保ニヨリテ僅ニ亡滅ヲ免ル、モノナリ斯ノ如キ國ハ
其報酬トシテ國權ノ幾分ヲ損シ強國ノ干涉ヲ受ケサルヘカラス
殖民地トハ其住民蒙昧ニシテ未ダ國家ヲ組織セス土地ニ主權ナキヲ
以テ他ノ強國ハ其地ノ富ヲ利用スルノ目的ヲ以テ若クハ其土地併呑
ノ目的ヲ以テ自國ノ民ヲ移住繁殖セシムル場所ナリ之ヲ某國殖民地
ト云フ

亞細亞洲總論

○位置 亞細亞(Asia)ハ東ノ義ニシテ東大陸ノ東部ヲ領シ北半球中

ニ横ハル○其境界北ハ一面北氷洋ニ沿ヒ東ハ半島及日本島ニヨリテ北太平洋ニ枕ム南ハ印度洋ニ接シ内ニ亞良比亞半島及前後兩印度半島突出セリ西ハ烏刺爾山及裏海黒海ニヨリテ歐羅巴ト境ヲ分チ又紅海ヲ隔テ、亞弗利加ト相對ス面積二百六十二萬七千方里即チ世界陸地ノ約三分ノ一ヲ占ム南端ハ北緯一度ニ起リ北端ハ北緯七十七度ニ盡ク故ニ熱温寒ノ三帶ヲ通ス就中北温帶ヲ占ムル陸地最モ廣シ

●地形 本洲ハ比較上高地多ク其中央ナル高地ハ實ニ世界最高ハ臺地ナリ今其高度ニヨリテ二部ニ分ツ(一)蒙古高原(二)西藏高原是ナリ○蒙古高原ハ中央高地ノ東北部ヲ云ヒ西藏高原ト境スルニ崑崙山系アリ而シテ東ニハ興安嶺アリ西北ハ天山及阿爾泰山系ヲ以テ包マル中間ノ廣袤ハ東西約八百四十里南北二百八十里アリ其平均高度二千尺ヨリ五千尺ニ至ル其中央ハ雨滴無ク植物絶ヘタル戈壁沙漠(戈壁ハ沙漠モアリ)

蒙古高原ノ四近ハ樹木生シ北及東ニ流ル、大河ハ此高地ニ分水セラレタルモノナリ○西藏高原ハ蒙古ノ西南ヲ占メ西北ハばみる(Pamir)高地ヨリひんづくーす(Hindu-Kush)山系アリ南ハひまらや(Himalaya)大山系ニ擁セラレ山水幽深容易ニ探クルコトヲ得ス此高原ノ平均高度ハ一萬三千尺ニシテ世界第一ノ高原ナリ其麓ヨリハ數條ノ大河ヲ發シ東及南ニ注ク以上ノ二大高地ヲ中央高地ト稱ス

中央高地ノ西端ひんづくーす山系ヨリ西ニ連亘スル高原アリ之ヲ伊蘭(Iran)高地ト云フ西方ハ遂ニ歐洲ノ境ニ至ル○伊蘭高地ノ西部ヨリ南ニ突出スル半島臺地ヲ亞良比亞高地トス多ク沙漠ニ屬ス

●低地ハ以上ノ如キ高地ヲ圍ミテ所々ニ存セリ(一)西伯利低地(二)滿州平原(三)支那沃地(四)印度濕地ヲ重モナル低地トス○西伯利低地ハ中央高地ノ北邊ヲ占メ北氷洋ニ至ルマテ幅六百里(南北)長一千二百里ニ及ブ概

子荒漠タル寒野ニシテ其低平ナルコトハ海岸ヨリ四百里ノ内地ニ進ム
 モ僅ニ百七十尺ノ高度ニ過キサル所アリ此間ヲ流ル、三大流アリ東
 ヲレナ(Lena)河トシ中央ヲ多クシ(Yenisei)河トシ西ヲレビ(Obi)河トス
 皆北流シテ北洋ニ入ル(二)滿州平原ハ中央高地ノ東邊ヲ占メ黒龍江及
 其支流ナル松花江ノ流域ヲ云フ(三)支那沃地ハ中央高地ノ東南部ヲ領
 シ其區域頗ル廣シ高地ニ發シテ東流スルニ大河アリ北ヲ黄河トシ南
 ヲ楊子江トス土地甚タ肥沃ナリ(四)印度濕地ハ西藏高臺ノ南麓低地ニ
 シテ雨濕多ク地肥ヘタリ東ニガんぢ(Ganges)河一名恒河及ぶらまぶ
 とら(Brahmaputra)河アリ西ニ印度河アリ
 ●沿海 亞細亞ハ陸地ノ廣袤ニ比スレハ海岸線長カラス特ニ北氷
 洋ハ出入甚タ少シ只西部ニから(Bering)半島出テ、北び灣ヲ擁シ。東部ニ
 べーりんぐ半島出テ、北米大陸トべーりんぐ海峡ヲ挾ムノミ。太平洋

岸ハ稍々出入多クかむちやと(Kamchatka)半島東南ニ出テ千島列島
 是ヨリ連リ大陸トノ間ニ於虎突海ヲ湛ユ。日本群島ハ東洋ノ沿岸ヲ飾
 ルカ如ク連々西南ニ亘リ其大陸トノ間ヲ浸スハ日本海ナリ。朝鮮半島
 東南ニ出テ支那沿岸トノ間ニ黄海アリ。其中間ニハ遼東半島北ヨリ出
 テ山東岬南ヨリ出テ、渤海ヲ包ム。支那海岸ハ殆ト半圓形ヲナシテ支
 那海ニ枕ム。後印度半島ヨリ尙ホ鶴首狀ニ南ニ挺出スルハ巫來(Malay)
 半島ニシテ南ニ彎入スルヲ暹羅灣トス巫來半島トササとら(Sumatra)島
 トノ間ナル巫來加(Malacca)海峡ヲ西ニ出ツレハ則チ印度洋ナリ
 印度洋ノ中央ニ突出スル前印度半島ヲ以テベンがる(Bangal)灣(東ト亞
 良比亞海)西トヲ兩分シ亞良比亞海ノ伊蘭亞良比亞兩高地ノ間ニ浸入
 スルモノヲ波斯灣ト云ヒ亞良比亞ノ南ヲ浸スハ亞丁(Aden)灣ニシテ其
 亞弗利加ノ間ヲ絶ツ地溝ヲ紅海トス紅海ノ蘇士(Suez)運河ヲ通スレハ

地中海トナル是レ亞細亞海岸線ノ重モナル出入トス

●**氣候** 本洲ハ大陸ノ廣大ナルカ爲メ温帶ノ大部ヲ領スルニ拘ラ
 ス寒暑甚タ懸隔シ夏月ハ炎暑強ク冬間ハ寒氣烈シキ地方多シ大陸中
 央ノ如キハ最モ然トス故ニ地球上ノ最熱界及最寒界共ニ本洲中ニア
 リ北氷洋ニ面スル處ハ全般ニ寒威凜烈ニシテ人ノ住スルニ堪ヘスれ
 ば河附近ノ一部ニハ年中ノ平均温度零下四十度ノ最寒界アリ之ニ反
 シテ印度洋ニ向フ一面ハ炎熱燔クカ如ク住民衣ニ堪ヘス亞良比亞地
 方ハ年中平均三十三度ノ高温ヲ保ツ最熱界アリ其中間ハ温帶部ナレ
 ば爰ハ陸地盤彙ノ雨寡ク寒暑共ニ酷クシク却テ人ノ住居ニ適セス是
 ヲ以テ氣候ノ平和ナルハ獨リ太平洋岸ノミ此地ハ寒暑中ヲ得人民ノ
 生活及發達ニ適セリ然レバ此地モ大陸寒暑兩極端ノ餘波ヲ被ルヲ以
 テ他ノ温帶ニ比スレハ寒暑稍々強ク海ヲ隔ツル島國ノミハ眞ニ氣候

快美ノ地トス大陸各地ノ發達カ踴躍スルモノ決シテ故ナキニアラス

●**雨量** ハ分布ニ様ナラス地球上最多雨ノ地及全ク雨滴ナキ地共
 ニ本洲ニアリ一般ニ言ヘハ南部ニ多ク北ニ進ムニ從ヒ其量ヲ減ス而
 ノ中央ニ無濕界アリ洲中最多雨ノ地ハ恒河附近ニシテ一年ノ雨量一
 萬五千耗乃至二萬耗ノ多量ナリ即チ日本雨量ノ十倍ヨリ十二倍ニ餘
 ル量ナリ是ヨリ次第ニ北ニ赴クハ其量減シ中央高地ノ中央ナル戈壁
 沙漠ヨリ伊蘭高地及亞良比亞臺地ニ亘リ幅二三百里ナル一帶ノ無濕
 界アリ此界ハ終年雨滴ナク土砂乾キ盡キテ遂ニ沙漠トナル故ニ無濕
 界ハ沙漠瀰蔓ノ狀ト殆ト一致セリ是等ノ高地ヲ越ノノ北邊ハ再ヒ雨
 滴アルモ其量極テ少シ只太平洋岸ノミ降雨順ニ生物ノ發育ニ適セリ

●**風** 亞細亞沿海ニ著シキ一種ノ風アリ氣候風(Monsoon)ト云フ此
 名ハ元ト亞良比亞語ノ氣候ヲ意味スル(Monsoon)ヨリ出テタリ此風ハ暑

候ト寒候ト半年ツ、反對ノ方向ヨリ吹き來ルヲ以テ或ハ半年風ト云フ其起因ハ暑候ニハ大陸中央ニ特ニ沙漠地方ハ暑氣忽チ生シ低氣壓トナルカ故四近ノ大氣ヲ爰ニ誘引シ南方各地ヨリハ南風或ハ西南風トナリテ流入ス又寒候ニ至レハ中央地方ハ地盤直チニ冷却シ遂ニ烈寒地トナルヲ以テ高氣壓トナリ四方ニ轉流スル風トナル本洲各地ニ多少此風ノ影響ヲ被ルモノナリ又暑候ノ風向寒候ニ交代スル時ハ必ズ恐ルヘキ暴風ヲ來スヘシ此暴風ノ吹キ荒ラス處ハ自ラ範圍アリ支那海ヲ中央トシ後印度支那海岸朝鮮露領沿岸及日本等ニ及フ一帯アリ之ヲ大風帶(None of Tyfoon)ト云フ此帶ニ入ル所ハ毎年夏ヨリ秋ニ移ル季節ニ警戒スルヲ要ス

○天產物 亞細亞ハ氣候ノ熱帶ヨリ寒帶ニ亘リ且ツ陸地廣キヲ以テ諸種ノ天產物多ク或ハ世界天產物ノ博集場ト云フ○動物ハ南部ノ

熱帶ニハ巨大ニシテ獐猛ナル獸類爬蟲類及美麗ノ鳥類ヲ生シ温帶ニハ有用ノ蹄趾類野獸家畜ヨリ多種ノ水族及有用ノ禽類ヲ産ス寒帶ニハ毛皮獸及貴重ノ水産アリ○植物ハ熱帶ニ巨大ノ喬樹珍草香料ヲ出シ温帶ニハ有益樹木及穀物ヲ産ス特ニ米ハ亞細亞ノ特産トス寒帶ニ至リテハ植物ニ乏シ○礦物ハ貴金寶石ヲ埋藏スルト夥シク金剛石ハ本洲ニ産スルユト多シ石炭モ大陸各地多ク配布アレトモ礦物ハ一般ニ掘採未タ盛ナラス

○政治區畫 本洲ハ地形壯大ナルヲ以テ政治上ニ於ケル各邦國ノ區畫モ亦廣大ナリ現今ハ歷史上及政治上左ノ十六區ニ別ツテ常トス

(以下此行ノ數字ハ日本ノ面積ヲ二トシテノ比較也)

(一) 大日本帝國 三〇・七

(二) 支那帝國 〇・五三弱

(三) 朝鮮王國

- (四) 暹羅王國
- (五) 波斯王國
- (六) 安南
- (七) 英領緬甸
- (八) 英領印度
- (九) 亞富汗並比耳路斯坦
- (一〇) 土耳其斯坦
- (一一) 巫來加
- (一二) 高加索
- (一三) 亞良比亞
- (一四) 亞細亞土耳其
- (一五) 西伯利

二・九三
三・八弱
一・五弱
二・九弱
九・八強
三・〇強

Handwritten calculations:
 815
 + 20812

 508
 + 5513

 10593
 + 5513

 16106

○國體及政體

亞細亞大陸ハ廣漠ノ原野多キヲ以テ人民其間ヲ漂泊シテ一定ノ居所ヲ有セサル者多シ故ニ統一セル國家ヲ組織シ又ハ完全ハ政府ヲ建ツル能ハス只所々ニ豪族即チ酋長又ハ汗等ト稱ス者アリテ其及フ限りノ落部ヲ支配シ權ヲ擅ニシ下民ヲ壓スルニ過キス所謂國體及政體ノ何タルヲ辨セサル所アリ亞良比亞・亞富汗並比耳路斯坦・巫來加・支那外藩・印度内地所々ノ如キ是ナリ南部諸國ノ如キ地肥ハ産豊ニシテ食品餘アリ氣候温暖ニシテ衣服家屋ヲ要セサルヲ以テ居民多ク懶惰ニ流レ國運發達ニ必要ナル人民ノ協同心ヲ缺キ有限ノ境界ニ發達シテ又進マズ日本ヲ除クノ外ハ半開國ノ常態ナル君主專制トス支那・朝鮮・波斯・暹羅ノ如キ是ナリ其以下各地ニ至リテハ自ラ獨立スルヲ能ハス其版圖ハ廣ク其住民ハ衆キニ拘ラズ諸強國ノ爲メニ併呑セラレ或ハ屬國ト稱シ或ハ保護國等

26,000,000 (Asia)
 44,000,000 (Japan)
 3,000,000 (Formosa)

卜稱シテ他ノ支配ヲ受クルモノアリ印度・緬甸・西伯利等ノ如キ是
 ナリ
 今亞細亞各國ノ國體各地ノ管轄ニ付現況ヲ概括スレハ左ノ如シ
 獨立國 大日本 支那 朝鮮 暹羅 波斯
 英 領 印度 緬甸 海峽殖民地 亞富汗 香港 亞丁
 露 領 西伯利 高加索 土耳其斯坦
 土 領 亞細亞 土耳其 亞良比亞沿岸
 葡 領 印度 亞 澳門
 會長所領 亞良比亞 比耳路斯坦 印度內地處々
 世界三分ノ一ニ居ル亞細亞大洲ニシテ其能ク獨立ノ體面ヲ保ツ者ハ
 僅ニ五國ノミ其他ハ概テ歐洲ノ領地ニ屬セリ以テ如何ニ歐羅巴勢力

ノ本洲ニ及ヘルカヲ見ルヘシ故ニ亞細亞洲トサヘ謂ヘハ直ニ貧弱ノ
 未開國ノ如ク若クハ歐洲ノ隸屬ノ如ク見做サレ世ニ重キヲ置カレサ
 ル者ハ實ハ是非モナキ次第ナリ亞細亞各國豈ニ悉ク斯ノ如クナラン
 ヤ東洋ノ先覺國タル者其任甚タ大ナリト謂フヘシ
 ●住民 全洲ノ人口ハ八億餘アリ即チ全世界人口ハ半數ヲ有ス是
 レ固ヨリ幅員ノ廣大ナルニヨルト雖モ人口亦頗ル密ニシテ一方哩ニ
 凡四十五人ヲ容ル、割合ナリ是レ歐洲ニ次ク密度トス而シテ其人種ハ
 四大族ヨリ成ル第一ハ蒙古種ニシテ最モ大數ヲ占メ凡五億二千萬人
 アリ其居住スル所ハ洲ノ西南部ヲ除ク外ハ殆ト住セサル所ナク全
 洲ノ五分ノ四ニ蔓レリ此種ノ特相ハ肌膚黃色ニシテ眼斜ニ釣リ疎鬚
 ニシテ體格中位ナリ古來甚タ發達セルモノナリ・第二ハ印度歐羅巴
 種ナリ其數蒙古種ニ次テ多ク印度ヨリ伊蘭高地及土耳其ニ蔓リ其數

二億八千萬人アリ此種ハ歐洲人ト同一種ナレモ本洲ニ住スル者ハ風土ノ然ラシムル所自皙ニアラスノ赭褐ナリ容貌ハ壯大ニシテ溫柔ナリ古來又偉人ヲ産セリ。第三亞良比亞種ハ高加索種中セみちつく種ニ屬シ其數約五百萬人アリ容貌偉大ニシテ勇壯ニ會テ回教ヲ以テ世界ニ雄飛セリ。第四巫來種ハ巫來半嶋ニ住スル棕色種ナリ此種ハ劣等ニシテ漸次其數ヲ減シ會テ著シキ歴史ヲ有セス。

●人情

南部ノ住民ハ古來既ニ發達シタル民種ナレハ現今ニ至リテハ其性質混合雜駁ナリト雖モ古國ノ民ハ重モニ心性ニ關スル無形上ノコニ傾キ易ク好テ研究スルハ文學的ニシテ科學思想ノ如キハ甚タ乏シ一般ニ心身萎靡シテ活潑ナラス從テ國勢ハ發達ヲ企圖スルハモ亦迂遠ナリ。中央高地ニ住スル民ハ活潑勇壯ニシテ爭鬪ヲ好ミ往々壯圖ニ富ミ大事業ヲ成ス者アリト雖モ之ヲ持續スル術ナク壯圖一

蹶跡空シキ其原野ノ枯草カ烈火ニ於ケルニ似タリ從テ個人ノ氣風モ激シ易ク又醒メ易キ其寒暑ノ極端ナルカ如シ。北部ノ住民ハ思慮宏遠ノ者アレモ怠惰ヲ免レヌ。

●習俗

本洲住民ノ衣裝ハ概テ寬濶ナル長格ヲ着クルノ風アリ是レ氣候ノ温暖ナルニヨルヘシ回教人ハ其教旨ニヨリ紅帽ヲ被リ婦人ハ深ク面ヲ覆フ。家屋ハ木造ニシテ櫛ヲ用井テ坐臥ス。食品ハ淡薄ナル植物性多ク或ハ魚類獸肉ヲ交ユ。古來開化シタル古國ハ諸種ノ習俗ヲ有ス波斯人ノ如キハ幾千年ノ昔ニ於テ帝國ヲ建テ政府家族ノ制ハ勿論宗教禮法等モ備ハリ鍛金工匠等ノ技術モ開ケタリ。支那人モ既ニ三千年以前ニ於テ開化進歩シ諸種ノ制度諸般ノ發明技藝等燦爛觀ルヘキモノアリシ。

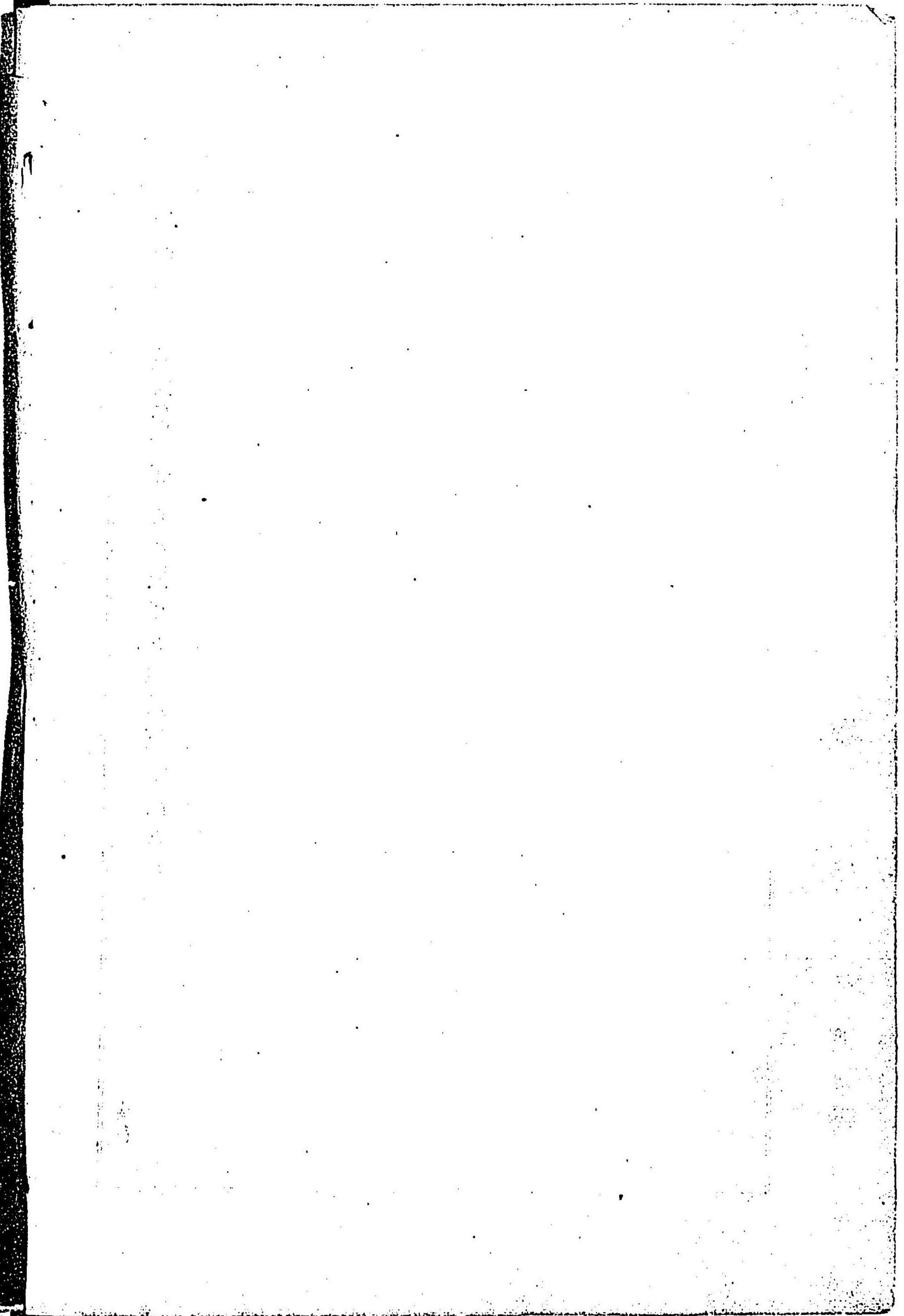
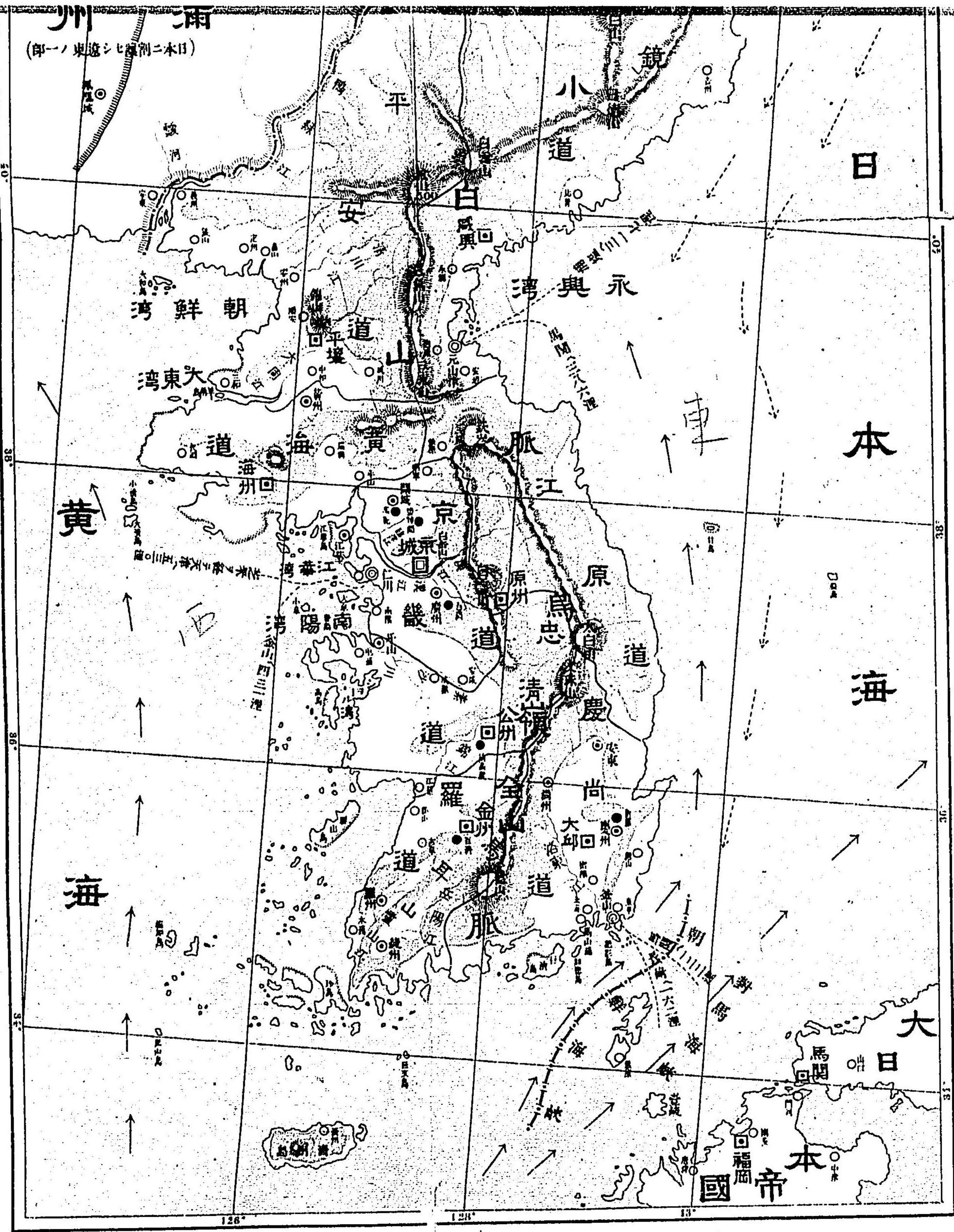
●宗教

本洲ニハ既ニ上古ヨリ未來靈魂等ノ説行ハレ性理ニ關ス

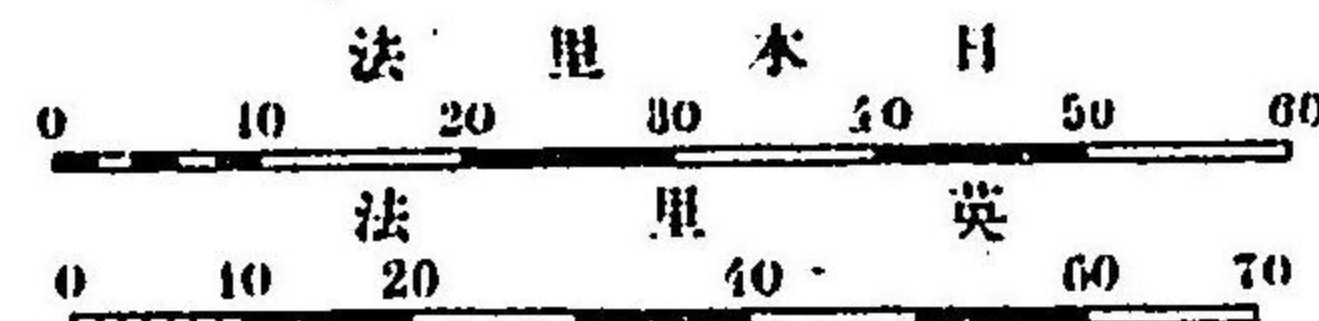
ル高妙幽玄ノ理ヲ究メタル偉人モ少ナカラサル故ニ世界宗教ノ基源ハ皆悉ク本洲人ノ主唱シタル所ナリ亞細亞土耳其ニ猶太教及基督教ノ起リシカ如キ回教ノ亞良比亞ニ起リシカ如キ又印度ニハ婆羅門教及佛教起リ支那ニ儒教起レリ之ヲ要スルニ人類ノ性情ヲ支配スル理義ハ皆本洲ニ於テ主唱セラレ研究セラレタリ而シテ是等ノ各宗教ハ何レモ往時曾テ盛ニ本洲各地ニ信仰セラレシガ今ハ概テ衰運ニ向ヒ往昔大ニ流行セシ教法上ノ垂蹟モ痛ク衰頽ニ屬セリ

今日宗教ノ播布ハ婆羅門教ハ印度大平原ニ行ハレ其數凡三億ニ下ラス佛教ハ印度諸邦支那日本朝鮮ニ及ヒ其數最モ多ク回教ハ一時非常ノ勢力ヲ以テ亞良比亞ヨリ西北ニ向ヒ播布シタリ今ハ衰ヘタレ本洲ノ西南部ニ信奉スル者尙ホ多シ基督教ハ重モニ西漸シテ歐洲ニ及ヒ本洲ニ於テハ其勢力却テ微ナリ猶太教ハ甚タ衰ヘ其教徒ハ亞

細亞土耳其西伯利其他ニ散在シ總數三十萬人ニ過キス

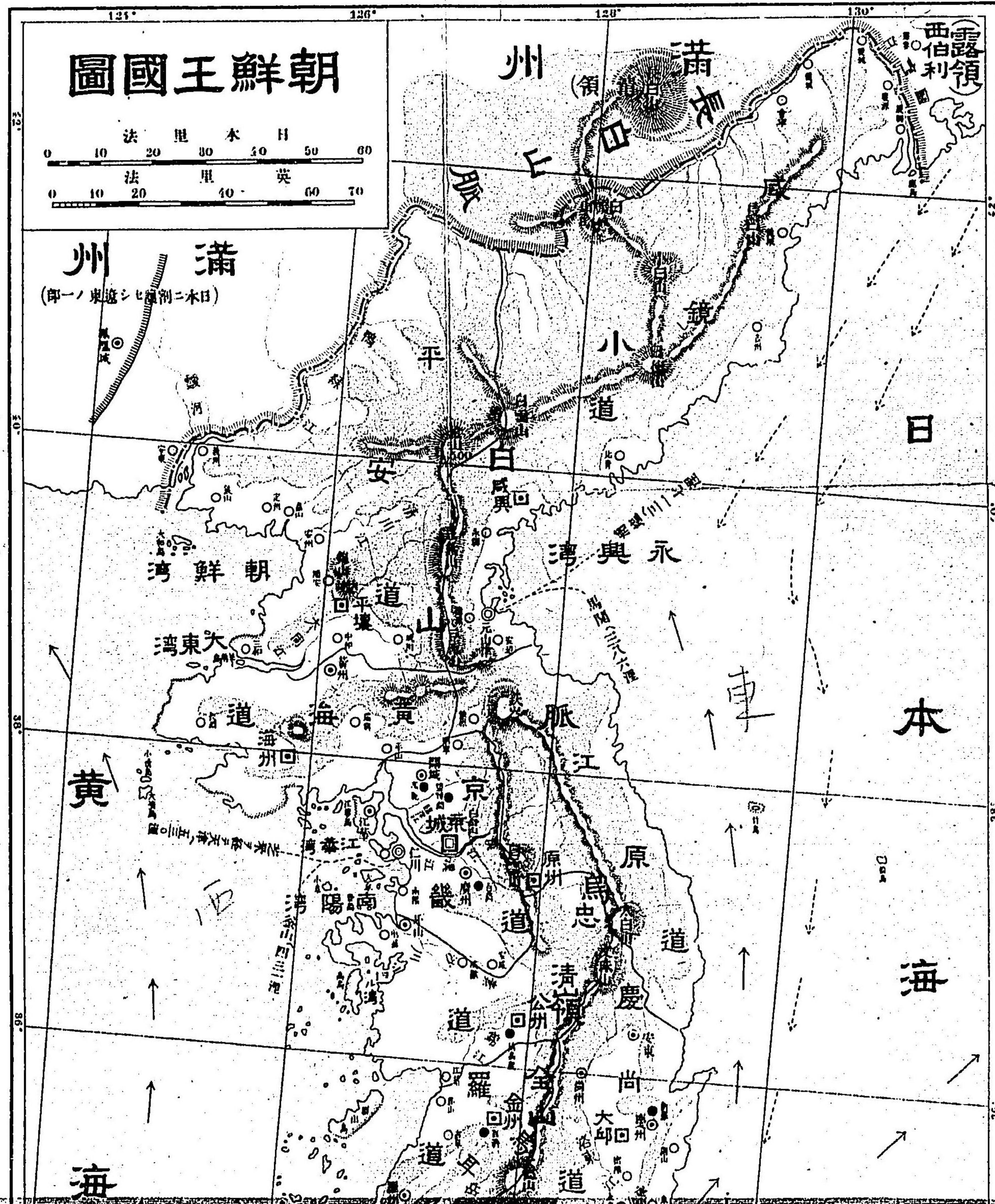


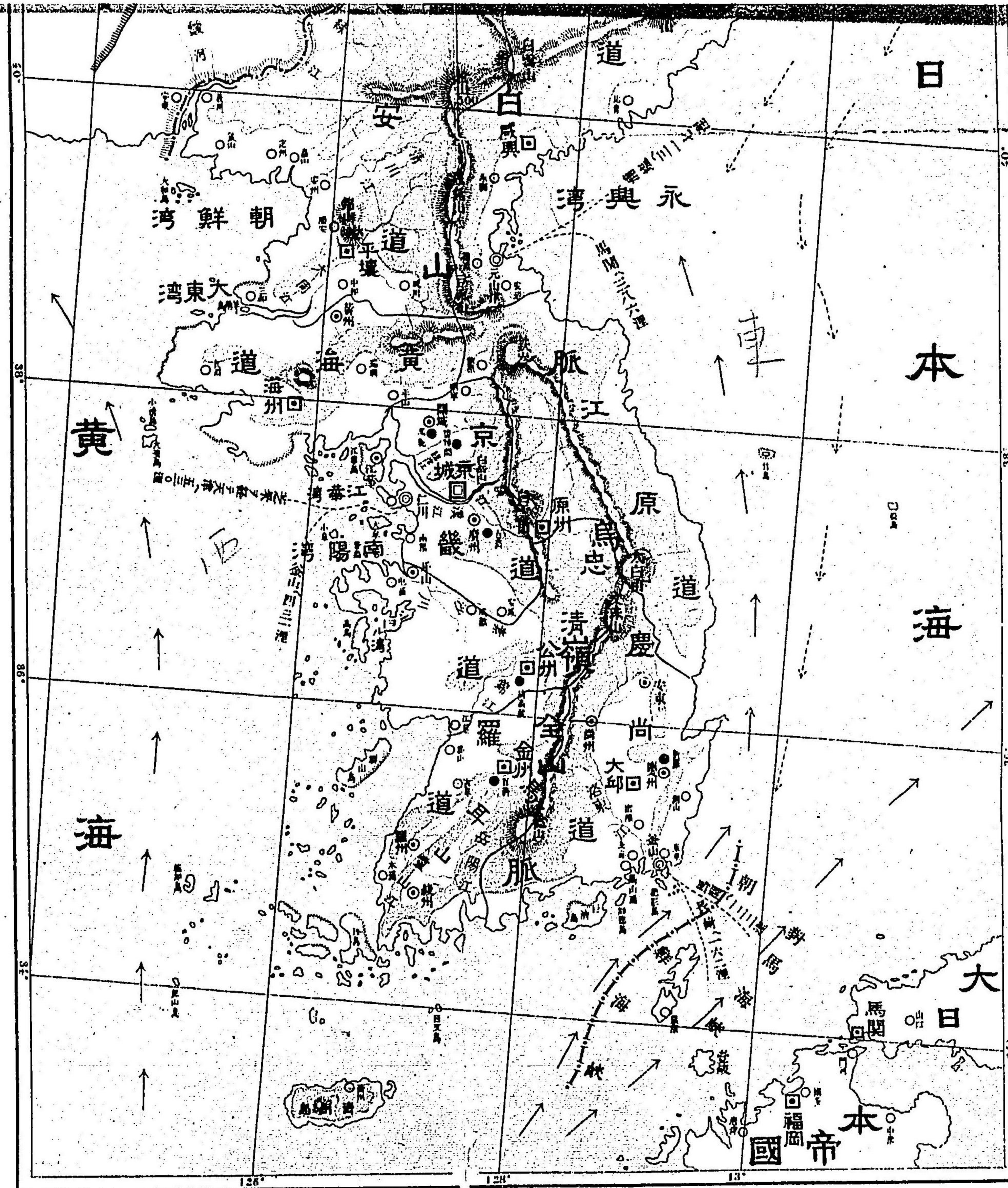
朝鮮國王圖



滿州

(即一ノ東邊シヒ疆界ニ本日)





朝鮮王國

朝鮮(シヤマ)ハ一ニ高麗カマリト稱シ西洋人ハ之ヲ Corea ト云フ昔ハ馬韓辰韓
弁韓ノ三部ニ分レタレハ三韓ト云ヒ又雞林(遼南道ニ雞林里アリ)トモ稱シタリ最
モ我邦ニ近カク又我邦ハ主唱ニヨリテ獨立シタル王國ナリ

●位置 東大陸ノ東南ヨリ斜ニ日本海及黄海ノ間ニ突出セル半島

國ニシテ掌ヲ以テ招クノ狀ヲナセリ半島ノ南端ハ北緯三十四度五十
分(我姫路ニ全シ)ニシテ北境ハ同四十三度(我札幌ニ全シ)ニ至ル

其國際上ノ地位ヨリ謂ヘハ日本・支那・露西亞三帝國鼎勢ノ中間

ニ介立シ日清兩帝國ヲ分別シ北ハ露領ヲ限リ共ニ其藩塹タルモノナ
リ又其海上ノ地位ヨリ謂フトキハ日本海ト黄海トノ分界ニシテ日清

露三國ノ航路ヲ扼シ其海上權勢ノ此半島ニ係ルヤ實ニ深シ

●廣表 半島ノ延長ハ約一百七十里ニシテ大陸部ニ於テハ東西百

十四里半島ノ幅廣キ所七十五里アリ。面積ハ一萬三千方里アリ故ニ我國ノ半ヨリ稍々大ニ我本洲ヨリ東山道ヲ除キタルニ均シク東洋中ノ一小國ナリ

●境界 日本海ヲ東ニシ、黄海ヲ西ニス、西北方ノ大陸ニ接スル所ハ

長江アリテ頗ル判明ナル自然ノ國境線トナレリ、則チ東北境ニハ圖們

江ノ流アリテ露領西伯利ニ境シ、西北ハ鴨綠江ヲ以テ我新領地ナル

遼東半島及滿州ト境セリ、半島ノ南端ハ朝鮮海峽ニシテ我對馬ニ對シ

海程僅ニ十五里ナリ、全國ヲ左ノ八道ニ分ツ

咸鏡^{カミヤン} 江原^{カソラン} 慶尙^{キョウヤン} 平安^{ピョアン} 黄海^{ウマヤン} 京畿^{キョウキ} 忠清^{チュンチョン} 全羅^{チョンラ}

●地勢 半島ハ東亞大陸地體ノ餘波ヲ以テ組織セラル、此國ノ中心

トモ謂フヘキハ北部ニ峙レル白頭山^{ボクトサン}トス、海拔八千百十四尺ニ

聳ヘ、朝鮮ノ最高峰ナリ、其脈諸方ニ蟠延シ大陸部ヲ東北ヨリ西南^{白頭山}ヲ

ト中央ニ向ヒ連亘スル脈ヲ最大トス、是レ長白山脈ノ名アルモノナリ。

白頭山ヨリ半島形ニ沿フテ東南ニ走ルヲ小白山脈トス、此脈ハ半島ハ

脊梁ヲナスモノニシテ中央以南ハ一轉シテ稍々西南ニ延ヘリ、慶尙道

ニ於テハ鳥嶺ト云ヒ全羅道ニ於テハ馬耳山ノ名アリ、半島ノ地體ハ此

脈ヲ以テ構造セラレタリ。脊梁山脈ヨリ東及西ニ横嶺ヲ支出シ、概子

各道ノ境トナリ、山彙頗ル重疊セリ。

脊梁山脈ハ半島ノ中央ヨリモ稍々日本海ニ近カク、連亘スルヲ以テ東

岸ハ山脚概子海ニ迫リ、嶮岨ニシテ平地ニ乏シク、海深シ之ニ反シテ黃

海岸ハ斜面緩ニシテ處々ニ平地ヲ存シ、往々膏油ノ沃野アリ、是ヲ以テ

朝鮮ノ主要部ハ多ク、黃海濱ニ存シ、河流ハ灌域ニハ沖積土ノ良田アリ、

テ人口尠カラス。

●河系 半島國ニシテ分水嶺海ニ近キヲ以テ河ノ大ナルモノナク、只

大陸部ニアル圖們(或ハ豆溝ニ作ル)鴨綠ノ兩江ヲ大ナリトス源ハ同シク長白山ニ發スレテ其流向相反ス圖們江ハ東流シテ西伯利トノ境トナリ約一百十里ニシテ日本海ニ入ル海口瀾々小汽船ハ上流十餘里ノ上ニ通スヘシ流域ニハ會寧鐘城慶源慶興等ノ大邑アリ河口ノ鹿島ハ今露領ニ歸セリ○鴨綠江ハ西南ニ流レ約一百三十里ニシテ黄海ニ入ル河口ヨリ約十里ノ間ハ船舶ヲ通スルニ堪ユ以上兩江ハ冬間結氷ノ難アレトモ河道ハ内地ニ交通スヘキ便路ニシテ其海口ハ巨船ヲ容ルニ適シ後來此國ハ發達ニ關係スルハ蓋シ渺ナカラサルヘシ

以上兩江ニ次ク大同江○洛東江○漢江トス大同江ハ小白山脈ヨリ西ニ分水セラレ半島中部ヲ横キリテ西流シ黄海ニ入ル平壤府其北岸ニアリ流域ニハ頗ル廣キ農産地アリ物産ハ此江ヲ下リテ西岸ニ出スヘク且ツ海口ハ大同灣ト稱シ大船ヲ泊スヘシ其漁隱洞ハ征清之役

我假根據地タリシ河口ノ鐵島ハ將來ノ貿易地ナリ○洛東江ハ鳥嶺ニ發シ半島ノ南角ヲ南ニ流レ朝鮮海峽ニ注ク慶尙道ノ産物ハ此江ヲ南下シテ海岸ニ致スヘク運漕甚タ便ナリ○漢江ハ小白山ニ發シ西流シテ京城ノ南ヲ過キ臨津江ヲ合セ海ニ入ル海口ニ江華島アリ水路爲メニ兩分ス北口ハ泥砂堆積シ航行スヘカラス南口ハ京城ニ通スル要路ナレハ汽船來往シ朝鮮第一ノ水路タリ○以上ノ五大河ハ運輸灌溉共ニ便ニシテ其流域ハ朝鮮ノ至要地ナリ○其他忠清道ノ錦江素沙河平安道ノ清川江全羅道ノ岳陽江靈山江等運輸灌溉ニ便ニシテ多少ノ農産地域アリ

○沿海 日本海岸ハ斷崖海ニ迫リ海岸線ノ出入多カラス從テ良港ニ乏シ獨リ永興灣ハ東岸ノ大灣ニシテ内ニ元山津アリ此港ハ東岸唯一ノ良港ニシテ港口ニ島嶼散點シ水路數條ニ分レ港内水深ク大船モ

陸ニ近クコトヲ得ヘシ○圖們江口ニ船ヲ容ル、ヲ得其南ノ慶興モ
 佳港タルヘシト云フ現今朝鮮漁船ハ元山津ト北青ノ間ヲ往復セリ
 黃海岸ハ岬灣ノ出入多ク島嶼亦散布セリ黃海道ハ半島狀ニ西方ニ突
 出シ其北方ノ大灣ヲ朝鮮灣ト稱ス北岸ニ鐵山アリ其南灣ヲ大東灣ト
 云フ○大同江口ヲ大同灣トス・江華灣ハ東ニ浸入シ内ニ仁川港アリ
 漢江口モ亦船ヲ容ルヘシ其南ノ南陽灣ハ群島羅列シ其豐島近海ハ征
 清之役我艦隊ノ始メテ敵艦ト戰フテ大捷ヲ得シ所ナリ○黃海中ニ群
 山島高島珍島等ノ叢島アリ○朝鮮海峽ニ臨ミ釜山灣アリ絶影島其口
 ニ横ハリ港内四里ニ亘リ頗ル良港ナリ○半島ノ西南角ニ木浦灣アリ
 木浦ハ將來貿易港タルヘシ○其南ノ海峽中ニ濟洲島アリ長徑三十里
 朝鮮ノ最大島ナリ其東北ノ巨文島ハ小島ナレバ水路ノ要所ニ當リ碇
 泊ニ便ナリ曾テ英國之ヲ占領シタリ其東ニ巨濟島アリ

朝鮮沿海ニハ暖流及寒流アリ○暖流ハ朝鮮海峽ヨリ進入スル對馬流
 ノ支派ニシテ兩派アリ一ハ東岸ニ近ク流ル是レ小派ナリ一派ハ黃海
 ニ入り著シク其西岸ヲ洗フ○寒流ハ於虎突海ヨリ來リ露領沿岸ヲ洗
 フテ南スル來滿流ナリ朝鮮峽ヲ過キテ黃海ニ出ツ
 ●氣候 寒暑共ニ酷烈ニシテ兩極度著シク懸隔シ冬季ニハ北部ノ
 海面氷結シ圖們江及鴨綠江ハ五六ヶ月間ハ人馬氷上ヲ通スルニ至ル
 漢江モ十二月ニハ氷合シ嚴冬ニハ京城ト雖モ氷點下二十度ニ降ル之
 ニ反シテ夏季ハ炎暑意外ニ強ク北部ト雖モ三十七八度(華氏)以上ニ昇
 ル尙ホ寒暑ノ極端ヲ示セハ嚴冬ニハ麥酒醬油氷結シテ容器ヲ破リ酷
 暑ニハ室内ニ於テ洋蠟燭曲ス夏季ハ西南氣候風ノ齎ス濕氣ノ爲メ烟
 霧深ク沿海ハ溟濛四塞シ航行頗ル困難ナリ夏ヨリ秋ニ亘リ強雨アル時
 ハ道路ヲ沮ムニ至ル然レトモ雨量ハ一般ニ寡ク其配布ハ東南岸(慶尙)

ニ多ク西岸ハ概シテ稀レニ北邊ニ至レハ甚タ乏シ左ニ各地ノ温度、雨量ヲ示ス(數字ノ下ニアラ日本地名ハ略同温ノ地ヲ示ス)

地名 <small>(我同緯度ノ地)</small>	一月平均温度	八月平均温度	全年平均	最高極	最低極	雨雪量 <small>(糎)</small>
京城 <small>(陸中)</small>	(-) 四、〇 <small>(都)</small>	二七、四 <small>(那)</small>	一二、五 <small>(新)</small>	三七、五	(-) 二〇、〇	八七七 <small>(路)</small>
仁川 <small>(岩代)</small>	(-) 四、〇 <small>(都)</small>	二五、三 <small>(子)</small>	一一、三 <small>(福)</small>	三五、八	(-) 一六、七	九五二 <small>(根)</small>
釜山 <small>(近江)</small>	二、八 <small>(山)</small>	二五、九 <small>(新)</small>	一四、六 <small>(大)</small>	三三、二	(-) 八、九	七七四 <small>(走)</small>
元山 <small>(磐城)</small>	(-) 四、二 <small>(冠)</small>	二四、五 <small>(宮)</small>	一〇、九 <small>(卷)</small>			一二四九 <small>(都)</small>

我邦ノ氣候ニ比スレハ寒暑共ニ強ク冬ノ温度ハ北海道ノ南部ノ如ク而シテ夏ハ琉球若クハ本洲中夏期高温地ノ温度ト匹敵ス全年ハ平均ハ與羽ニ比スヘシ斯ク寒暑懸隔スルハ全ク西北ナル大陸地方ノ冬ハ零下四十度ニモ降り夏ハ熱沙足ヲ容ルヘカラサルカ如キ酷烈ナル氣候ノ影響ヲ被ルニヨル○雨量ハ我ニ比スレハ總テ寡ク我國ニテハ最

モ寡キ北海道ノ東岸ト稍、相似タリ

●生業産物

古來農業ハ支那ニ倣ヒ立國ノ基トシ之ヲ勸メタレハ一般ニ行ハル然レモ古法ヲ墨守シテ改良セサレハ甚タ拙劣ナリ○商工業ノ如キハ殆ト觀ルヘキノ姿ナシ故ニ生業ハ重モニ農産物ニシテ財源ハ概子之レニ仰ケリ黄海岸ニハ廣キ農耕地アリテ米、麥、豆類ヲ産シ咸鏡道ノ米、黄海慶尙兩道ノ大豆最モ名アリ以上ノ穀物ハ輸出品ノ重モノナル物ニシテ年々ノ輸出額三百萬圓ニ達ス而シテ大抵日本ニ輸入ス、麻、木棉モ所々ニ産ス、藥品ノ人蔘ハ江原道ヲ推ス○農業ニ亞キテハ牧畜行ハレ牛ハ最モ多ク其肉ハ主要ノ常食ニシテ皮骨ハ輸出品トシ大概各道ヨリ産ス○馬ハ體格小ナレモ能ク勞ニ堪ユ豕モ稍産ス○山野ニハ熊、虎、鹿、猪多ク獸皮ハ輸出品ノ一ナリ特ニ虎ハ江原道ニ多シト云フ

鑛産ニハ砂金、各道ヨリ出スモ咸鏡、江原ノ兩道ヲ最トス次ニ鐵、銀ナリ
 其他ノ鑛物モ埋藏セサルニアラサレモ未タ掘採スルニ至ラス○朝鮮
 近海ハ水族ニ富ムト雖モ捕獲其法ヲ得ス僅ニ明太魚、鱈、青魚等ヲ漁ス
 ルニ過キス明太ハ乾魚トシテ支那ニ輸出ス○工業ハ未タ分業法行ハ
 レス概子自製自用ヲ辨スルハミ故ニ古昔ノ發達ニ似ス今工藝品トシ
 テ觀ルモノナシ○麻布ハ一般人民ノ着用ノ爲メ多ク之ヲ織ル其他ハ
 粗製ノ紬、絹、木綿ニシテ絹布ハ大抵輸入品ニ係ル○全羅慶尙ハ稍々手
 工ニ長シ一種ノ團扇、簾ヲ産ス○要スルニ朝鮮ノ富源ハ少量ノ農産品
 ニシテ人民ハ自耕シテ食シ自織シテ衣ルノ境遇ナリ國運ノ進歩セサ
 ル偶然ニアラス

●住民 一般ニ蒙古種ニ屬シ容貌ハ日本人ニ類シ體格ハ稍々壯大
 ニノ品相卑シカラス婦女ノ如キハ體格更ニ佳ナリ人口ハ實際ノ調査

ナキヲ以テ詳ナリ難シト雖モ七百十五萬ハ其實ニ近カルヘシト云フ
 ○風俗ハ從來總テ支那ニ倣ヒ衣服ハ明代ノ制ヲ用井白色ノ麻布ヲ以
 テ長衫ヲ製シ貴人ニアラサレハ彩絹ヲ用井頭ニ馬毛製ノ緣廣キ黒
 帽ヲ戴ク女子ハ短襖、長裳ヲ用ユ貴女人外出スル時ハ深ク面ヲ被フ○
 居屋飲食ノ不潔ナルハ他邦人ノ驚ク所ナリ居ハ矮陋ノ土屋ニ住ミ
 床下火氣ヲ通シテ温ヲ取ル之ヲ温突ト云フ食ハ雜穀若クハ糜飯ニ傾
 ケル肉類ニシテ甚タ葷類ヲ嗜ム料水到處缺乏シ不淨ノ惡水ヲ飲用ス
 ルヲ厭ハス稍々清潔ナルハ衣服ノミナリ

從來社會ニ貴族下民ノ階級アリ上下ノ別甚タ嚴ニ貴族ハ兩班ト稱シ
 兩班以上ニアラサレハ官ニ任スルヲ得ザリシカ輓近此風ヲ改メシ
 トス國民文學ヲ好ミ漢文ヲ講習ス公文モ漢文ヲ用ユ又別ニ固有ノ文
 字アリ之ヲ諺文ト云フ

性。質。ハ卑屈ニシテ國家的思想ニ乏シ、又懶惰ハ一般ハ弊風トナリ勤勉貯蓄ノ念ナク終日長管ノ烟ヲ吹イテ雜談ニ生ヲ送ルモノアリ○今各地ニ於ケル人質ヲ示セハ北部ノ民ハ憤リ易ク粗暴慥悍、軀格最モ大ナリ○東岸ノ住民ハ朴直順良ナリ特ニ慶尙道ハ稍々勤勉ニ朝鮮最良ノ民ナリ、黃海道ノ民ハ最吝最愚ニシテ義氣ナク、京畿ノ民ハ懶惰狡詐ナリ、全羅道ハ一般ニ私慾深ク且ツ貳心アリテ難治ノ民ト稱シ、匪徒屢々起ル彼ノ東學黨ノ如キ此地ヲ本據トシタリ。從來本邦人ノ内地旅行ノ如キハ到ル處冷遇セラレシノミナラス或ハ危險ノ憂ナキニアラザリシカ征清後ハ全ク之ニ反シ深ク邦人ノ威武ニ感シ本邦人ト見レハ大ニ珍重待遇スルニ至レリ

●處誌 朝鮮ハ地形及ヒ政治上之ヲ四。大。部。ニ別ツヘシ京畿道ハ國ノ中心ニシテ之ヲ中央部ト稱スヘク。京畿以南ノ三道ハ忠清、全羅

一慶尙ハ三。南。若クハ湖南ト總稱シ朝鮮ノ故國ナル百濟ハ忠清、全羅ヲ領シ慶尙ハ新羅ノ地ナリシ。京畿道ノ西北境ナル青石關ハ近畿天然ノ境界其西北平安、黃海ノ兩道ハ上古國ヲ建タル高麗ノ地ニシテ朝鮮ノ祖國ト謂フヘシ。咸鏡、江原ノ兩道ハ脊梁山脈ノ東北ニアルヲ以テ關北、或ハ關東ト云ヒ現朝ノ基業地ナリ。左ニ各道ノ概略ヲ述フ

●京畿道 三韓ノ後高麗ノ本地ニシテ現今モ首府ノ在ル所ナリ○京城ハ都ト稱シ王宮及中央政府ノ所在地ニシテ此國ノ首府ナリ別ニ漢陽、或ハ漢城トモ稱ス漢江ノ北岸ニ建テ海口ヨリ八里ノ上流ニアリ府ハ高壁ヲ環ラシ東西南北ノ四大門アリ市街ハ道路狹隘ニシテ不潔ニ民家又汚穢ナリ凡ソ二十萬三千ノ人口此内ニ雜居ス日本公使館ハ木峴ニアリ○廣州府ハ京城ノ東南四里半ニアリ古ノ百濟王温祚ノ都セシ古府ナリ四方山ヲ繞ラシ要害ノ地ナリ府中ニ九個ノ古刹アリ僧

徒專ラ弓矢ヲ執リ獵ヲ業トス自謂フ國家干城ノ資トナスト其西南ニ水原府アリ近傍ノ金水山ハ金坑ヲ藏ムト稱ス○素砂河畔ニ安城郡アリ京畿道ノ水路ヲ占メ物貨稍々集マルノ地トス其渡頭ハ征清之初役ニ松崎大尉戰死ノ地ナルヲ以テ著ハル○江華府ハ江華島ニアリ京城咽喉ノ要地ナルヲ以テ別ニ留守ヲ置キ漢江ノ通航ヲ監ス明治九年始メテ我國ト修好條約ヲ結ビシハ此府ナリ○開城府ハ京城ノ西十三里ニアリ或ハ松都ト稱ス人口七千ヲ有ス高麗ノ舊都ニシテ玄化寺ト稱スル古刹アリ此府城ハ有名ノ堅城ナリシ此府ト京城トノ間ニ文祿ハ古戰場ナル碧蹄關アリ

○忠清道 京畿道ノ南ニ隣リ湖西ト別稱ス其南ノ全羅ト共ニ古ノ百濟ノ地ナリ○公州府ハ本道ノ治所ニシテ京城ノ南三十六里ニアリ南ニ錦江ヲ帶ヒ平原廣ク最モ木綿ヲ産シ其市場ノ盛ナル朝鮮最大ハ

市場ト稱セラル上古前高麗ノ古都ナリ○錦江ノ下流ニ江景アリ南部ノ商業地ニシテ木綿米穀牛骨ノ輸出多シ○素砂河ノ下流ヲ成歡驛トス其河口ニ牙山縣アリ牙山灣ノ屯浦ハ全道ノ賦稅ヲ京城ニ回漕スル渡口ナリ故ニ貢稅潮ノ名アリ且ツ河ヲ下ル米穀多シ征清之役清將葉志超兵ヲ率非テ牙山ニ屯ス我大島昌第九旅團(廣島兵)大ニ成歡ニ戰ヒ遂ニ牙山ノ清兵ヲ擊退シテ其根據地ヲ奪ヘリ

○全羅道 全州府ハ本道ノ治府ナリ京城ノ南五十六里ニアリ古ノ百濟ノ古都ニシテ現朝ニ快カラサル者多シ其西南ニ羅州アリ共ニ木綿產地ノ市場ナリ錦江口ノ郡山港ハ其南ノ木浦ト共ニ良泊地ニシテ物貨ノ集マル所ナリ○古阜ハ東學黨ノ巢窟ナリシヲ以テ著ハル

○慶尙道 大邱府ハ治所ナリ京城ノ南東七十五里最南ノ大市場トス洛東江ノ流域ヲ占メ土地肥沃ニシテ物産多ク洛東江ヲ下ル穀類多

シ洛東江口ハ即チ馬山浦ナリ洛東江上流ニハ安東府アリ河流ノ便ヲ
 占メ府ニ新羅ノ古寺アリ其下流ニ密陽金海ノ兩府アリ○慶州府ハ東
 海岸ニアリ古新羅國ノ都セシ所ナリ其南ニ蔚山アリ加藤清正ノ籠城
 地ナリ今ニ城跡ヲ存ス○釜山港ニ近ク東萊府アリ

●江原道 本道ハ日本海ニ臨ミ長白山ノ脈海ニ迫リ風景ノ美ナル
 朝鮮第一ト稱セラレ沿海ハ潮汐少ナク海水澄ミテ鏡ノ如シ故ニ碧
 海ノ名アリ山間ニハ奇景多ク號シテ關東八景ト云フ○原州府ハ京城
 ノ西二十五里ニアリ田野稍々拓ケ本道ノ治所ナリ

●咸鏡道 本道ハ露領ト境シ元ト肅慎ニ屬シ後玄菟ト稱シ降テ女
 眞ノ地トナル○咸興府ハ本道ノ首都ニシテ李氏ノ基業地ナリ其近郊
 ニ太祖李氏ノ微賤ナリシ時ノ古宅アリ今ニ至リテ畫像ヲ其中ニ藏ス
 ○居民ノ氣風一般ニ雄壯鷲悍ナリ土地寒ク瘠薄ナリ冬間ハ土人豹皮

ヲ衣テ寒ヲ禦キ能ク飢寒ニ耐ユ○安邊府ハ元山ノ東南數里ニアリ有
 名ナル釋王寺アリ太祖ノ建ツル所ナリ其西北ニ德源府アリ元山ニ近
 ク頗ル繁盛ナリ○以北ニ吉州會寧鏡城アリ圖們江ニ近キ慶興ハ將來
 注目ノ要地ナリ

●平安道 本道ハ支那ヨリ南侵セル人種ノ始メテ國ヲ建テタル地
 ナリ○平壤府ハ京城ノ北五十五里ニアリ朝鮮最古ノ都ニシテ今又治
 所ナリ人口十萬四百ヲ有ス大同江ノ上流ナル湫水ニ臨ミ箕子及其後
 裔ハ都スルト約千年降テ衛氏高氏相次テ都スルヲ八百年今ニ於テ朝
 鮮ノ大鎮ト稱シ關西ハ中央市場ナリ地ニ箕子廟及ヒ井田ノ遺跡アリ
 或ル點ニ於テハ京城ニ勝ル所アリ府ノ東ニ乙密臺及ヒ牡丹臺アリ之ニ
 通スルヲ玄武門トス此府ハ征清之役清兵凡ニ萬嶮ニ據リテ扼守ス明
 治二十七年九月十六日我第一軍第五師團及第三師團ヲ以テ成ル軍司

令官山縣大將ハ四面合擊シテ之ヲ占領セシ激戰場ナリ○平壤ノ東ニ成川府アリ古ノ松讓國ノ跡アリ府ニ降仙樓アリ構造ノ壯大ナルハ道第一ノ壯觀ト云フ○義州府ハ朝鮮最北ヲ市ニシテ京城ヲ距ル百三十一里鴨綠江ノ南岸ニアリ北清ニ通スル要路ニシテ又支那トノ貿易場ナリ人口四萬アリ二七ノ會市定日ニハ府ノ柵門ヲ開キ支那ト貿易セシム出入ノ貨物頗ル多シ

○**黃海道** 首府ヲ海州ト云フ黃海ニ近シ其東ニ黃州府ハ人口二萬八千ヲ有シ繞ラスニ城郭ヲ以テス大豆產地ノ中央ヲ占メ市場盛ナリ朝鮮大豆ト稱シ我國ニ輸入スルモノハ大半此市ヲ經タリ平安道ノ中和下境ス○長淵府ハ海州ノ南ニアリ海中ニ大清小清ノ二島アリ元ノ順帝ノ窟セラレシ舊跡ナリ

○**開港場** 釜山港ハ半島ノ東南端ニ在リ我邦ニ最モ近ク長崎ヨリ

百六十二哩馬關ヨリハ百二十二哩ニ過キス我郵便船常ニ來往ス故ニ古來朝鮮ト交通スルモノハ一ニ此港(今ノ居留地)ニヨルニ百年前ヨリ邦人在留シ今ハ日本人ハ家屋一千五百戸人口殆ト一萬ニ達セリ領事館アリ學校アリ銀行郵便電信局商法會議所等備ハラサルナク宛然タル日本ノ一都會ナリ韓人ハ其周圍ノ村落ニ蟄居スルノミ貿易ハ概子我邦ニ輸出スル米大豆牛皮ヲ重要品トシ我邦ヨリ輸入スルモノハ雜貨ナリ

元山津ハ明治十二年我邦ノ爲メニ開キシ貿易港ニシテ邦人ハ在留者殆ト一千人アリ我領事館銀行郵便局アリ重要輸出品ハ米穀牛皮明太トス我郵便船ノ露領浦鹽港ニ航スルモノ頻々來往ス馬關ヨリ三百八十六哩アリ

仁川港ハ元ト濟物浦ト稱シ明治十六年我國ノ爲メ開港セリ馬關ヨリ

約五百、涇、京城ノ咽喉ヲ占メ、汽船頻繁ニ來往ス。輸出品ノ重モノナルハ砂金・人蔘・大豆・木棉等ナリ。港内ニハ我邦人ノ設立ニ係ル學校、銀行、病院アリ。邦人ノ在留スル者多ク是レ亦日本ノ一都會ノ如シ。

●通商貿易 外國貿易モ未ダ甚々微々トシテ目下通商貿易スルハ日本ヲ重モナリトス。我輸入品ノ中、寒村僻邑ニモ普及セルモノハ卷煙草及摺附木トス。其他ノ雜貨ハ提焰・鉄刀・蓆入・鏡・釘・煙管・干菓子及金巾等ナリ。征清役後ハ大金流入セシヲ以テ大ニ購買力ヲ増シ、絹布ノ輸入スルモノ少カラス。輸出品ハ既ニ各港ニ就キ舉ケタル諸品ノ外、生棉・煙草・黍等ナリ。

内地商業ニ至リテハ我國ノ所謂商業トハ雲泥ノ相違ニシテ、二三ノ大都市ヲ除ク外、平日ノ賣買ハ殆ト皆無シテ、僅ニ毎月二六若クハ三八等ノ定日ヲ以テ市場ニ集合シ、概テ物品交換ハ有様ナリ。通貨ハ最モ不便

ニシテ韓錢ハ常平通寶ト稱シ、我青銅錢ニ類スルモノ一種ナリ。紙幣ナク、金銀銅貨ナシ。其攜帶ニ不便ナルコト極マレリ。征清ノ影響ニヨリ、我硬貨ハ勿論紙幣ト雖トモ通用スルニ至リ、一般ノ便益小少ニアラス。

●政治 朝鮮ノ現王室ハ我紀元二千五十二年(今ヨリ五百三年前)ノ創建ニシテ原名高麗ヲ改メ朝鮮(チヤラシン)ヲ以テ公稱ノ國名ト定ム。洋人ハ尙ホ之ヲこれヨ(Chorea)ト云フ。國體ハ王國ニシテ政體ハ專制政體ナリ。國王ハ國政ヲ專行スルノ權アリ。從來支那ハ妄ニ其藩屏ト稱シ、其内政ニ容喙シ且ツ貴族政權ヲ擅ニシ、虐政ヲ施シタルヲ以テ國勢爲メニ大ニ衰退シタリシカ、明治二十七年我國ノ勸告ニヨリ先ツ清國ノ干涉ヲ退ケ、宗廟ニ誓ツテ大ニ國政ヲ改革シ、新ニ内閣ヲ組織シ、宮内、内務、外務、度支、法務、學務、軍務、農商、工務ノ各部ニ分テ各部ノ長官ヲ大臣ト改稱シ、次官ヲ協辦ト云ヒ且ツ日本ヨリ數多ノ顧問ヲ聘シ、總テ我邦

ニ倣ヒ改良ノ實ヲ擧ケントス然モ宿弊ノ久シキ改善大ニ困難ナリ
 地方制ハ各道ニ長官ヲ置ク從來其權勢甚ク盛ニ鄉曲ヲ武斷シタリ各
 道ハ更ニ府・縣・州・郡ニ分チ各々長官アリテ其管轄内ノ行政司法
 ノ兩權ヲ司トル又四都一京ト稱シ江華廣州(京)水原(忠清)松都(開城)ヲ四都ト
 シ一京ハ京城ニシテ別ニ一區ヲナセリ
 兵制ハ從來名義ノミニシテ其實ナク帳簿上ノ兵員トテモ僅ニ一萬ニ
 過キス其中ニモ未タ銃器ヲ手ニセシコナキモノアリシ明治二十七年
 ノ改革後ハ兵制悉ク日本ニ倣ヒ楠瀬中佐ノ訓練ニヨリテ始メテ紀律
 嚴肅ナル訓練隊ヲ組織セリ又米國人ノ訓練ニ成ルモノ若干アリ○以
 上ハ陸軍ニシテ水軍ハ從來總禦使水軍節度使等アリシト雖トモ固ヨ
 リ名義ノミニナリ

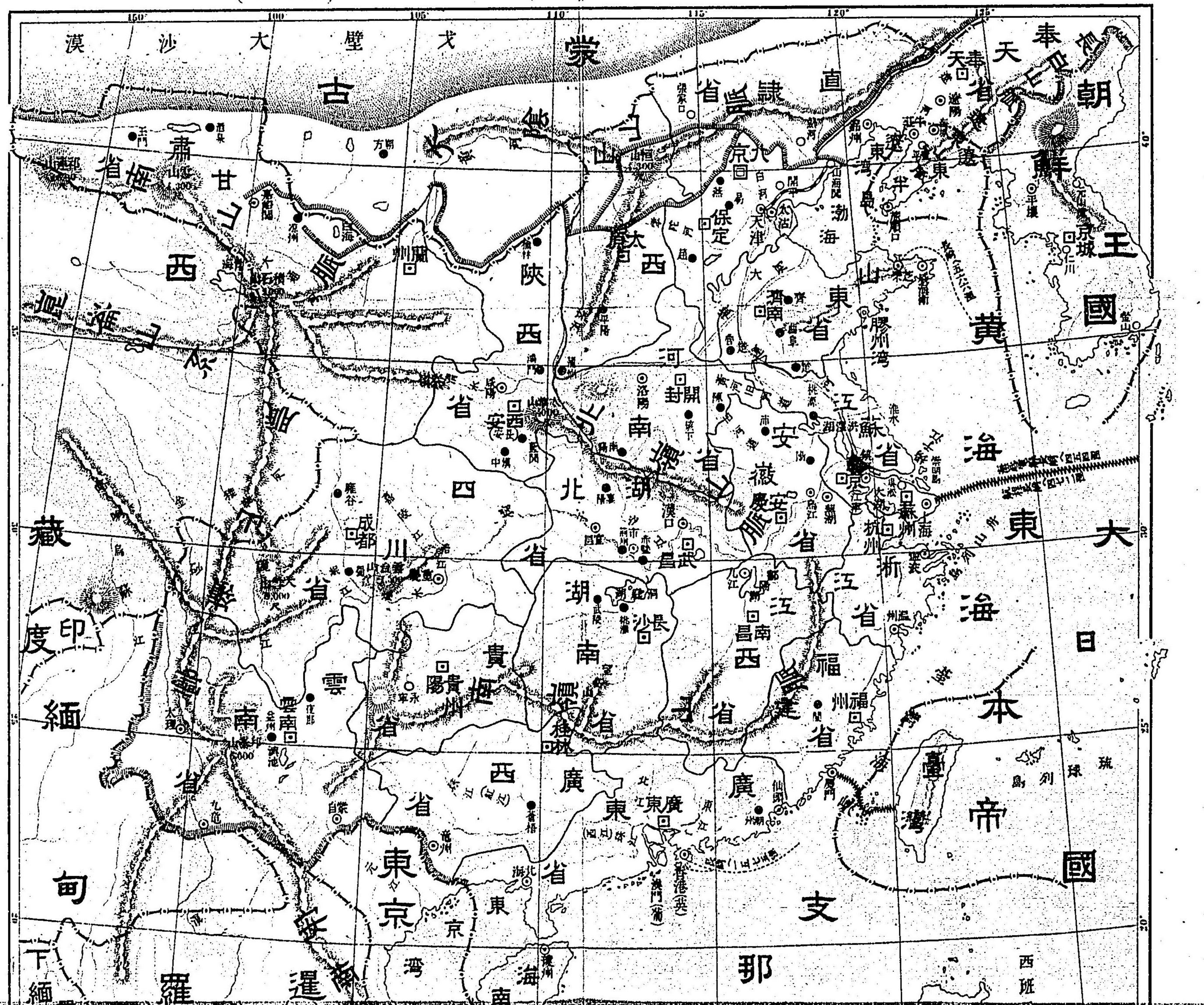
●沿革時事 朝鮮ハ久シク三韓ト稱シ辨韓馬韓辰韓ニ分レ或ハ高

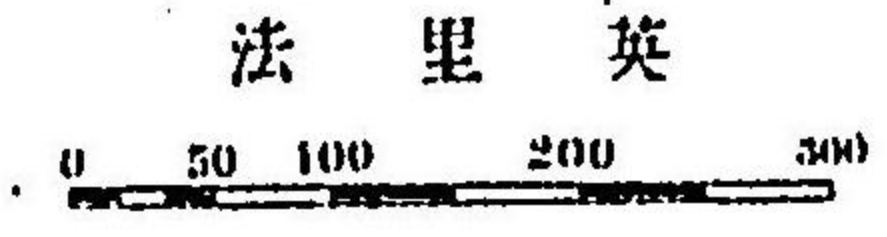
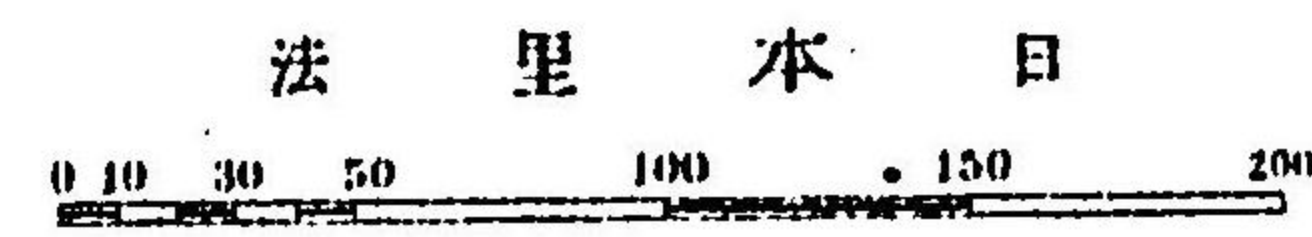
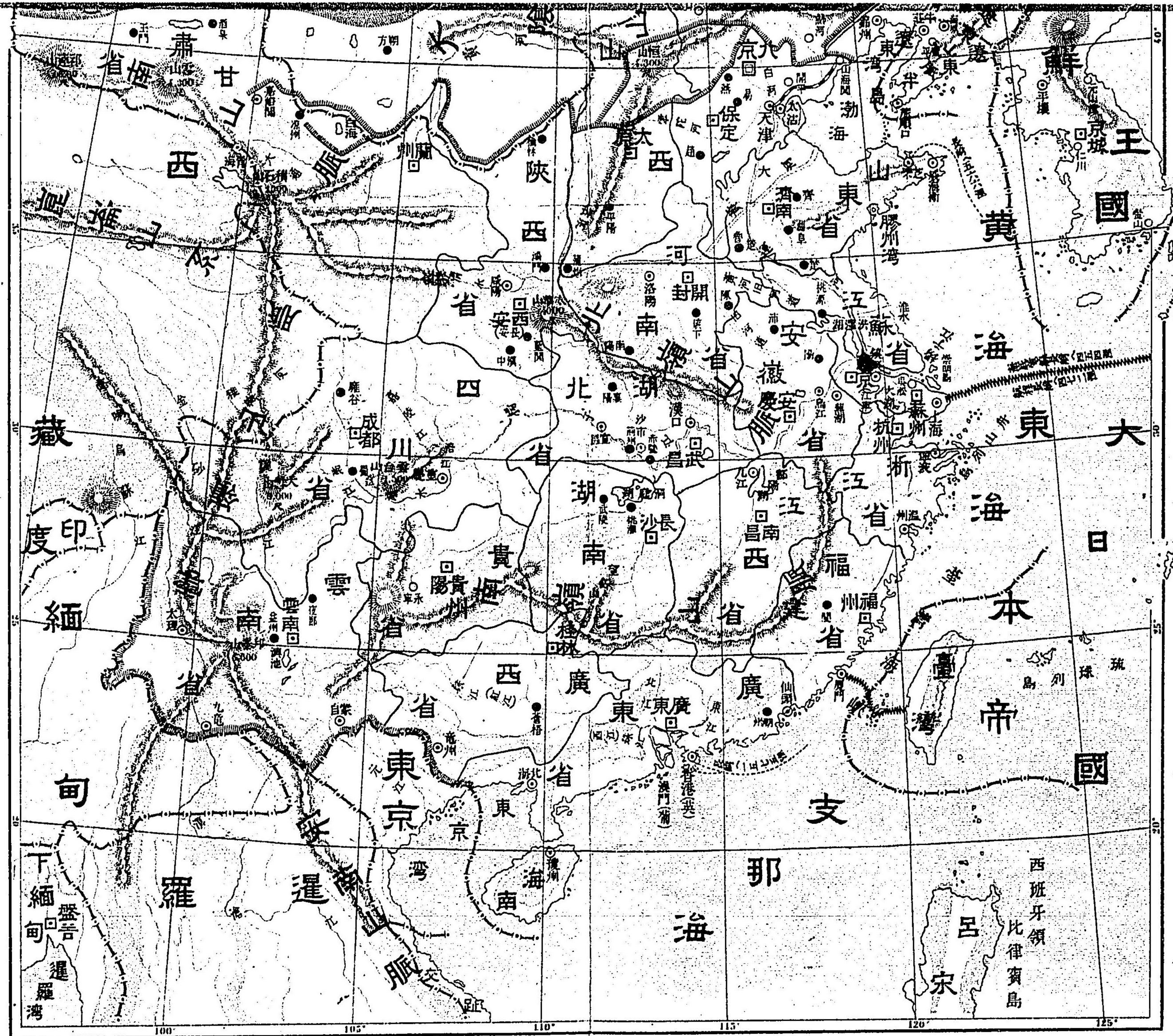
麗百濟新羅ニ分レタリ古來久シク我國ト交通シ神功皇后征韓後ハ我
 國府ヲ置キ又一時我邦ニ貢進シタリ又支那トモ古來交通貿易シ此兩
 國トハ最モ親密ナリシ今ヨリ五百餘年前高麗王ノ系統ナル現王室李
 成桂咸鏡道ヨリ起リ遂ニ全國ヲ統一セリ是ヲ開國第一ノ王トス豐太
 閔ノ時大ニ我兵ヲ被リ殆ト亡滅ニ垂ントセリ爾來支那ハ頻リニ其政
 ニ干涉シ國政日々ニ非ニシテ王室内ニ腐敗シ官吏外ニ貪婪ナリ國運
 退却シ國民貧衰セリ明治七年我國ノ啓發ニヨリテ稍々獨立國ノ體ヲ
 成シ始メテ港ヲ開キ我國ト通商條約ヲ結ビ次テ英・米・露・獨ノ諸
 國モ之ニ倣ヒテ條約ヲ結ヘリ然レトモ清國ハ尙ホ朝鮮ヲ以テ屬邦視
 シ陰ニ陽ニ國政ニ干涉シ其進歩ヲ妨害スルコト尠カラザリシ明治二
 十七年春全羅道ニ東學黨ト稱スル匪徒起ル支那ハ屬邦ノ拯難ニ口ヲ
 藉キ兵ヲ牙山ニ出ス我日本モ亦在留民保護ノ爲メ兵ヲ京城ニ駐劄セ

シ○ム○然○ル○ニ○支○那○兵○豐○島○近○海○ニ○於○テ○我○軍○艦○ニ○發○砲○ス○ル○ノ○無○禮○ナ○ル○舉○ニ○
 出○タ○リ○是○ヲ○以○テ○戰○端○ヲ○開○キ○遂○ニ○征○清○軍○ノ○止○ム○可○カ○ラ○サ○ル○ニ○至○ル○然○ル○
 ニ○韓○廷○ハ○我○國○ノ○勸○告○ニ○ヨ○リ○着○々○宿○弊○ヲ○改○革○シ○爰○ニ○始○メ○テ○開○黒○ノ○蠻○界○
 フ○脱○セ○ン○ト○セ○リ○

〔本及部
近其部〕

支那帝國圖





支那帝國

支那ハ現今國名ヲ清ト云ヒ西洋人ハ China ト稱ス亞細亞大陸ノ東南ヲ占ムル國ニシテ其境域東ハ朝鮮國及黃海・支那海ニ枕ミ東海ヲ隔テ、日本九州ニ對ス北ハ蒙古ニヨリテ露領西伯利ニ接シ西ハ土耳其斯坦及亞富汗ト界シ南ハ印度及後印度ニ境ス・中央緯度ハ北緯三十三度ニシテ我薩南群島ニ同シク又中央經度ハ東經百十度ナレハ日本標準時ヨリモ後ル、一四十分ノ所ニアリ

●面積　ハ其自ラ版圖ナリト稱スル外藩ヲモ加ルキハ地積甚タ廣ク凡ソ七十萬一千五百方里ヲ有セシカ日清戰爭敗軍ノ結果ニヨリ明治二十八年四月ノ關條約ヲ以テ遼東半島并ニ臺灣澎湖島ノ地合計凡五千八百方里ヲ割キテ日本ニ和ヲ請ヒシヲ以テ現今ハ凡六十九萬六千三百二十方里(四百十五萬方哩)トナレリ然レトモ尙ホ歐羅巴全

洲ヨリモ遙ニ廣ク亞細亞全洲ノ三分ノ一ニ餘ル斯ク廣大ナルヲ以テ之ヲ内藩外藩ノ二大部ニ區別ス清國政府管理權ノ及フ所ハ内藩ノミナリ故ニ之ヲ本部ト云フ外藩ハ滿州(東北)蒙古(北)韃靼(西北)西藏(西)ノ四部ニ別ツ今先ツ内藩ヲ説クヘシ

内藩

内藩ハ則チ支那本部ノ地ニシテ清國政府ノ法律命令ノ略偏ク行ハル、地方ナリ國人ハ自ラ中華ト誇稱シ或ハ單ニ華ト云フ此部ハ所謂支那沃地ヲ占メ黄海東海支那海ニ濱シ北方ハ長城及陰山脈ニヨリテ滿州ニ境シ西ハ雲嶺ノ脈ニヨリテ西藏ニ接ス面積凡二十一萬七千八百方里百二十九萬八千方哩ニシテ歐洲ハ三分ハ一餘ナリ

地勢

本部ノ地形タル北部ノ外藩ニ境スル所ハ概チ高隆ニシテ東南海濱ニ向ヒ漸ク緩斜セリ西藏境ノ山脈ハ雲嶺ト稱シ之レニ續キ

テ北東ニ蟠マルヲ陰山脈トス雲嶺ヨリ東ニ支出シテ支那沃地ヲ横斷スル山脈ニ派アリ南ヲ南嶺ト云ヒ北ヲ北嶺ト云フ故ニ地形ハ自ラ三區ニ別ル南嶺以南ハ之ヲ南支那ト稱シ珠江(紅江)其間ヲ流ル。南嶺北嶺ノ間ハ中央支那ト稱シ楊子江(或洋子江)其中間ヲ流ル。北嶺ノ北ハ即チ北支那ニシテ黄河(ヤンキ)其中央ヲ流ル

(1) 南支那ハ一ニ珠江流域ト稱シ南ハ支那海ニ濱ス珠江ハ三派アリ西ヨリ來ルモノ最モ大ニシテ即チ珠江本流ナリ中流ヲ北江トシ東ナルヲ東江トス共ニ廣東灣ニ入ル故ニ一名ヲ廣東河ト云フ其流域ハ土地肥沃ニシテ之ヲ越ト云フ

(2) 中央支那ハ楊子江流域ト稱シ土地最モ肥沃ニシテ人口稠密所謂中原ノ地ニシテ支那最盛部ヲ占メ古來支那英雄ノ爭地ナリ。楊子江ハ西藏高臺ノ中央ニ發シ南下數百里一折シテ東流シ洋々トシテ沃野ノ

間ヲ流レ東海ニ注ク長サ一千五百里ト稱ス此河ハ運輸ノ便甚タ宜シク凡一千哩ノ上流マテ汽船ヲ通スルヲ得兩岸ニハ八箇ノ開港場アリ南嶺ノ脈所々ニ鬱葱トシテ蟠マリ下流ノ南ニハ洞庭・鄱陽等ノ湖水ヲ湛ヘ風景清楚ニシテ古來支那ノ文華ハ此間ニ發達セリ

(3) 北支那ハ一ニ黃河灌域ト稱シ土地亦肥沃ナリ清朝以來首府モ此地方ニ置キ政治上最モ重要ノ部トナレリ。黃河モ其源ハ西藏高臺ニ發シ長城以外ヲ流レ北流數百里ニシテ東折シ再ビ南下シ遂ニ東北流シテ渤海ニ入ル此河ハ泥沙ヲ流スコ多ク濁流混々トシテ黃海ハ之カ爲メニ黃ナリ且ツ年年雨期ニ際スレバ洪水氾濫シ河道變遷シテ民害ヲナスコ甚タシ河道ハ元ト黃海ニ注キシガ明治廿二年ノ大洪水後ハ山東ノ北ヨリ渤海ニ注クニ至レリ全長千二百五十里ナレモ運輸ノ便少ナシ黃河ノ北ニ北河白河アリ渤海ニ注ク北京天津ヲ通シ運輸便利ニ

シテ汽船ヲ通スヘシ。楊子江ヨリ起リテ黃河ヲ貫キ北河ニ達スル運河アリ今ハ運輸ノ便ヲナスコト尠ナシ

●沿海 殆ト半圓形ヲナシ東南ニ擴出シ海岸線ノ長サ約一千七百里ニ達ス黃海東海支那海ヲ繞ラシ北ニ遼東山東ノ兩岬左右ヨリ出テ渤海直隸灣ヲ擁シ南ハ海南島ニヨリテ東京灣ヲ抱ク又臺灣海峡ヲ隔テ、遙ニ日本領地ノ臺灣島ヲ望ム。海南島ハ一ニ瓊州ト稱シ直徑八十一里面積我九州ニ似タリ尙ホ沿海ニ葡領澳門及英領香港ノ二小島アリ。總テ黃海岸ハ低地海中ニ入りテ遠淺ヲナセモ支那海沿岸ハ斷崖ニシテ山嶼海中ニ散布シ洋子江口ニ崇明島其南ニ舟山列島アリ

●氣候 土地廣大ナルヲ以テ北中南ニヨリテ寒暑大ニ異ナリ北支那ハ西伯利ニ接スルヲ以テ寒暑共ニ酷烈ナリ特ニ寒氣ハ頗ル嚴烈ニシテ十二月ニ至レバ北河堅氷ヲ結ヒ三月下旬ニ至ラサレハ解氷セス

渤海モ嚴冬中ハ氷結ス而シテ夏日ハ黃沙風、天ニ漲リ炎暑強シ。中央支那ハ殆ト我邦西南部ノ溫度ニ似タレモ夏ハ頗ル高温ニ達スルヲアリ梅雨期ニハ雨量夥シク暑期亦多雨ナリ、寒暑ハ梅雨前後ニヨリ著シク差アリ。南支那ハ殆ト熱帶ニ均シク四月ヨリ十月ノ間、炎熱甚シク且ツ此間氣候風濕氣ヲ輸シ來リ降雨多ク此期ヲ過キレバ乾節ニシテ氣候中和ニ復ス。又夏秋ノ際支那海ノ特有ナル大風(Typhoon)大ニ其威ヲ逞フシ北東ニ進ミテ沿岸ヲ吹キ荒ラスヲ常トス左ニ各地ニ於ケル氣候ヲ示スヘシ

測候所	低温平均	高温平均	全年平均	雨量耗
北京	(一四六)	二六一	一一八	六五二
上海	三五	二八一	一五二	一二五二
廣東	一二七	二七七	二〇七	一七九五

香港領

一五三

二八七

二二五

二二四八

冬期北京ノ平均溫度ハ北海道極北ニ同シク夏ノ溫度ハ鹿兒島ノ如シ故ニ寒暑甚タ懸隔スルヲ知ルベシ全年ノ溫度ハ我福島ニ似タリ。上海ノ全年溫度ハ和歌山ト同シク冬ハ中國ニ似タレモ夏ハ琉球ヨリモ高温ナリ。其以南ノ各地ハ總テ高温ニシテ我國ニ於テハ比スベキ地ナシ。雨量ハ上海廣東ハ我秋田福島ニ似タリ而シテ香港ハ九州ニ類ス。

○生業產物 支那ハ土地ノ肥沃ナルト氣候ノ温暖ナルトニヨリ有名ナル一大農業國ナリ故ニ支那財源ノ重モノナルモノハ農產物トス農ハ國ノ本トシ古ヨリ耕耘ノ法ヲ教ヘタルヲ以テ人民能ク農業ヲ勤ム農產物中各地ヲ通シテ最モ多キハ米ヲ第一トシ麥粟ノ穀類之ニ次ク全國ノ收穫高ハ實ニ夥シキ額ニ達ス其他茶、桑、甘蔗亦夥シ之ニ次ク木綿、阿片トス。○支那ノ無盡藏トモ稱スヘキ將來ノ一大產ハ礦物是ナ

リ就中第一ヲ石炭トシ西部山地特ニ夥シク支那炭田ノ全地積ハ十九萬方哩ニ達スベク恐ラクハ世界第一ノ石炭國ナルベシト云フ其次ヲ鐵銅トシ寶石ヲ藏スルモ亦夥シ○牧畜ハ滿州地方ニ行ハレ其内最モ多キハ彼等カ好シテ食スル豚トス之ニ次キ馬ナリ今各地方ニ就キ產物ノ重モナルモノヲ舉クヘシ

北支那ハ人口稀ニ且ツ居民怠惰ニシテ農業地ニアラズ最モ富ムモノヲ鑛物トス山西地方ハ石炭ヲ埋藏スルモ多ク沿海ヨリハ食鹽ヲ產ス之ニ次キ牧畜トス工業ハ概シテ拙ク日用品ハ南部ノ輸入ヲ仰キ穀物モ南部ノ輸入品ニヨル要スルニ多產ノ地ニアラス

中央支那ハ沖積層ノ沃土ナルカ上人民又能ク農ヲ勉メ耕作ノ普及スルコト丘陵ノ上沼澤ノ畔ト雖モ殆ト殘ス所ナク米穀ノ產年々夥シク海外輸出額モ少カラス米穀ハ江蘇浙江江西湖南ヲ最トシ蠶製糸ノ

業ハ安徽湖北江蘇四川ヲ推ス特ニ四川ノ產糸ハ歐洲市場ニ聲價アリ

●茶ハ所々ノ丘陵ニ培栽スレモ湖南湖北江西ノ諸省ヲ最トシ世界第一ハ稱アリ

南支那ヨリハ半熱帶產物ヲ出シ農産ハ米砂糖ヲ最トシ砂糖ノ如キハ其產額夥シ雲南省ハ鑛物無盡ト稱スレモ未タ採掘行ハレス僅ニ金屬ノ產アルノミ南支那一產物ト稱セラレタル竹ハ巨大ニシテ家具ヲ製ス麝香モ此地ノ特產ナリ

支那ノ製造品ハ人民一般ニ手工ニ長セリト稱シ古來頗ル令名アリシ現今モ金物細工彫刻其他陶磁製紙織物等頗ル觀ルヘキモノアレモ數千年前既ニ今日ノ地位ニ達シ其後毫モ改良進步ノ實ナシ今尙ホ有名ナルハ縐子綾羅等ノ絹織ニシテ木綿ハ其產額甚々多ク全國各地概子產セサルナク中ニモ中央ヲ第一トス我國ニ輸入スル額モ少カラス

陶磁器ハ著名ノ産ニシテ中央支那ヲ最トシ紙ハ産額多ク就中中央支那ハ最モ製紙ノ盛ナル所トス

○區畫 清國ハ今本部ニ十ハ省ヲ置キ滿州ハ清朝基業ノ地ナルヲ以テ特ニ三省ニ別テ之ヲ東三省ト稱シテ直轄トス今本部ノ省名府鎮州縣等ノ區畫ノ數省ノ首都面積人口ヲ左ニ示ス

省名	府	鎮	州	縣	首都	面積方哩	人口	(二方哩ノ人口)
直隸	保定				保定	五八、九四九	一七、九三七、〇〇〇	(三〇四)
山東	濟南				濟南	六五、一〇四	三六、二四七、八三五	(五五七)
山西	太原				太原	五五、二六八	一一、二二一、四五三	(三三二)
河南	開封				開封	六五、一〇四	二二、一一五、八二七	(三四〇)
江蘇	鎮江				鎮江	九二、九六一	二〇、九〇五、一七一	(四七〇)
安徽	安慶				安慶		二〇、五九六、二八八	(四二五)

江西	南昌	南昌	七二、一七六	二四、五三四、二一八	(三四〇)
浙江	杭州	杭州	三九、一五〇	一一、五八八、六九二	(二九六)
福建	福州	福州	五三、四八〇	二五、七九〇、五五六	(四八二)
湖北	武昌	武昌	一四四、七七〇	三三、三六五、〇〇五	(四七三)
湖南	長沙	長沙		二二、〇〇二、六〇四	(二八二)
廣東	廣東	廣東	七九、四五六	二九、七〇六、二四九	(三七七)
廣西	桂林	桂林	七八、二五〇	五、一五一、三三七	(六五)
雲南	雲南	雲南	一〇七、九六九	一一、七二二、五七六	(二〇八)
貴州	貴陽	貴陽	六四、五五四	七、六六九、一八一	(一一八)
陝西	西安	西安	一五四、〇〇七	八、四三二、一九三	(二二六)
甘肅	蘭州	蘭州		九、二八五、三七七	(七四)
四川	成都	成都	一六六、八〇〇	六七、七二二、八九七	(四〇六)

合計 一八二 六九 二〇 二八五 一八一 二九七 九九九 三八五 九七三 三四九 (三〇七)
又東三省ノ省名首都人口ハ左ノ如シ

省名	首都	人口
盛京 <small>(或ハ奉天)</small>	奉天	四、三六八、八七二
吉林	吉林烏刺	一、四九二、二〇〇
黑龍江	齊齊哈爾	七二五、三七五

●處誌 左ニ各省ノ概略ヲ摘記スレハ北支那ニ六省ヲ置ク左ノ如シ

直隸省 ハ本部ノ最北ニシテ盛京省ニ境シ渤海ノ要衝ヲ占メ現朝以來首府ヲ本省ニ置キ明朝ノ順天府ヲ帝都ト定メ北京府ト改稱ス清國中央政府ノ在ル所ニシテ北河上流ノ平地ニ建テリ古ノ燕京ニシテ人口ハ頗ル多キモ實際ノ調査ナキヲ以テ精確ナラズ或ハ三百萬ニ近

シト云ヒ或ハ百五十萬ト云フ然レトモ實際二百萬ニ近カルベク市街ノ雜沓ナルコト他ニ比類ナシ府ハ煉瓦壁ヲ以テ繞ラシ城門十三ヲ設ケ内ニ宮殿禁苑官衙アリ其廣大壯麗ナルコト實ニ專制大帝國ヲ表セリ。本省ハ河流縱横ノ平地ニ古ノ燕ノ地ナルヲ以テ所謂燕趙悲歌ハ士多カリシカ今ハ昔日ノ慨ナシ住民多ク農桑ヲ勤メ開平ハ炭山ハ當時支那隨一ノ産炭地トス

山東省 ハ渤海、黄海ノ間ニ突出スル半島地ヲ占メ古ノ齊ノ故地ナリ其大陸部ハ古ノ魯ニシテ曲阜ニ孔子廟アリ舜ノ耕セシ歷山モ本省ニアリ稍々淳美ハ遺風アリト云フ黄河ノ屢々氾溢スルニヨリ其害ヲ被ルコト多シ黄河流域ノ大都ヲ濟南府ト云フ

山西省 ハ山東ノ西、黄河ノ屈曲セル平地ヲ占メ土地豊ナラズト雖モ蓋シ支那上古ノ中央地ニシテ堯ノ都セシ平陽、舜ノ都セシ蒲州アリ

其後、晋ノ故地ナリシ民、質利陪ニ敏ク、財ヲ吝ムハ命ヲ喪フヨリ、モ恐ル本省人ノ行商全國中到ラサル處ナシ

河南省 ハ黄河ノ中流ヲ占メ土地肥沃ニシテ產物多ク古來支那ノ中腹ト稱ス然レモ黄河ノ氾濫ヲ防グガ爲メ全堤百五十里ヲ築キ最モ力ヲ爰ニ用ユ古ノ陳宋豫州等ノ地ナリ開封府ハ黄河域ノ大都府ニシテ黄河屈曲ノ所ヲ占メタリ河南府ハ黄河ノ支流タル洛水ノ北ニアリ故ニ古ハ洛陽ト稱シタリ南陽府モ本省ニ屬シ孔明ノ草廬ヲ結ヒタル臥龍岡其附近ニアリ又邵雍カ杜鵑ヲ聞キタル天津橋等アリ

陝西省 ハ山西ノ西ニアリ長城其北ヲ限ル古ノ雍州ニシテ漢唐ノ故都ナル長安西安ハ渭水ノ南、霸流ノ西ニアリ秦ノ故都ナル咸陽府ノ附近ニ阿房宮ノ趾終南山アリ西北ハ一般山地ニ屬シ秦嶺藍關亦本省ニアリ故跡渺カラズ

甘肅省 ハ西北邊ニアリ其一部ハ長城以外ニアリ古ノ隴若クハ西羌ノ地ナリ僻遠ノ地ナレモ露領ニ通スル要路ナレバ特ニ本部ノ直轄トス

中央支那ニ八省アリ左ノ如シ

江蘇省 洋子江吐口ノ北岸ヲ占メ水利便ニ地味豊ナリ氣候亦頗ル和順ナリ本省ハ元ト揚州ノ地ニシテ又吳越楚等ノ故地ナリ南京府ハ古ノ建業ニシテ明朝ハ之ヲ應天府ト稱シ今江寧府ト稱ス吳以來ノ舊都ニシテ洋子江ノ下流南岸ニ建テル景勝ノ都ナリ人口今ハ四十萬ヲ超ヘズ支那ノ技藝文學ノ叢園ト稱セラレ有名ナル磁製塔ハ長髮賊之亂ニ破摧セラレ僅ニ基趾ヲ存スルノミ此府附近ニハ古跡渺ナカラズ又洪澤湖ヲ始メ湖水多ク五湖ノ名アリ千里鶯啼綠映紅水村山郭酒旗風南朝四百八十寺多少樓臺煙雨中ハ正ニ此ノ故地ノ春ヲ寫セリ

安徽省 洋子江下流ヲ領シ氣候和順ニシテ往々人物李鴻章ノ如キヲ出ス淮水ノ南ナルヲ以テ或ハ淮南又ハ皖ト稱ス項羽ノ敗跡タル烏江明ノ太祖ノ建業地タル鳳陽亦本省ニアリ

浙江省 洋子江吐口ノ南岸ヨリ濱海一帯ノ地ニシテ其氣候ハ快美ナル地味ハ肥沃ニシテ住民ハ豊富ナル支那第一ト稱ス古ノ揚州又ハ吳越等ニ屬シ英雄ノ競争地ナレバ舊跡多ク彼ノ胥山會稽山等アリ

江西省 ハ古ノ吳楚ノ地ニシテ鄱陽湖其北ニアリ一名ヲ彭蠡湖ト云フ此附近ハ古來兵ヲ被ルコト多ク「只今惟有西江月會照吳王宮裏人」ノ觀アリ

湖北省 洋子江中流ノ平原ニシテ所謂中原ノ要樞タリ古ハ荊州ト稱シ或ハ湖廣ト云フ地肥ヘ産多ク古跡處々ニ存ス赤壁ハ洋子江岸ニシテ蘇東坡ノ古樓アリ隆中ニ孔明ノ故居アリ

湖南省 ハ元トノ楚ノ地ニシテ北方ニ洞庭湖ヲ湛ヘ九江府ニハ有名ナル岳陽樓アリ又武陵桃源モ省内ニアリ風景清楚ノ地ナリ彼ノ「遙望洞庭山水翠白銀盤裏一青螺」ノ趣アリ

四川省 西ハ西藏ニ隣ル廣大ノ地域ニシテ其人口ハ北亞米利加全州ニ均シ中央ノ平地ハ土地豊饒ニシテ天府ト稱ス蜀漢相繼キテ都セシ成都府ハ今尙ホ西部ノ大都會ニシテ洋子江上流ノ灌域ヲ占メ人口頗ル夥多ナリ西部ハ山水幽深ニシテ三峽ノ險アリ所謂蜀ノ棧道是ナリ洋子江省内ヲ流レ嘉陵江岷江等ノ支流アリ

貴州省 古ハ蠻夷荒服ト稱セラレシ僻遠ノ西陲ナリ氣候不順ニシテ土地劣惡ナリ

南支那 ハ一般ニ百越南越或ハ閩ト稱シ爰ニ左ノ四省アリ

福建省 元ト閩越ノ地ニシテ氣候温暖ニシテ茶ノ産出支那第一ト

稱ス。福州府ハ南部ノ大都會ナリ(貿易港ヲ指ス)。
 廣東省ハ百越ト稱シ人質狡猾ニシテ射利ニ長シ廣ク天下ヲ跋渉シテ利ヲ探クルニ巧ミナルハ本省人ヲ最トス濱海ニハ良港多ク古來外人トノ交易盛ニ行ハレタリ。珠江ノ吐口ニ葡領澳門島アリ。
 廣西省。廣東ト共ニ兩廣ト稱シ地域廣シト雖モ住民多クハ頑愚ハ陋民ニシテ唯財ヲ重ニスルコトヲ知リ生命ヨリモ貴シトス氣候惡ク瘴氣多シ。
 雲南省。支那極西ノ一省ニシテ安南緬甸ト境ヲ交ユ古三岐又滇國ト稱シタリ氣候ハ寒暑共ニ酷烈ニシテ風俗ハ朴直ナリ。
 東三省。總テ滿州ナリシカ清朝ニ至リ本部ニ準セリ。盛京省奉天省ハ渤海ニ濱シ現帝ノ宗廟地ナルヲ以テ最モ重キヲ置ク所ナリ征清之役我軍省ノ東南大部ヲ占領セリ渤海ニ突出スル遼東半島ハ下ノ關

條約ニ據リ一旦日本ニ割讓シタリ。○吉林省ハ盛京ノ北ニアリ黑龍江ノ支流タル松花江ノ灌域ヲ占ム。○黑龍江省ハ吉林ノ北ニアリ本省ハ元ト黑龍江ヲ跨リテ尙ホ北方ニ延ヒタリシガ先年江外ノ地ハ露西亞ニ割讓シテ伊犁地方ハ葛藤ヲ落着セリ(滿州ヲ指ス)。
 ◎貿易港。從來支那ノ開港場ハ沿海及大江ノ畔ニ二十四港アリシ内日本トノ貿易ハ天津・牛莊・芝罘・鎮江・九江・漢口・上海・寧波・福州・廈門・汕頭・廣東・淡水・安平・瓊州ノ十五港ニ限リ他ノ九港即チ蕪湖・宜昌・基隆・打狗・北海・龍州・蒙自・九龍・温州ハ歐米ニ限リ互市ヲ許シタリ然ルニ征清ノ結果ニヨリ歐米ト均シク各港ヲ開キシノミナラズ新ニ重慶・沙市・蘇州・杭州ノ四港ヲ開ケリ以上ノ内牛莊・基隆・淡水・安平・打狗ノ五港ハ我版圖ニ入りシヲ以テ支那現今ノ開港場ハ總テ三十三港ナリ。

開港場ノ内最モ盛大ニシテ又最モ我邦ニ近キヲ上海トス長崎ヲ距ル
 四百七十二哩ニアリ揚子江ノ海口ヨリ湖ルコ四十八哩ニシテ吳淞江
 アリ是ヨリ又十二哩即チ上海ナリ申口又滬口ト稱ス人口凡五十萬支
 那貿易ノ主場ナリ絹及茶ヲ輸出シ日本ヨリ海産物ヲ輸入ス○揚子江
 沿岸ニハ鎮江・蕪湖・九江・漢口・沙市・宜昌・重慶ノ各港アリ中ニ
 モ漢口ハ江畔第一ノ盛況ニシテ海口ヨリ六百三十哩ノ上流ニアリ人
 口六十萬ヲ有シ茶ノ輸出盛ナリ水路ハ四川・貴州・雲南ニ通スルヲ以テ
 將來益々繁盛ニ赴クベシ○天津港ハ白河口ニアリ帝京ノ門口ニシテ
 是ヨリ湖ルコ八十哩ナレバ北京ニ達スベシ人口凡九十五萬ヲ有シ長
 崎ヲ距ルコ七百三十六哩首府ノ喉咽ニ當リ白河口ニハ太沽ノ要港アリ
 ○福州港ハ一ニ榕城ト稱ス人口凡ソ五十萬アリ福建省ノ首都ナリ
 其港ハ閩江ノ北岸ニアリ福建艦隊(或ハ南艦隊)ノ碇泊所ナリ灣口ノ馬尾灣

ト稱スルハ佛國ト戰爭ノ時支那軍艦九隻佛ノ水雷ニ罹リ破碎セシ所
 ナリ○廣東ハ人口百二十萬ヲ有シ珠江口ヨリ八十三哩ノ上港ニアリ
 南部貿易ノ主場ニシテ支那中上海ニ次テ貿易盛ニ古代羅馬ト交通シ
 爾來外交ノ衝ニ當リ珠江ニハ大小ノ船四萬艘ヲ浮ベ三十萬人ノ船居
 住民アリ○芝罘ハ山東岬ノ北岸ニアリ其東ニ威海衛ノ軍港アリ對岸
 ノ旅順口ト共ニ渤海ノ門扉ト稱セラレタリ・征清ノ役旅順既ニ陷落
 シ北洋艦隊本港ヲ扼守ス明治二十八年一月三十一日我第二軍ノ爲メ
 陸上砲臺悉ク陥ル提督丁汝昌尙ホ劉公島ニ據リテ死守セシモ我水雷
 ノ爲メ堅艦數隻ヲ失ヒ終ニ敵スヘカヲサルヲ知リ軍艦鎮遠ヲ始メ十
 隻ヲ率キテ我海軍ニ降り提督自殺シ北洋艦隊全滅セシ處ナリ爾來本
 港ハ償金擔保ノ爲メ我守備隊ヲ置ケリ
 新開港ナル重慶府ハ洋子江ノ上流約一千哩ニアル四川省ノ大都ナリ

瀛船爰ニ湖ルコトヲ得四川ノ百貨輻湊スル地ナルヲ以テ英人類リニ
 此開港ヲ望ミタリ今我國ノ爲メニ之ヲ開ケリ沙市ハ一名沙頭ト稱ス
 湖北省ニ屬シ揚子江中流ノ左岸ニアリ海口ヨリ五百五十哩宜昌漢口
 兩港ノ間ニ位シ江ヲ上下スル船舶輻湊シ木材・茶ノ集マル所ナリ斯
 ル要口ヲ我國率先シテ開カシメタレバ將來ノ發達期シテ待ツベシ○
 蘇州ハ江蘇省ノ首都ニシテ人口凡一百萬アリ西湖ヲ控ヘ山水秀麗ノ
 間ニアリ水運ノ便大ニ宜シク溝渠縱橫我大阪ニ類ス彼ノ綠波東西南
 北水紅欄三百九十橋此府ノ一斑ヲ知ルヘシ上海ヲ距ル僅ニ十五六
 里運河ニヨリテ北支那地方ニ通ス支那中原ノ豐產地ヲ控ヘ特ニ茶ハ
 本省ヲ第一トス其外蠶糸・穀物悉ク豐ナリ蘇州ハ元ト吳ノ都ニシテ
 其東門ハ伍子胥カ眼ヲ抉リテ懸ケタル處府外ニ楓橋アリ彼ノ人口ニ
 膾炙スル月落烏啼霜滿天江楓漁火對愁眠姑蘇城外寒山寺夜半鐘聲到

客船此此地ニシテ姑蘇臺寒山寺尙ホ存セリ○杭州府ハ浙江省ノ首府
 ニシテ蘇州府ノ南三十里ニアリ大運河ノ起點ニシテ運河ニヨリ兩府
 ノ間ヲ往來スル船舶甚々繁シ此府ハ茶ノ生産地ヲ控ヘ此地ハ製茶ハ
 特ニ佳良ノ評アリ其外江畔ノ物貨ハ總テ江ヲ下リテ本府ニ集マルコ
 ト夥シ元トノ錢塘臨安ノ地ニシテ古蹟亦尠ナカラス
 英領香港ハ長崎ヨリ千二百五十哩最爾タル孤島ナレモ東西往來ノ船
 舶必由ノ地ナリ英人占領以來自由港トシテ關稅ヲ收メサルヲ以テ俄
 ニ繁榮シ他港ヲ壓シテ既ニ東洋第一トナレリ
 ○貿易 支那ハ世界ノ富國ニシテ歐米人ノ之ガ通商貿易ニ着手ス
 ルノ年々盛ニ其貿易港モ益々繁榮シ其輸出入額モ年々二億三三千兩
 ヲ下ラズ各國ノ内貿易ノ最モ盛ニ行ハルハ英國ニシテ他ノ諸國ヨ
 リモ額外ニ超過セリ次テ米國日本及露國トス清國ニ輸入スル多額品

ハ綿類(四千萬兩)ヲ第一トシ阿片(三萬兩)之ニ次ク其他金屬毛類トシ日本ヨリハ盛ニ海產物銅ヲ輸入ス。又輸出品ノ多額ナルハ生糸及絹類(三萬兩)ヲ第一トシ茶(二千萬兩)ヲ第二トシ砂糖穀物紙之ニ次ク綿類砂糖ハ最も多ク日本ニ輸入ス

●住民

本部ノ人口ハ約三億八千六百萬(前表ニ詳ナリ)東三省ニ五百二十四萬アリ之レニ外藩約一千五百八十四萬ヲ加フルハ全版圖ノ總人口ハ無慮四億七百萬ナリ人口ハ夥シキヲ世界全數ハ四分ハ一ヲ領ス而シテ本部ハ住民頗ル稠密ニシテ一方哩ニ付三百〇七人ハ平均ナリ(日本ハ二百八十六人)此等ノ人民ハ悉ク黃色種ニシテ即チ蒙古種ナリ斯ク一族ノ一地方ニ群居スル地ハ他ニ其比ナク此數ハ各地ニ散在スル白種人種ハ全數ト匹敵スヘシ

全版圖ノ種族ハ自ラ數種ニ分レ本部ニ於テモ凡四種アリ(一)苗人ト稱

スルハ太古中原ヲ領シタル種族ナリシカ今西部山中ニ隱棲ス(二)漢人ハ苗人ニ代テ中原ニ發達シ支那人中最モ多ク歷史上ノ興廢ハ此種ノ競爭ニシテ英雄輩出シ政權ヲ掌トリ文華ヲ發達セシメタリキ(三)滿州人ハ元ト長城以外ニ住シ匈奴突厥ト稱シ性慍悍ニシテ屢々南方ヲ圖リシヲ以テ秦始皇ハ其南侵ヲ防カンガ爲メニ世界ノ偉觀ナル長城ヲ築ケリ然レテ遂ニ侵入シテ漢人ヲ壓シ政權ヲ握リシコモ頻々ナリシカ其後勢益々熾ニ現清朝モ此種ヨリ出テ、政權ヲ領ス以來此種大ニ本部ニ侵入シタリ(四)回教人ハ元ト西韃靼地方ノ種ニシテ唐朝ノ時移リ來リ回教ヲ奉スルモノナリ其他越地方ニハ諸種ノ橫狂ノ土蠻アリ

●外藩ニハ韃靼人・西藏人ノ別アリ

此等ノ人民ハ其言語文學風習固ヨリ悉ク同一ナルヲ能ハス本部ハ大略文字ヲ同ニスレモ言語ニ至リテハ甚タ區々ニシテ北支那ト南支那

トハ語相通セサルノミナラス甚シキハ各省毎ニ言語ヲ異ニセリ斯ル
 國、民ナルヲ以テ其團結鞏固ナルヲ能ハス常ニ分離ノ形勢アリ
 人情ハ温和ニシテ苦楚ニ堪ヘ節儉ニシテ貨殖ノ風ニ富ム地方ニ就テ
 言ヘハ中央支那ハ古代ノ氣風ヲ存シ舊習ヲ墨守シ進取ノ氣ニ乏シク
 優柔詩文ヲ弄シ自ラ閑雅ノ風アリ是ヲ純粹ノ漢人トス。南支那ハ稍
 敢爲ノ氣ヲ供ヘ性質慍悍ナリ廣東ハ昔ヨリ開港場ナリシヲ以テ外情
 ニ通スル者多ク概シテ頑固ノ風ヲ脱セリ福建人ハ持重心薄ク輕躁ヲ
 免レス。北支那ハ比較的ニ朴直粗野ナリ勞ニ堪ユルヲ及文學ノ嗜ハ
 南中人ニ一步ヲ讓レモ間々宏慮ヲ抱ク者アリ山西人ハ商賈ニ長シテ
 行商多ク山東ハ別ニ一畫ヲナシテ最モ質樸ナリ(參見註ト)
 風俗ハ滿州人政權ヲ握リシヨリ男子ハ總テ辮髮ヲ垂レ滿州服ヲ着ク
 制服ヲ變スルハ最モ重キ國法ニシテ土地ノ如何ヲ問ハス風俗ヲ紊ル

ハ嚴禁ナリ女子ハ内房ニ閑居シテ漫リニ外出セス又足ノ小ナルヲ貴
 ヒ禁着スルノ弊風アリ。鴉片吸煙ノ弊ハ一般ニ行ハレ會テ國法ヲ以
 テ之ヲ禁シタレモ其目的ヲ達スルヲ能ハス今ハ全ク死法トナリ年々
 鴉片ニ費ス所莫大ナリ
 宗教心ハ甚タ冷淡ナリ現今多數人民ノ奉スルハ孔子ノ道德主義ナレ
 モ其實躬行スル者ハ少シ彼等ハ名教ヲ守リ禮讓ヲ尊フト稱スレモ官
 吏トナリテハ賄賂ヲ貪リ官職ヲ勤メス工商ノ徒ハ利是レ事トシ廉耻
 ヲ知ラス然レモ孔子ノ廟ハ村里必ス奉祀シ春秋ニハ國祭ヲ以テ其廟
 ヲ祀ル。佛教ハ南支那ニ稍行ハル西藏ヲ以テ最モ盛ナリトス。回教
 ハ回教人ノ間ニ行ハル。基督教ハ近來漸ク信奉ヲ増シタレモ屢々教
 徒ニ向テ暴行スルヲアリ楊子江畔ノ如キ屢々此ノ暴舉ヲナセリ
 ●政治 國體ハ獨立帝國ニシテ政體ハ君主專制ナリ即チ國帝ハ無

限ノ權ヲ有シ其欲スル所ハ何物モ之ヲ制裁スルコトヲ得ス。故ニ國政上ノ結果ハ盡ク國帝ノ責任ニ歸シ内閣諸大臣ハ之ニ關係セサルモノ、如シト雖モ帝國ノ法律ハ大清會典ニ則トリ國政ハ戚族ノ責トス、又各政務官ノ奉スル官憲アリテ各責任ヲ規定シ其責任ハ各自主務上ノ罪過ノミナラス其部下ニ屬スル官吏ノ罪過ニ對シテモ其責ヲ追ル、能ハス特ニ天災地變ナル旱魃水害等ヲモ責任ヲ有スル者アリ若シ將軍ニシテ敵ニ敗レ使節ニシテ使命ヲ全フスルコト能ハサルハ皆嚴罰アリ其罪過ヲ償フハ只自殺ノ一法アルノミ、

内閣ハ勅令閣令等貴重ノ法令ヲ發スル所ニシテ四大臣、二翰林大學士ヲ以テ成ル其員數ハ必ズ滿州人漢人相半スルノ制トス内閣ノ外ニ參議院アリ君主ヲ輔佐シ政務ヲ監督シ官吏ヲ黜陟スルコトヲ司トル其組織ハ議員ヲ以テ成リ親王大學士七部ノ長官及次官トス、

政務ヲ執行スル首部七部アリ戸部・禮部・吏部・兵部・刑部・工部・海部ト稱ス各部ノ長官ヲ尙書トシ各二人アリ(漢人二)次官ヲ侍郎ト稱シ六人(漢人三)アリ外國ニ關スル事務ヲ掌トル所ヲ總理衙門ト曰フ親王ヲ以テ長官トシ其下ニ六大臣(漢人三)アリ其他小部局甚々多シ現清國皇帝ハ慈禧太后ノ妹婚醇親王ノ長子ナリ我明治八年五歳ニシテ即位ス則チ清朝第九世ノ主ナリ親王家ハ八貝勒ト稱シテ清朝創業ノ際ヨリ最モ効勞アリシモノ祿位ヲ世襲スル八家アリ之ヲ歴代親王ト稱シ政治上ニ權力アリ、

●地方政。本部ノ施政區ハ十八省ヲ更ニ二百十州ニ分チ又更ニ二千二百八十五縣ニ分テリ府ノ大ナルモノハ別ニ一施政區トシ鎮ハ兵備アル所ヲ稱ス故ニ縣ハ施政區ノ最小ナルモノナリ(詳ナリ)知縣知州知府ノ地方官アリ各省ノ施政ヲ巡撫專ラ之ニ任シ其二省ハ政務ヲ司

トルモノヲ總督ト云フ地方長官官憲ニ於テ凡テ行政司法ノ二權ヲ付與セラルル地方人民ニ對シテハ非常ニ權力ヲ有セリ

●兵制 支那ノ兵事ハ兵部海部ノ監督ニ歸シ別ニ軍機ニ參與スル最高官ヲ軍機大臣ト稱シ重モニ親王ヲ以テ組織ス。清朝ハ今ヨリ三百年前明朝ヲ倒シテ全國ヲ統一シタル愛親覺羅氏ノ朝廷ナルヲ以テ兵要樞機ノ部ニハ多ク滿州人ヲ用井漢人ノ得勢ヲ制セリ

陸軍ハ八旗兵及綠旗兵ノ二種ヨリ成ル八旗兵トハ旗種ニヨリ第一ヨリ第八ニ分ツモノニシテ旗種ハ第一黃第二紅綠黃第三白第四紅綠白第五紅第六白綠紅第七青第八紅綠青ナリ第一ヨリ第三旗マテハ滿州人ヲ用井之ヲ上兵ト稱ス第四旗以下ハ蒙古韃靼人ニシテ之ヲ下兵ト云フ以上ノ概數二十萬三千ト稱ス内現役兵ハ僅ニ一萬三千練勇兵四萬二千アリ各旗ニハ將帥各三名アリ八旗合セテ二十四名ナリ上兵ハ

帝廟帝宮ノ護衛及十八省中ノ要塞ヲ守ル五百人ヲ以テ一營ト稱ス綠旗兵ハ支那ノ國民軍ニシテ十八省中ヨリ募集ス其數九十五萬ト稱ス

レハ兵器備ハラス且ツ平時ハ土工ニ從事シ眞ノ兵ニアラス故ニ其内ヨリ撰拔シテ更ニ練軍ナルモノヲ置キ訓練ヲ與ヘ新式銃ヲ有スル者若干アリ近今大ニ武器ハ購入シタルヲ以テ頗ル銳利ノ砲銃アリ日清之役我軍ト戰ヒシ兵ハ練勇兵及各種ノ練軍ニシテ精巧ノ砲銃ヲ有シタリシモ敗軍ノ際皆棄テ、逃走セシヲ以テ大半我軍ノ戰利品トナレリ其他武器戰裝ハ分捕品ニ徵シテ一斑ヲ知ルヲ得ヘシ海軍ハ全國ノ海防幹線ヲ大別シテ北洋南洋ノ二トス。北洋ハ前年其艦隊ヲ編制シ渤海灣口ノ太沽及旅順口(遼)威海衛(山)ノ三港ヲ以テ軍港トシ又定遠鎮遠以下十八艘ヲ以テ北洋艦隊トシ渤海灣ヲ守備トセリ然ルニ征清之役我艦隊ト戰ヒ或ハ轟沈セラレ或ハ捕獲セラレ或ハ降服シ悉ク殄滅

セリ。南洋トハ山東岬以南ヲ總稱スルモノニテ其兵艦未タ充分ナラザレバ屢ニ南洋・福建・廣東ノ三艦隊ヲ編制シタリシガ日清ノ戰ニ稍々有力ナル軍艦ハ北洋艦隊ニ加ハリテ我收容ニ歸シ若クハ沈滅シ今ハ戰闘力ナキ數隻ヲ存スルノミ。又海岸防禦ニハ從來頗ル力ヲ用非二十餘箇處ニ砲臺ヲ築キ巨砲ヲ備ヘタリ然レバ支那海軍ノ進歩ハ寧ロ武器ニアリテ未タ形式的ヲ免レスルヲ說アリシカ征清之役ニハ我軍到ル處ニ上陸シタリ

●交通
支那ハ古國ニシテ土地低平アレバ交通ノ事既ニ上古ヨリ開ケ驛傳ノ制ヲ如キモ夙ニ行ハレタリ且ツ黃河及揚子江ハ共ニ千里以上ニ流レ其支流モ縱横シ尙足ラサル所ハ運河溝渠ヲ穿テタリヲ以テ水路四通シ水運ノ自在ナル中ハ多ク其比ヲ觀ズ又家畜ノ繁殖ニ適スル國ナレバ馬牛驢驘等ヲ用非運搬ノ用ニ供シ巧ニ陸路ヲ通

リ斯ク交通ノ開ケシハ既ニ數千年前ノコニ爾來曾テ進歩セス特ニ文明ノ利器タル鐵道ノ如キハ曾テ英人ノ手ニヨリテ上海吳淞間十二哩ヲ敷設(千八百七十六年)セシガ當時國論ハ鐵道ヲ以テ亡國ノ具トナシ政府之ヲ買收撤去セリ其後鐵道論ハ漸ク再興シタレ現ニ敷設シタル處ハ天津ヨリ塘山ヲ經テ山海關(直隸)ニ至ルヲテニ過キス又山海關ヨリ延長シテ奉天府ニ達スルコト中原鐵道ト稱シ北京ヨリ山西陝西湖南ノ各省ヲ經テ湖北省ノ揚子江岸武昌府ニ達スル線路ハ久シク計畫アレバ未タ實行ニ至ラズ

電○信○線○ノ○延○長○ハ○頗○ル○進○歩○シ○全○國○重○要○ノ○都○府○ハ○殆○ト○通○セ○サ○ル○所○ナ○シ○郵○便○法○ハ○未○タ○不○完○全○ニ○シ○テ○古○傳○ノ○組○織○ヲ○改○メ○ズ○即○チ○各○州○縣○ニ○數○所○ノ○驛○站○大○ル○モ○ノ○ア○リ○驛○馬○ヲ○供○ヘ○政○府○ノ○布○達○地○方○官○ノ○諭○達○等○凡○テ○公○用○文○書○ノ○外○人○民○ノ○信○書○ヲ○送○達○セ○ズ○故○ニ○別○ニ○信○局○ト○稱○ス○ル○モ○ノ○ア○リ○一○般○人

民ノ信書ヲ送達ス然レモ合本ノ私立會社ニシテ不確實ノモノナレハ
 信書ノ不着ハ勿論銀封書留ノ如キ書類モ賊難ニ罹ルリ少ナカラズ
 海運ニハ官設ノ招商局アリテ汽船二十六艘ヲ以テ支那沿海及安南東
 京間ヲ往來ス私設ノ汽船會社ハ印度支那汽船會社太沽洋行禪臣洋行
 アリテ沿海ヲ航行ス又麥邊洋行ハ揚子江ヲ往復スル汽船會社ナリ

外 藩

滿州面積六萬七千四百四十方里人口約一千二百萬

滿州ハ現清朝基業ノ地ニシテ本部ノ東北部長城以外ニアリ興安嶺其
 西ヲ限リ北ハ黑龍江ヲ以テ露領西伯利ト境ス江外ノ地ハ清領ナリシ
 カ會テ露國ニ割與セリ松花江ハ州ノ中央ヲ横キリ東北流シテ黑龍江
 ニ合スル巨流ナリ江畔ハ地肥ハ最モ有用ノ所ナリ烏蘇江ハ興凱湖ヨ
 リ發シ之ヲ以テ露領トシ境トナズ

州ノ北方ハ山林ニ富ミ野獸多ク西部ニハ牧畜行ハル松花江畔ニハ多
 少ノ農産アリ○氣候南部ハ稍平和ナレ北部ハ寒氣強ク八月ニ霜結
 ヒ草枯レ十月ヨリ翌四月迄ハ地盤堅ク氷ルハ人種ハ滿州人ニシテ體
 格稍々大ニ風俗慥悍能ク戰ラ古ハ北方之強ト稱シテ本部人ノ恐レシ
 種族ナリ今ヨリ二百餘年前途ニ明朝ヲ倒シテ支那ノ政權ヲ掌握シ清
 朝ヲ建テタリ以來人民多ク本部ニ流入シ又昔日ノ強ニアラスト云フ
 域内ヲ三省ニ別ツ盛京吉林黑龍江ト云フ清朝ハ之ヲ東三省ト稱シテ
 本部ニ準セリ盛京省ハ渤海ニ臨ミ遼東角突出シテ遼東灣ヲ抱ケリ山
 角ノ盡端ハ旅順口ノ軍港ナリ其砲臺ハ山東角ノ威海衛砲臺ト相對シ
 テ甚タ堅固ノ名アリシカ遂ニ我占領ニ歸セリ省中ノ主都ヲ奉天府
 ト云フ平野ノ間ニ位シ南ハ理河ヲ帶ビ西ハ十里ニシテ隆業山アリ東
 ハ三十里ニシテ天柱山アリ北京ヲ距ルコト二百四十六里半ノ東北ニア

リ此府ハ滿州清朝ノ基業府ニシテ滿州主世々ハ墳墓地ナルヲ以テ現朝ハ甚々之ヲ重シ其守備頗ル堅固ナリ○吉林省ノ主都ヲ吉林烏刺ト云フ松花江畔ニアリ○黑龍江省ノ主都ヲ齊齊哈爾ト云フ

蒙古ハ本部ノ北興安嶺ノ西ニアル廣大ノ土地ニシテ北ハ阿爾泰山ヲ以テ西伯利ニ境シ西ハ伊犁地方ニ接ス地勢ハ一般高臺ニ屬シ三千尺乃至四千尺アリ内ニ有名ナル戈壁又沙漠大沙漠アリ長サ八百三十里幅二百里ヲ以テ横ハル其麓ヨリハ數大河ヲ發セリ○此地ハ實ニ亞細亞氣候ノ特性ヲ支配スル本源ニシテ寒暖甚シク懸隔シ冬間ハ烈寒ニシテ其寒風ハ吹イテ四近ノ氣温ヲ奪ヒ又暑中ハ炎熱ノ中心トナリ其沙中ハ足モ入ル能ハサルニ至ル四月ノ頃ハ狂風屢々起リテ細砂ヲ捲キ陵谷忽チ處ヲ變スルコアリ故ニ流沙ノ名アリ○此間ヲ漂泊

スル民種ハ蒙古種ノ源ニシテ頰骨秀デ眼斜ニ釣リ頭髮漆黒ノ加爾加斯人ナリ常ニ家畜特ニ馬匹ヲ愛シ水草ヲ逐テ移轉シ張幕ヲ以テ家トス故ニ固ヨリ農業ヲ勤メス掠奪ヲ事トシ屢々匪賊蜂起スルコアリ清朝モ其統御ニ苦メリ○主都ヲ倫庫爾稱シ世連河ノ支流ニアリ此流ヲ下レハ露境ニ賣買城アリ其名ノ示スカ如ク露人トノ貿易場ニシテ駝隊ヲ以テ沙漠ヲ横キリ露産ノ獸皮毛布金巾ト茶及南方產物ト交換ス

韃靼面積九萬七千三百方里
人口約十百八萬

韃靼ハ蒙古ノ西ニ隣レル廣漠ノ地方ニシテ南ハ印度及西藏高地ニ限ラレ北ハ阿爾泰山ニヨリテ露領ニ接スル高地ナリ天山脈東西ニ亘リテ地形ヲ兩分ス南ヲ天山南路又ハ回疆ト稱シ北ヲ天山北路又ハ新疆若クハ伊犁ト稱ス

天山南路ノ谷間ハ處々ニ肥沃ノ地アリ且ツ支那ヨリ西部ニ通スル要路ニ當ルヲ以テ其一部ハ特ニ之ヲ甘肅省ニ屬セシム○印度ノ西北部ニ通スル貿易路ハ數條アルモ常ニ往來スルモノハ此地ノかるこるむ山(Karakorum)一萬八千五百五十尺ヲ越ユルモノナリ○天山北路ハ阿爾泰山天山ノ谷ニアリ昔ハ一王國ヲナセシカ今ヨリ百三十年前清國ノ屬地トナレリ此地湖水多ク伊犁川其中間ヲ流ル首都ヲ伊犁ト稱ス肥沃ナル高原ノ中央ニアリ露領ト境スルヲ以テ屢々事アリ二十四五年前遂ニ一旦露人ニ占領セラレシカ千八百八十一年ノ條約ニヨリ再ヒ清國ニ歸セリ然レトモ土人ノ匪賊屢々起リ露國其隙ニ乘セントスルヲ以テ清國甚々統御ニ苦メリ伊犁河ハ露領ニ入ル要路ニシテ多ク茶ヲ西方ニ輸スル貿易路タリ

西藏(面積十萬九千方里 人口約六百萬)

雪山ノ北崑崙山ノ南世界第一ノ高陸アリ西藏ト云フ土地ノ平均高度一萬五千尺アリ街路平原皆爰ニアリ高山此上ニ聳ユルヲ以テ通路甚々少ナシ古來此ノ地ノ景况ヲ探リ得タルモノ少ナシト雖下モ境域甚々廣ク人口六百萬アリト云フ高原ノ四圍ハ雜草ニシテ中央ニ湖水多ク東部ノ青海ヲ始メトシ中央ニハ大湖アリ之ヲ神湖ト稱シ土人詣ルモノ多シ湖面ハ海拔一萬五千九百九十九尺アリ冬間ハ湖水堅氷ヲ結ブ氣候ハ雨一般ニ少ナク七八月ノ交些少ノ降雨アリ原野ニハ羚羊・驢・犂牛アリ山ニ貴金アリ○地形ハ最モ著シキハ印度河ノ谷及ぶらまぶらとら河ノ深溪是ナリ此兩河ハ斯ル高地ニ發シ深ク幽溪ヲ刻シテ印度ニ落ツ其他諸大河ハ發源スルモノ多シ首都ヲ刺薩(Lassay)ト云フ「らまぶら」室ノ高僧たらいらま及らちらまノ居ル處此僧古來政權ヲ掌握シ威權盛ナリ寺院數多ニシテ僧侶甚々多シ政權ハ名義上毎年清國ヨリ派遣

スル巡撫將軍ノ司ル所ナリ交易ハ印度河道ニヨリテ雪山南方ニ通シ
 歐洲産ト土産ノ砂金馬麝香等ヲ以テ之ニ換ユルト云フ
 ●沿革時事 支那ノ始メテ邦制ヲ成セシハ大凡四千年前ノ昔ニ
 アリ是ヨリ漸次文物工藝進歩シ當時印度埃及ト共ニ世界ノ三大祖國
 トナリ其附近ノ諸邦ニ文化ノ種子ヲ分播スルコト渺ナカラス秦代ニ至リ
 稀世ノ英傑タル始皇出テ、四邊ヲ征服シ其版圖大ニ擴張シタリ現今
 彼レカ如キ大版圖ハ蓋シ概テ其遺業ニ係ル始皇ハ内國ノ略々其緒ニ
 就クト共ニ外國ニ向テ交通ヲ覓メタルヲ以テ始メテ西洋ニモ其名ヲ
 知ラレ西洋人カ此國ヲChinaト呼フハ元ト秦ノ訛傳ナラントノ説アリ
 東漢ノ代ニハ羅馬ト使節ヲ往來セリ我日本トモ秦時代ヲ以テ交通ヲ
 始メタリ降テ隋ノ世ニ至リ我國トノ交通次第ニ頻繁ニ趣キ我國ヨリ
 ハ公使ヲ派遣シ留學生ヲ送ル等ノ舉アリ惜亡ヒテ唐トナリテ往來ハ

益々親密トナリ我國ノ文物多クハ模範ヲ爰ニ仰ケリ且ツ唐ノ代ハ治
 世凡三百年ノ久シキニ亘リシヲ以テ文華非常ニ發達シ殆ト支那最盛
 ノ時ナリシ故ニ我國ヨリハ唐ヲ以テ彼レヲ呼ヒ一モ唐ニモ唐物ト稱
 シ今ニモ其稱ヲ存スル程ナリシ其感化ノ我ニ深ナリルコト知ルベシ
 元代ニ至リ成吉思汗・忽必烈等ノ豪傑輩出シ再ヒ世界的運動ヲ始メ殆
 ト歐亞ヲ蹂躪セントセリ是ヨリ歐洲トノ交通モ漸次頻繁トナレリ且
 ツガゑにテ人まるこぼる此時ヲ以テ始メテ此國ニ航シ忽必烈ノ知
 遇ヲ受ケ歸來支那紀行ヲ著ハシテ此國ノ風土ヲ歐洲ニ紹介セシヲ以
 テ此先進國ノ事情ハ一時歐洲ニ喧傳セラレタリ
 明代(西曆一千五百二十二年)ニ至リ葡萄牙人寧波ニ來港シテ互市ヲ開
 キシヲ以テ支那開港ノ濫觴トモ謂フヘカリシ然レトモ幾クモナク土
 民ノ爲メニ攘去セラレ同五十五年澳門島(現葡領)ニ入り互市ヲ營メリ

次テ西班牙和蘭人モ葡人ノ例ニ倣ヒ廣東及厦門ヲ開キテ互市場トナセリ○明末(一千六百三十七年)ニ至リ英人ハ彼ノ東印度商社ノ貿易遠征隊ニヨリテ擅ニ支那沿岸ヲ砲撃シ遂ニ廣東砲臺ヲ略取シ脅迫シテ互市ヲ強請シ廣東港ヲ以テ互市場ト定メシヨリ次第ニ貿易事業ノ盛大ヲ來セリ特ニ慘害ナル鴉片ノ輸入ハ最モ盛ナリシ清政府ハ嚴ニ之ヲ禁スト雖トモ其禁令ノ行ハレザリシノミナラス遂ニハ厦門牛莊等英國トノ互市場外ニモ密輸ヲナスニ至レリ加フルニ英政府ハ東印度商社ニ限ラス一般人民ニモ鴉片貿易ヲ許セシヨリ輸入一時ニ増加シ害毒ヲ被ル甚シキヨリ清國ハ屢々英人ニ諭告セシモ其効ナキニヨリ林則徐ナル者ニ命シテ便宜ノ處置ヲオサシメシヲ以テ則徐ハ鴉片國ヲ燒キ英商ヲ獄ニ投シタルヨリ彼ノ鴉片戰爭トナリ英兵ハ廣東・香港・厦門ヲ陷レ揚子江ヲ溯ツテ江寧府ニ迫レリ於是清廷恐レテ償金

ヲ納レ香港ヲ割キ五港ヲ開キテ和ヲ講セリ是レ則チ江寧條約ナリ一千八百五十七年ニ至リ『あるろ』號捕拿事件ナルモノ起リ再ヒ英國ト戰端ヲ開キシカ佛軍亦英軍ト同盟シテ太沽砲臺ヲ陷レ天津ヲ占領シテ遂ニ北京ニ迫ル清帝難ヲ熱河ニ避ケ再ヒ償金ヲ納レ更ニ十港ヲ開キテ和ヲ講フ之ヲ天津條約ト云フ其後漸次開港シテ二十三港トナレリ
斯ノ如ク清國ハ尾大掉ハサルノ姿ニアリナカラ獨立國タル朝鮮ヲ以テ常ニ屬邦視シ安リニ其内政ニ干涉シタリ明治二十七年春朝鮮ニ東學黨起ルヤ屬邦ノ拯難ヲ名トシテ兵ヲ出シ遂ニ我日本兵ニ抗シテ爰ニ戰端ヲ開キ戰爭結ンテ十餘月ニ亘リ陸ニ海ニ連戰連敗シ清帝其爲スヘカラサルヲ知リ李鴻章ヲ我國ニ遣ハシ渝盟ヲ悔ヒ下ノ諸件ヲ以テ和ヲ講ス『朝鮮ノ獨立ヲ確認シ遼東半島・臺灣島・澎湖島ヲ割キ償

金ヲ納レ、四港ヲ開ク。是ヲ下ノ關條約ト云フ。當時清國下ノ條約國ヲ
 締盟ノ順次ニ舉クレハ、露西亞、英吉利、瑞典、挪威、合衆國、佛蘭西、獨逸、丁抹
 和蘭、西班牙、白耳義、伊太利、埃太利、白露、日本、巴西、十六國ナリ。而シテ、買
 易ノ最モ盛ナルハ、英國、及英領印度、間ナリ。之ニ次キ、米佛、獨西、丁和、諸
 國ナリ。

（以下は非常に淡く、読み取りが難しい文字列が続く。内容は支那の歴史や外交に関する記述と思われる。）

安南 Annam

安南ハ後印度半島ノ東部ヲ占メ、日本ノ西南、凡ソ二千三百八十哩ニア
 リ。北ハ支那ノ雲南地方ニ隣シ、西ハ暹羅ニ境シ、東ハ東京灣(Gulf of Tong-
 京)及支那海ニ臨ミ、北緯十五度線ヲ國ノ中央トス。昔ハ三萬六千九百
 方里(或ハ二十)ノ面積ヲ有セル一王國タリシカ、近時ハ四大部ニ分レ、北部
 ヲ東京(Tong-king)中部ヲ交趾支那(Cochin China)及東蒲塞(Cambodia)ト稱シ、
 南部ヲ佛領交趾支那ト稱スルニ至レリ。

●地容 北部ハ支那ノ雲嶺山脈ヨリ分レ來ル横嶺アリ、山深ク、
 稱スル民族ノ住スル處トス。是ヨリ山脈、暹羅界ノ安南山トナリ、南ニ
 亘ル然レモ五千尺以上ノ高峰ナシ。其東際ニ沃野アリ、テ物産多ク、南方
 交趾支那ノ地ハ平坦ニシテ、濕氣多キヲ以テ草木ノ繁茂ニ適ス。東京河
 ハ北部ヲ潤ス、大河ニシテ支那ノ山間ヨリ來リ、東京灣ニ注キ、運輸甚ク

便ナリ此河ノ航權ヲ爭ヒ明治十七年清佛戰爭ノ端ヲ開ケリ東。蒲。塞。河。ハ一名ヲ。溟。滄。江。(Melong)ト稱シ南方ノ大河ナリ波流深廣ニシテ下流ハ數個ノ大三稜洲ヲ抱キ海ニ入ル此邊及沿海ノ平地ハ地味非常ニ肥ヘ

タリ

○氣候

安南ハ寒暑ノ懸隔甚シク東京地方ハ乾。濕。ノ二期アリ乾期ハ夏月西南氣候風期ニシテ安南山ノ爲メニ濕氣ヲ吸收セラレタル乾風ナルヲ以テ雨ナク之ニ反シテ寒期東南氣候風ハ支那海ノ多濕ヲ帶

ヒ來ルヲ以テ雨期ニ屬ス南方ハ常ニ濕氣甚シク且以暖熱ナルヲ以テ

○產物

北方豐饒ノ地及溟滄江畔ハ夥シク米ヲ產ス此江畔四近ハ水澤ニシテ稻禾自然ニ生シ別ニ耕作ヲ要セスシテ豐熟ス彼ハ外國米ト稱シテ我邦ニ輸入スルモハハ此地ハ產多シ又肉桂ノ產ハ世界ニ名

アリ砂糖・石炭・銀・象牙・護謨ヲ產シ南方ニハ綿・煙草・麻粟(船)

材ノ葉實ヲ出ス

○沿革時事

今ヨリ凡六百年前マテハ支那帝國ノ所領タリシ後其實ナキニ至リ三百五十年前始メテ聯合政治ヲ定メタリ我天正年間伊勢ノ人角屋七郎次郎ナルモノ此國ニ渡航シ遂ニ市街ヲ開キ日本町ト稱シ寺院ヲモ建テタリトゾ然ルニ今ヨリ百二十年前内亂起リ王及太子ヲ殺シ亂七年ノ長キニ亘リテ平クルコト能ハス漸ク佛兵ノ援ニヨリ平定スルコトヲ得タリ是ニ於テ其報酬トシテ溟滄江海口ハ一部ヲ佛國ニ讓與セリ其後宣教師殺害事件ヨリ佛國柴棍(Batou)ヲ占領シ遂ニ漸ク其領地ヲ廣メ明治十七年ニハ今ノ佛領交趾支那ヲ領スルニ至レリ又清佛交戦ノ後和ヲ媾シ英(口)條約ニヨリ東。蒲。塞。ハ佛國ノ屬地トナリ再ヒ明治十八年ノ條約ニテ清國ヨリ東京ヲモ佛國ノ附庸

タルコトヲ承諾セシメ爾來佛國ノ權勢甚々重ク國王ハ在リト雖モ無キニ同シ

○**人民** 安南人ハ蒙古種ニ類シ頭髮ハ褐色ナリ其風俗習慣ハ頗ル

我邦ニ類シ衣服特ニ婦人服ノ如キハ甚々相似タリ官服ハ恰モ閩魔王

ノ畫ヲ視ルカ如シ又漆器ノ椀盆ヲ用非テ食器トシ褥上ニ起臥ス安南

人ノ工藝ニ長スル所ハ船匠カリ國語ハ支那語ト異ナレモ國民多クハ

漢字ヲ用非孔子ノ道義及佛教ヲ信奉ス東瀟塞人ハ容貌歐洲人ニ類シ

養蠶製糸ヲ以テ主ナル生業トス其土蕃ヲくめるト云フ此民族古ニア

リテ文華ニ趣キシコトハ彼等カ建築ニ係ル古寺院ノ壯大ナルモノア

ル等ニヨリテ知ルヘシ人口ハ總テ三千一百萬人ヲ以テ云フ

○**都邑** 順化府ハ主都ニシテ現ニ安南國王ノ都スル所ナリ官衙盡ク備リ頗ル偉觀ナリ歐米夫々之ヲ羨英日ト稱ス貿易ノ中心ヲ占メ

市況繁盛ナリ佛人爰ニ堅固ノ砲臺ヲ築キ其周圍五哩ニ餘リ甚々壯大

ナリ以テ國王ヲ牽制セリ故ニ主權全ク佛人ニ在ルカ如ク土人ハ可憐

ノ境涯ニアリ。東京河口ヨリ凡四十里ノ上流ニ一府アリ河内府(Hanoi)

ト云フ東京河ノ貿易ヲ占メ市街繁盛ナリ溟滄江支流ニ海口ヨリ九十

哩ノ處ニ一府アリ柴棍(Saigon)ト云フ佛領交趾ハ首府ナリ人口十八

萬ト稱ス我橫濱ヨリ上海香港ヲ經テ二千三百八十六哩アリ此府數十

年來佛人ノ占ムル處ニシテ氣候炎熱ナレモ海軍港又貿易港トシテ佛

國ノ爲メ重要ノ港ナリ府内歐風ノ建築ニシテ美麗ナレモ支那人ノ住

居地及土人ノ居屋ハ茅舍矮屋河岸ニ並ヒ椰子ノ葉ヲ以テ葺キ土壁戸

牖ヲ設ク屋内ハ土床ニシテ汚穢甚シク豕亦多ク一層不潔ノ感アリ

○**貿易** 貿易ハ支那トノ間盛ニ行ハレ商權ハ主ニ居留支那人ノ手

ニアリ河内府ハ東京河貿易ノ地ニシテ河流ニヨリテ支那雲南地方ヨ

ニシテ多濕ナリ。其他ハ乾燥ニシテ寒冷ナリ。極南方ハ炎熱甚シ。下雖トモ海濱ノミハ氣候頗ル爽涼ナリ。

●産物。國中一般森林ニ富ミ良材ヲ産ス。平原地ハ印度第一。沃トト稱セラレ。米ヲ産スルコト夥シ。諸方ニ輸出ス。又礦物ニ富メルコトハ近來世人ノ知ル所ニシテ金・鐵其他ハ金屬ヲ産ス。然レモ交通不便ノ爲メ採掘盛ナラス。金ノ最モ純良ナルハ西岸地方ノ鑛山ナリ。鐵ハ東部ニ産シ。石炭ハ中央諸州之ヲ出セ。寶石ハ紅寶石・碧玉・黃玉ヲ多シトス。此等ノ輸出年額一千七百萬圓ニ上ル。ト云フ。此外犀角・象牙・獸皮及染料・香料等ヲ産ス。

●人民。土人ハ三分ノ二ニシテ支那人巫來人及雜種アリ。土人ハ淡褐色ニシテ身長我邦人ト似タリ。遊惰風ヲナシ。頭巾ヲ被リ。寬濶ナル長袍及短衫ヲ着ク。近來開化シタル人ハ西洋服ヲ着用スルモノアリ。然レ

モ甚タ不體裁ニシテ上半ハ洋裝ニシテ下半ハ自國服ヲ着タル者或ハ胸ニ袖時器ノ金鎖ヲ閃カシナカラ。跳足ナル者等アリ。下等人ハ概テ裸體或ハ半身ヲ被フニ過キ。ス。總テ半開國ハ風ヲ脱セ。商業ハ重ニ支那人ノ手ニ歸シ。巫來人ハ農業ニ從事シ。或ハ海賊ヲ事トスル者アリ。文學ハ梵語ヨリ出テ稍々見ルヘキ處アリ。近來ハ歐洲風ヲ採用シ。英佛獨等ニ學生ヲ送ルノ舉アリ。宗教ハ佛教盛ニ行ハレ。寺院多ク何人モ一回ハ僧侶トナリテ托鉢セサルヘカラス。東北部ノ老樞族ハ自ラ他ノ人民ト異ナリ。專ラ獸獵ニ從事ス。曾テ獨立國ナリシガ今ハ此國ノ附庸トナリ。三年ニ一回暹羅國ニ貢ヲ贈ル。全國ノ人口五百七十五萬アリ。

●政體。王國政體ハ君主專治トス。王位ハ世襲ニシテ萬機ノ主宰權ヲ掌握ス。王侯貴族ハ政治上甚タ權力アリ。邦内ヲ四十一州ニ分テ各州ニ知事アリ。之レヲ議員トシテ法律ヲ議定ス。國民上下ノ別甚タ嚴カリ。

上ハ王侯ヨリ下、奴隸ニ及フ、奴隸ノ舊弊ハ今尙ホ存在シ開化ヲ妨クル
 コト少小ナラスト云フ然レモ現國王ノ賢明ナル舊來ノ陋習ヲ廢シ歐
 米ノ新主義ヲ納レ外ハ廣ク各國ト交際ヲ開カントス○明治二十年王
 族紀んぐせヲ我邦ニ遣ハン大ニ我文物ノ進歩ヲ視察セシメ翌二十一
 年一月新ニ通商條約ヲ日本ト締盟シテ我邦ノ條約國トナレリ爾來本
 邦人ノ渡航スルモノアリ然レモ貿易ハ未タ見ルヘキモノナク僅ニ我
 絹布ヲ輸入スルノミ

○兵制 兵制ハ歐洲ノ制ニ倣ヒ陸海軍ヲ置キ兵ニ常備及民兵アリ
 凡男子二十一歳ニ達スレハ兵役ノ義務アル者トス但シ若干ノ免役料
 ヲ納ムル者ハ之ヲ免ス士官ハ多ク歐洲人ヲ採用シ其訓練ヲ受ケタル
 モノ陸軍ニ約二萬人アリ此等ハ新式大砲小銃ヲ有ス又奇ト謂フヘキ
 ハ女隊ノ近衛兵アリ・海軍ハ漸次艦數ヲ増シテ艦隊ヲ編成セリ士官

ハ多ク英人ナリ兎ニ角亞細亞洲中ニテハ獨立ノ體ヲ備ヘタル邦國ト
 謂ベシ

○都邑 首府盤谷(Bangkok)ハ我國ヲ距ル凡三千零八十浬湄南河口
 ヨリ二十浬ノ上陸ニアリ人口六十萬アリト云フ壯大ナル王宮ノ在ル
 所ナリ市街ハ陸街河街ノ二部ヨリ成ル河街ハ湄南河ニ數多ノ舟筏ヲ
 浮ヘ家屋ニ代ユル河上住民アリ舟筏ニヨリテ商業ヲ營ム景况ハ怡然
 陸上ニ異ナラス府内一般ニ寺院多ク宮殿官衙ハ甚タ美觀ナリ舊都ハ
 其上流ニアリシカ百三十年前緬甸ト戰爭ノ時破壞セラレ現處ニ移ス
 ニ至レリ○湄南河ノ上流三百五十浬ノ所ニタム(Zambo)府アリ汽船
 此府マテ溯ルコトヲ得

緬甸ハ暹羅ノ西北及支那雲南省ノ南ニ隣レル英國ノ新領地ナリ夏至
 回歸線ノ中央ヲ通過ス南ハベンガール灣(Bay of Bengal)ニ臨ミ面積四
 萬六千八百四十九方里アリ即チ我邦ノ一倍九分アリ
 ○地容 支那及印度ニ境スル處ハ一帯ノ連山アルヲ以テ地勢漸ク
 ニ南方ニ傾ク中央ノ低地ハ沼澤所々ニ存シ西ニイラワヂー河(Irawady
 R.)東ニサルーン河(Salween R.)ノ二大水アリテ此間ヲ流通シ灌溉自在ニ
 地味亦肥沃最モ米ヲ作ルニ適シ稻田相望ム沿岸ノ地最モ豊饒ナリト
 ス沿海ニハ島嶼頗ル多シ
 ○氣候 低地ハ炎熱ニシテ人ノ健康ニ適セス五月ヨリ十月ノ間西
 南氣候風吹キテ霖雨多ク五月初旬暑氣最モ強ク平均三十七八度トス
 然レモ六七月ハ却テ二十八度ヲ平均トス東北風ノ期節(十一月ヨリ
 四月マデ)ハ乾

緬甸 Burma

緬甸ハ暹羅ノ西北及支那雲南省ノ南ニ隣レル英國ノ新領地ナリ夏至
 回歸線ノ中央ヲ通過ス南ハベンガール灣(Bay of Bengal)ニ臨ミ面積四
 萬六千八百四十九方里アリ即チ我邦ノ一倍九分アリ
 ○地容 支那及印度ニ境スル處ハ一帯ノ連山アルヲ以テ地勢漸ク
 ニ南方ニ傾ク中央ノ低地ハ沼澤所々ニ存シ西ニイラワヂー河(Irawady
 R.)東ニサルーン河(Salween R.)ノ二大水アリテ此間ヲ流通シ灌溉自在ニ
 地味亦肥沃最モ米ヲ作ルニ適シ稻田相望ム沿岸ノ地最モ豊饒ナリト
 ス沿海ニハ島嶼頗ル多シ
 ○氣候 低地ハ炎熱ニシテ人ノ健康ニ適セス五月ヨリ十月ノ間西
 南氣候風吹キテ霖雨多ク五月初旬暑氣最モ強ク平均三十七八度トス
 然レモ六七月ハ却テ二十八度ヲ平均トス東北風ノ期節(十一月ヨリ
 四月マデ)ハ乾

燥ニシテ頗ル快美ノ氣候ナリ

●**産物** 氣候炎熱ニシテ夏期雨濕多キヲ以テ動植物ノ産ニ富ミ穀類ハ概子産セサルナク中ニモ米ノ産額最モ多ク土人ノ常食タリ、麥・

生糸・砂糖・木綿・煙草ヲ産ス森林ニハ麻栗樹多ク船材トシテ歐洲ニ輸出スルコト夥シ川床ニ金ヲ出ス動物ハ元ト王家ニテ愛セラレタル白象ヲ初メトシ虎犀ノ獸類多シトス象牙・麝香・蜂蜜ノ如キモ亦

佳品ナリ

●**都邑** 多クハいらわぢー河沿岸ニアリ西曆千八百三十九年マテノ舊都タリシぢーぢー府(Paw)昔時著名ノ都府ニシテ國名ヲモぢーぢート稱シタリシガ遷都ノ年地震ノ爲メニ破壊セラレ遂ニ今ノ都マンダレー(Mandaley)ニ遷スヨトナレリ此府ハ人口七萬三千ヲ有シ現廢王ノ都セシ處ナリ僅ニ五十餘年來ノ新都ナリシヲ以テ美麗清潔ノ稱アリ

シカ英兵ノ闖入ニヨリ大ニ破壊セラレタリ次テ土人蜂起シテ英人ヲ驅除スルノ目的ヲ以テ自ラ火ヲ放チシ等ニヨリ今ニ却テ甚タ不潔ナリ府ハ城壘ヲ以テ廓ヲ築キ其要害嚴重ナリシモ英兵ノ精銳ニハ敵シ難ク交戦僅ニ一ヶ月ノ後ハ遂ニ城下ノ盟ヲナシ今ハ英人ノ占領府ナリ蘭群府(Rangoon)ハいらわぢー河ノ河口ニアリ東西兩洋通商ノ中點ナルヲ以テ英國占領後ハ直ニ貿易港トナシ今ハ緬甸第一ノ開港場トナリ三千噸ノ汽船直ニ其埠頭ニ横着ケスルヲ得且ツ鐵道ヲ敷設シ之ヲ支那南部及安南等天賦豐饒ノ地ニ延長シ其産物ヲ直ニ印度洋岸ニ輸送シテ之ヲ歐洲ニ送致スヘキノ準備ヲナセリ故ニ此港ハ後來益々繁盛スルニ至ルヘシ

●**人民** 土人ハ骨格宜キヲ得皮膚淡褐色ニシテ性質快活ナレハ懶惰ヲ免レス一度得タル賃銀ノ存スル間ハ又勞働スルコトヲ學問及工

業ハ印度人支那人ニ及ハザレハ緬甸語ハ韻文ニ富ミ戲曲院本ノ著作多シ緬甸ノ天地說ハ彼ノ須彌山ノ說盛ニ行ハル◎社會別レテ七級アレハ佛教ノ一切衆生平等ノ義行ハレ貴賤貧富ノ別甚シカラサルハ亞細亞中稀ニ見ル所ナリ佛教ハ甚々勢力アリテ寺院ハ國立ノ學校ノ如ク何人モ一度ハ之ニ入りテ髮ヲ剃リ黃衣ヲ着ケテ村里ヲ托鉢セサルヘカラス若シ之ヲ了ラサル者ハ畜生ト看做スノ風アリ又動物ノ生命ヲ絶ツヲ忌ミ愛子ノ毒蛇ニ囓マル、ヲ視ルモ之ヲ獲殺セザルカ如キアリ・女子ハ一般ニ世事ニ熟達シ甚々權勢アリ且ツ自由ヲ享クルコト東洋ニ冠タリ總テ一家ノ支配ハ妻ノ自ラ任スル所タリ

●沿革時事 緬甸ノ歴史ハ二千四百年前ニ起レリ而シテ其都城ハい
らわでー河畔ニ建テ既ニ繁昌シ後印度ニ雄視セル強大ノ一王國ナリ
シ其人種ハ快活ニ其土蕃ハ温順ニ而シ其國土ハ豐沃ニシテ產物多ク國

王ノ威權ハ涯限ナカリシ然レトモ王室内ニ腐敗シ官吏外ニ貧虐ニシテ法律制度其宜キヲ得ス土人ハ酷薄ナル政道ニ驅ラレ漸次昔日ノ膽勇ヲ失ヒテ兇猛トナリ實直ノ象ヲ變シテ猜疑トナリ學術進マシ工業振ハス漸ク亡國ハ兆ヲ現セリ加フルニ二百年前ヨリ英人漸ク海岸ヨリ浸入シ土人トノ間葛藤斷ヘサリシ頃ハ一千八百二十四年ノコトナリ土人カ英國ノ守塞兵ニ抗セシヲ端緒トシ英國ハ開戦ヲ宣布シ遂ニ國ノ南方ペグ(Pegu)ノ地ヲ占領シ千八百五十二年マテニ下部緬甸(元所謂英領緬甸)ヲ蠶食シ千八百八十年ニハ既ニ一萬五千方里ヲ略シ爾來益々其領土ヲ擴メ千八百八十六年ニ至リ國王デーぼーノ失政ヲ鳴ラシ緬甸遠征軍ヲ起シ一舉シテ舊都及新京ヲ陷レ國王ヲ擒ニシテ王國版圖ヲ亡シテ遂ニ其十月ヲ以テ緬甸全土ヲ舉ケテ英國女皇ノ管理ノ下ニ置クコトナシタリ

巫來半島ハ緬甸ヨリ鶴首ノ如ク長ク印度洋中ニ突出シ南ハすまとら
 島(Sumatra)ト相對ス其間ヲ巫來加海峽(Malacca Str.)ト云フ東西南洋必
 通ノ水道ナリ巫來半島ハ其管轄二部ニ分レタリ主要ノ部所々ヲ區畫
 シテ英領トシ之ヲ英國海峽殖民地ト總稱ス彼南巫來加新嘉坡(Singap-
 pore)ノ如キ是ナリ其他ハ土人ノ所領地箇々分立セシガ本年新ニ聯合
 シテねくりせむびらん及英國保護巫來國ノ兩聯合國ヲ組織セリ(英國
 ナノ保護)

巫來半島 Malay Peninsula (或ハ馬來ニ作ル)

巫來半島ハ緬甸ヨリ鶴首ノ如ク長ク印度洋中ニ突出シ南ハすまとら
 島(Sumatra)ト相對ス其間ヲ巫來加海峽(Malacca Str.)ト云フ東西南洋必
 通ノ水道ナリ巫來半島ハ其管轄二部ニ分レタリ主要ノ部所々ヲ區畫
 シテ英領トシ之ヲ英國海峽殖民地ト總稱ス彼南巫來加新嘉坡(Singap-
 pore)ノ如キ是ナリ其他ハ土人ノ所領地箇々分立セシガ本年新ニ聯合
 シテねくりせむびらん及英國保護巫來國ノ兩聯合國ヲ組織セリ(英國
 ナノ保護)

●氣候產物 氣候ハ赤道直下ニ位スルヲ以テ極メテ炎熱ナリ一般
 ニ森林夥シク繁茂シ其間ニ猛獸毒虫多シ有用ナル生産物ハ砂糖・米
 ・胡椒・藍・香料ヲ主トス砂糖米香料ノ如キハ香港ヲ經テ我邦ニ輸
 入ス

英領殖民地ハ印度洋及ヒ支那海貿易地ノ中心ヲ占メ要重ノ地ナリ新嘉坡(Singapore)島ハ半島ノ極南端ニアリ赤道線ヲ距ルコト僅ニ一度ニ過キス島ハ大陸ト一里ヲ隔ツ此島ハ一千八百十九年英國ガ酋長ヨリ購ヒ得テ築港シ貿易港トナセリ然ルニ此地東西兩洋通商ノ要路ヲ占メ印度諸國南洋及歐洲トノ通商貿易ハ皆此港ニ依ルヲ以テ次第ニ繁昌シ人口既ニ十六萬貿易額ニ億七千萬弗ニ達シ東洋ノリぱ一ぶ一るト稱セラレ貿易品ハ附近各地ノ產物ヲ集メテ歐洲ニ輸送シ又歐洲品ヲ印度各地ニ配送ス氣候炎暑ナレモ瘴氣少シ我橫濱ヲ距ルコト二千九百零二哩歐洲來往ニ必由ノ港ニシテ日本領事館ヲ置キ邦人ノ居留スル者多ク我國ヨリ輸出スルハ金巾石炭摺附木ヲ重モノナリトシ其額年一年ニ増加スレバ後來一層我邦人ノ注目スベキ港ナリ

●後印度史 以上安南・暹羅・緬甸・巫來ノ各地ハ之ヲ後印度ト

稱ス葡萄牙人まるこぼろ氏(Marcopolo) 週遊ノ後歐洲ニ知ラレタリ其後葡萄牙人管轄ニ歸セントセシモ遂ニ果サス只其一部ヲ領スルニ過キサリシ本邦人モ足利氏ノ頃ヨリ屢々此國ニ通商セシモノアリ彼ノ山田長政ノ如キハ暹羅ニ渡航シテ其内亂ヲ戡定シ遂ニ其國ヲ支配セシ程マテニ至レリ然レモ偉業繼カス遂ニ外國ノ手ニ歸スルニ至レリ

●其後佛國此ノ土ニ垂涎シ宣教師ヲ派遣シ宗教ノ力ニヨリ侵略ノ目的ヲ達セントセリ英國モ亦前印度ヨリ漸次此ノ西岸地方ヲ蠶食シ或時ハ緬甸ト戰ヒ或時ハ暹羅ニ事アリ終ニ緬甸ノ如キハ國力自ラ疲レテ該國ノ條下ニ述ベシ如キ有様トナレリ○又佛國ハ安南ヲ侵略シ暗ニ英國カ緬甸併合ノ策略ニ對スルモノ、如クナリシカ途ニ南安モ亦其條下ニ述ベシ如キ事狀トナリ前後二王國相續テ獨立權ヲ失ヘリ

暹羅ハ獨リ其間ニアリテ僅ニ獨立スルノミ

印度 India or Hindustan

印度ハ現今大概英領ニ歸ス故ニ或ハ英領印度(British India)ト稱ス又後印度ニ對シテ前印度トモ稱セリ或ハ又温都斯坦ト謂ヒ我邦ヨリハ天竺國ト稱シタリ其位置ハ亞細亞三大半島ノ中間ニ當リ北緯二十度東經七十五度ヲ中央トス○面積二十四萬四千六百方里アリ凡我國二十倍シ歐洲全土ノ三分ノ一ニ均シ東西ノ直徑七百三十餘里南北ノ長ハ約八百里アリ即チ樺太ノ北端ヨリ琉球ノ南端ニ至ルニ均シ此ノ廣大ナル地ハ現今概ネ英國ノ支配シテ其利ヲ收ムル所ナリ

●地容 土地ノ高低甚タ不均ニシテ北邊ニハ有名ナルヒマラヤ

(Himalaya)山(或ハ雪山)ノ連峯ニ萬三千尺ノ平均ヲ以テ凡ソ三百五十里ニ

亘リ就中世界ノ最高峯タルエベレスト(Everest)ハ二萬九千二百尺ニ登

ユ而シテ此ノ山脈以南ハガンヂス河(Ganges)(或ハ恒河)流ラズ

(Brahmaputra) 河及印度河ノ沿水地ニシテ廣大無邊ノ平野ナリ故ニ地勢ハ最モ凸凹不整ナリ今之ヲ概括スレバ左ノ如シ

- (一) ひまらや山地
 - (二) 中部高原或ハでかん高原ト云フ
 - (三) 低地ハ恒河及印度河沿水低地(或ハ温都斯坦平原及海岸低地)
- (一) ひまらや山地ハ一萬三千尺ノ平均高度ヲ以テ成リ其麓ハ熱帯ノ喬木鬱蒼トシテ生スレモ七千尺ヨリ一萬二千尺ノ高所ニ至レハ喬木絶ヘテ灌木ヲ生シ又一萬二千尺乃至一萬五千尺ノ間ニハ庶草苔蘚ヲ生シ一萬五千尺以上ノ頂ニ達スレハ熱帯ニアリト雖モ四時概ネ氷雪ヲ以テ掩ハル故ニ或ハ雪山ノ名アリ(二) 中部高原ハガーツ(Ghats)嶺其西岸及東岸ニ亘リ中部ニ一千尺平均ノ高原ヲ包メリ其ノ間ヲゴダワリ(Godavari) キストナ(Kistona) ノ二大河流域ヲ攔キテ東流シへんかる灣

ニ入ル(三) 低原・恒河平原ハ雪山障塙ノ南麓ニ沿ヘル一大平野ニシテ印度中、最モ豊富ノ地ナリ上流地方ハ雨期ニ際スレハ濛雨注クガ如ク所々ニ沼澤ノ濕地ヲ生シ炎熱ノ爲メ其水氣蒸發シテ森林鬱蒼トシテ茂生シ種々ノ雜草沼澤ヲ掩ヒ猛獸毒蛇其中ニ潜伏シ人ノ住スヘキ所ニアラス中流以下ニ至レハ流域ノ幅廣ク無邊ノ沃野ニシテ一圓ノ耕地ニ諸種ノ農産ヲ生シ物産甚タ多シ・恒河ハ雨量夥シキ高原地方ノ衆水ヲ集ムルヲ以テ其河流深廣ニシテ其長サ約千五百五十哩幅一哩乃至二哩ニ達シ汽船モ八百哩ノ上流ニ遡ルコトヲ得ベシ此河ハ土人ノ神河雪水ト稱シ之ヲ飲ミ之ニ沐シ之ニ禱ルモノナリ其沿岸ハ印度最盛部トス此河ハ支流甚タ多ク最大ノ支流ヲ玄ゆむな河(Jumna) トス八百六十哩ノ長流ナリ○印度河沿水地ハ前者ヨリ却テ廣シト雖モ概テ砂漠ノ地ニシテ瘠薄ノ地ナリ然レトモ河流ハ深廣ニシテ運漕ノ便

甚々宜シ○海岸地ハガ一ツ嶺以外ノ海濱ニ存スル幅狭キ地ナレトモ、
地味一般ニ肥ヘタリ東岸ヲころまんでる海岸ト云ヒ西ヲまらば一海
岸ト稱ス東岸ハ頗ル廣ク繁昌ノ所少ナカラス

○氣候

土地廣ク且ツ高度均シカラサルヲ以テ處ニヨリテ大ニ寒
暖ヲ異ニス即チひまらや山地ノ如キハ雪際ニ入り其麓ハ爽涼ニシテ
十七八度(薩摩南部)ヲ平均トスレトモ南部ハ低地ハ炎熱燻クカ如ク三十八
度ニ達スルコト稀ナラス概スルニ印度ノ炎暑ハ四月五月及十月ニシ
テ之ヲ熱季ト唱ヘ一年中ノ最熱最早ノ時ナリ○六月ヨリ九月マテヲ
雨季ト云ヒ西南氣候風ヲ被リ所謂印度ノ多雨期ナリ雨期ニ近ツケハ
氣候風黒雲ヲ送り來リ陸ニ近クニ從ヒ益々重積シ電光雷鳴交々起リ
遂ニ沛然ノ大雨トナル是ヨリ晴天少ナク七月ニ至リ雨勢最モ強ク九
月ニ及ンテ止ム故ニ其ハ雨量ハ多キコト世界第一トス即チべんがる

(Bengal)地方一年ノ雨量ハ一萬五千四百五十三寸五分ヲ平均トス然
レモ多雨ノ年ハ二萬六寸ヲ超ルコトアリ則チ本邦ノ十二倍強ニ當
レリ此ノ夥シキ量ハ多クハ雨期ニ降ル量ナリ博士ふしける氏ハ雨期
三ヶ月間ニ一萬二千六百五十寸ヲ數ヘタリト云ヘリ以テ此期中ノ強
雨豪注スルヲ知ルベシ雨期ハ濕氣夥シク百物徹ヲ生スル實ニ甚タシ
雨期ノ長キ濕氣ノ多キ我國梅雨ノ候ヲ三四倍シタルモノト想像スレ
ハ大差ナシ・故ニ雨期中ハ百業休止ノ姿ニシテ官衙商人ハ各一定ノ
避暑避雨地ニ移轉スルヲ常トス日本ノ梅雨ハ蓋シ此地多雨ノ影響ナ
リ然レトモ印度ノ雨量ハ所ニヨリ同シカラス僅ニ場處ヲ隔ツルモ氣
候風ヲ被ムラザル地ハ年中却テ旱魃ヲ感ス即チ西ガ一ツ嶺ノ内部ノ
如キ年中僅ニ五百六寸二分ニ過キス○冬期ニ至レハ東北ノ乾風ヲ
被ル此風ハ大陸内地ヨリ雪山ヲ越へ來ルモノナレバ雨滴少ナク此風

期ハ乾燥ニシテ爽快リ節ナリ是レ十一月ヨリ三月迄トシ冷季ノ稱アリ之ヲ要スルニ印度ニハ冷季・熱季・雨季ノ三期節アリ

●産物 西南氣候風ハ印度大平原ヲ濕潤ナラシムル恩風ニシテ植物ノ種類夥ク鬱茂シ隨テ動物ノ珍奇ナルモノ其間ニ多シ又地中ニハ礦物ノ富アリ故ニ天然ノ産ハ悉ク供ラサルコトナク實ニ天産無盡藏ノ地ト云フヘシ英人ノ夙ニ眼ヲ注キシモ亦宜ナリ今其最モ著シキモノヲ舉クレハ第一ハ農産物ニシテ世界ノ一大穀廩トモ稱セラル其人ロノ七割ハ農耕ニヨリ生活シ輸出品ノ九割以上ハ農産物ナリ米・粟・麥ノ三穀ハ最モ重要トシ内稻米首位ニ居リ水田ハ全國耕地ノ四割二分ヲ占メ東北地方ハ産米地ノ最タリ●茶・咖啡モ一大産業ニシテ専ラ外國輸出品トス●鴉片ハ印度ノ特業ニシテ其產地ハベンがる地ヨリ中央ニ亘リ其主ナル輸出場ハ支那トシ政府歳入ノ重モナル物ナ

リ●甘蔗・棗ノ培養モ盛ニ行ハル○非食品中ノ主品ハ棉花ナリ世界ニ於テハ其産額北米ニ一步ヲ讓レテ遙ニ支那ニ超ヘタリ孟買附近ハ其產地トシ知ラレタリ其外黃麻・木油・藍等少ナカラサル産アリ雪山ノ麓ニハ森林多ク麻栗樹油樹及ヒ竹叢多ク其谿谷ハ榕樹亭々天ヲ蔽フテ高ク其他巨大ノ樹木甚タ多シ香料・椰樹ハ到ル所翁鬱タリ森林叢莽ノ間ニハ奇禽珍獸多ク象・獅子・駱駝・犛牛・驢多ク毎年之ヲ捕獲スルコト多キ換リニ又猛獸ノ爲メ害セラル人モ少ナカラズ(最近ノ調査ニ毎年獅子虎豹狼等ノ捕獲セラルモノ約五萬三千頭人ノ害セラレタルモノ四萬三千人毒蛇ノ捕獲五十五萬條人ノ害セラレシ者四萬七千人ナリ)

鳥類ニハ孔雀・鸚鵡・鷲鳥アリ礦物ハ山地ニ夥シク石炭・鐵ヲ埋藏シ現ニ輸出スル額モ莫大ナリ金(年額三十萬千磅ヲ産ス)銀亦産ス寶石ハ金剛石

ヲ初メトシ紅綠ノ寶石アリ○人造品ハ天産ニ比スレバ頗ル劣レトモ
 棉花紡織業ノ如キ工場百四十餘鍾數三百六十五萬ニシテ亞細亞第一ナ
 リ其他黃麻紡績藍烟草ノ製造盛ナリ又北地ノ毛織物低地方ノ生糸等
 頗ル名アリ

○人民 人口ハ二億八千七百三十萬アリ人口ノ多キコト世界第二

(第一)トス内英人等ノ移住者十餘萬アリ土人ノ大部ハ往昔亞細亞ノ西
 北ヨリ轉セシヤリヤン種ニ屬スル温都人ナリ是レ則チ重モニ印度人
 ト稱スル者ナリ此ノ種ハ赭黑色ニシテ容貌偉大ナリ文學禮儀ヲ尊ヒ
 貴賤ノ別甚タ嚴ニ上ヲ僧侶族ト云ヒ次ニ武士族・農商族・職工族ノ
 四階級アリテ互ニ交際セズ蓋シ進歩ヲ障クル一因ナラン○宗教ハ婆
 羅門教盛ニ行ハレ古代ノ風俗政治皆之ニ基ツク釋迦出テ、佛教ヲ説
 キ種族階級ノ風殘忍非道ノ風等ヲ一掃セント務メタレトモ土人ハ今

尙ホ舊教ヲ迷信シ奇異ノ事多シ例ヘハ恒河畔ノ靈地ヲ巡禮シテ神水
 ヲ飲ミ神水ニ沐シ而シテ餓死ヲ榮トスルカ如キ或ハ人死スレハ恒河
 ノ水ニ浸シテ後火葬スルカ如キ或ハ寺院ニ斷食シテ死スルカ如キ或
 ハ夫死スレハ其妻夫ノ骸ト共ニ燔死スルカ如キ或ハ太陽ヲ睨ミ睨ヲ
 轉セザルヲ神ニ對スル務トナスカ如キ或ハ金牛ノ尿水ヲ飲ムアリ或
 ハ掌中ニ火ヲ點スルアリ務メテ我身ヲ苦惱セシムルヲ以テ神慮ニ協
 フモノト妄想スルノ奇習アリ故ニ印度ハ妖怪ノ府ト稱セラル英國政
 府モ其處置ニ困却セリト云フ

○都邑 加尔各答府 (Calcutta) ハ印度ノ首府ニシテ恒河吐口ノ西

岸三稜洲中ニアリ英國占領以來俄ニ繁昌シ人口九十萬ニ至レリ英國
 ノ印度政廳及印度鎮臺ノ本營アリ印度太守此府ニ居ル市街歐風ニシ
 テ繁昌ナレトモ土人ノ住スル一部ハ汚穢ニシテ貧窶ノ狀ヲ顯セリ

なれず (Benares) は恒河中流ノ都邑ニシテ人口三十一萬ヲ有シ織物、鴉片ノ製造所アリ土人等カ靈地ト稱シ巡拜スル所ニシテ寺院多シ釋迦出山ノ後最初ニ來錫セシ所ハ本市ナリあるはばつど (Allahabad) ハ猶上流ニアリ河口ヨリ汽船往來シ西北州ノ政廳ヲ置キ城塞ニハ英兵屯營セリ又土人ノ靈地トシテ巡拜スル所ナリ人口十七萬五千ヲ有ス○東海岸ノまどらす (Madras) ハ人口四十二萬アリ繁盛ノ貿易港ナリ西海岸ノ孟買 (Bombay) ハ人口八十萬ヲ有スル世界屈指ノ商港ニシテ東西兩洋ヲ往復スル船ノ集マル所、綿類ノ輸出甚ク盛ナリ日本領事館ヲ置ク中央ニはいだらばつど人口三十七萬恒河中流ニらくの(人口二十七萬北部印度ニでりー (Delhi) 人口十九萬等ノ都會アリ

●邦制 印度ハ概略英領ニ歸シ重要ノ所ハ之ヲ殘サス然レトモ小部分ノ獨立州アリ即チねばーる (Nepal) ぶーたん (Buthan) 及び

(Cashmer) じきん (Sikkim) ヲ重モナル州トス共ニ北部山地ニ僻在ス又東岸ニ佛領ぼんちせり (Pondicherry) 西岸ニ葡領ごあ (Goa) アリ其他ハ大概英領及其保護地トス○印度ノ政事ハ英國皇帝派スル處ノ印度太守之ヲ掌トリ外ニ十五名ノ參政官アリ其下ニ外務、財政、農政、內務、軍務、工務ノ六參事官アリ各州ニハ知事及ヒ副知事アリ國中ヲ六大部ニ分チ各政廳アリ獨立州ニハ酋長アリテ之ヲ領ス

●交通貿易 古來第一ハ貿易路ハ恒河ナリ今尙此河ニ從事スル舟子三十四萬アリ小汽船ハ河口ヨリ八百哩ノ上流ニ溯ルコトヲ得ベシ故ニ印度繁盛ノ都府ハ多ク此ノ河道ニアリ○今ハ鐵道二萬餘哩ニ達スルヲ以テ交通甚ク便ナリベなれず府ハ各市場ニ赴ク商人ノ集マル所ナリ印度河モ西部ノ通路ナリ斯ク陸運水運共ニ便ナルヲ以テ貿易總額ハ年々十億圓ニ下ラズ輸出品ノ重モナルモノハ支那ニハ鴉片ヲ

盛ニ出シ歐洲ニハ綿・麻・茶・獸皮ヲ出ス綿類ハ我國ニ輸入スルモ
 ハ年々七百萬圓ニ下ラス其他藍・獸皮ヲ輸入ス我國ヨリハ洋傘(三百
 萬圓摺附木)二百萬圓ヲ輸入品ノ主ナル物トス・絹布ノ如キ雜貨ヲ如
 キ益日本品ハ需用ヲ増シ將來大ニ望ヲ屬スベキ一大土ナリ

●錫蘭島(Ceylon) 本島モ亦英領ニ歸シ幅員二萬四千七百哩ア
 リ我北海道ニ似タリ

大陸トばるく(Pale)峽ヲ隔ツ地勢ハ南部ハ山地ニ屬シ最高峯ヲあだむ
 ナ(Adams)山ト稱ス海拔八千二百八十尺アリ本島ハ元ト洋島ニ屬シ其
 大陸ト隔離セシハ蓋シ甚ダ古シ故ニ島内殊異ノ動植物アリテ自ラ大
 陸ト異ナリ山地ニハ玉桂ト稱スル造船ノ良材アリ珈琲・肉桂・煙草
 ・椰子・綿・茶ハ本島ノ特産ニシテ年額三千八百萬圓ハ輸出アリ山
 地ニハ象多クまななる(Mannar)灣ヨリ眞珠ヲ出スころんぼ府(Colombo)

ハ西岸ニアリ人口十二萬七千ヲ有ス島廳ノアル處其港ハ東西來往ノ
 郵船必ス寄港シ繁昌セリ島内ノ人口總テ三百零一萬アリ此島ハ昔釋
 迦牟尼出身ノ地ニシテ土人ノ佛教ヲ信スルモノ多シ歐洲人ハ二萬四
 千人アリ要スルニ本島ハ印度洋中產物ニ富ム一樂土ナリ

●沿革時事 印度ハ世界ハ古國ナリ今ヨリ凡四五千年ノ頃ヨリ國
 ヲ成シ三千年前ヨリ屢々中央亞細亞移民ノ爲メニ害セラレ八百年代
 ニハ回教兵ヲ被リ又蒙古ノ爲メニ征服セラレタルコトアリ其後葡萄
 牙・和蘭・佛蘭西等此土ヲ羨望シ屢々其領トナサントセリ然ルニ爰
 ニ最モ望ヲ屬セシハ英國ナリ即チ千六百年代政府保護ノ下ニ東印度
 商會ナルモノヲ起シ沿岸及内地所々ニ貿易ヲ開キ甚タ勢力アリ此ノ
 社保護ノ爲メ兵ヲ派シ遂ニ漸ク内地ノ諸侯ヲ征服シ千八百五十八年
 ニ至リ商會ハ遂ニ其管理權ヲ英國政府ニ讓リ茲ニ全ク英領トナレリ

爾來英國ハ此土ノ利用ニ從事シ當今ニ及ヒテハ每年穀類・綿類・貴金其他土產ヲ輸出スル額ハ四億五千萬圓ニ下ラズ鐵道ノ延長二萬餘哩ニシテ年々六百十五哩ノ割ヲ以テ増進セリ電信線三萬哩學校生徒數三百五十萬人ニ及ベリ○然レモ此ノ文明ノ事物ヲ利用スルハ概テ英人ニシテ土人ハ依然タル數千年前ノ天然人ナリ僧侶族ハ尊大驕傲ニ流レ下等族ハ益卑屈固陋ニ陥リ徒ニ宗教ニ心醉シテ世ノ大勢ヲ知ラズ各種族互ニ敵視シテ國ノ亡滅ヲ悟ラズ此大邦土無限ノ富ハ悉ク英人ノ收ムル所ニ任ス但シ人口中最モ少數ナル「ぼーモン」種ハ智力學力金力ニ富ミ印度人中獨リ進歩開化シ貿易業ニ熱シ且ツ印度人ニシテ最初ニ英國々會議員ニ撰舉セラレタルモ此種ナリ又我日本郵船會社ト連絡シテ日印間ノ海運業ヲ創始シタルモ此種ナリ(印度ノ領事吳大五郎氏カ本年九月印度内地巡廻報告ニ採リシ所影ナカラズ)

土耳其斯坦 西韃靼 Turkistan

支那韃靼ノ境ヨリ東裏海濱ニ達シ北ハ亞良留湖ニ至ル面積十萬七千方里ノ地ヲ西韃靼トス即チ我四倍ノ面積アリ
 地勢ハ著シク二部ニ分ル即チ東南部ノ高地・西北部ノ低原是ナリ支那ニ境スル處ハ高山連亘シテ一萬五千尺ニ達ス其谷ハ肥沃ニシテ草木繁茂シ稍々繁盛ナリ東南ノ境界ハぼみる(Pamir)高原ニシテ英露ハ兩國境界ハ件ニ就キ久シク争ヒシ所ナリ西北ノ低原ハ之ニ反シテ到ル處沙漠ニ屬シ一望際ナシ其地古昔ノ海底ニシテ往々鹽原アリ且ツ裏亞二海ノ水面年々減少スレハ湖面モ遂ニ鹽原ト變スルノ期アルベシト云フ・裏海畔ハ最低クシテ裏海ノ水準海面ヨリ降ルコト八十四尺ナリ此平原間ヲ走ル二大河アリ一ヲあむー河(Amud)或ハれくさす河(Oxus)ト云ヒ一ヲシる河(Sir)ト云フ共ニ高原地方ヨリ發シ亞良留湖ニ

入ル西部ニ湛ヘタル裏海。其面積十三萬二千方哩、則チ世界第一ハ鹹湖ニシテ露國艦隊常ニ之ニ浮ヒ威ヲ南部ニ振ハントス其湖漁業多ク行ハレ湖邊ハ濕地多シ是レ乾涸シタル遺蹟ナリ亞海ハ北邊ニアリテ鹽分濃厚ナリ而シテ其水モ漸次ニ乾涸セリ

●氣候產物 氣候ハ沙漠多キヲ以テ寒暑著シク懸隔シ夏期南東風ノ間ハ四十五度ノ高温ニ達スルコトアリ水澤ハ沙漠ノ爲メニ吸收セラレテ涸レ頗ル炎熱ナリ冬期西北風吹クニ至レハ寒威俄ニ加ハリ十月ニ至レハ河水氷ヲ結ヒ氷點以上ニ昇ルコトナシ產物ハ灌水ヲ得ル處ハ稍々肥沃ニシテ綿・桑ヲ産シ其他ハ羊馬駱駝ヲ出ス又河床ヨリ砂金ヲ出スニ過キス

●民族 多クハ遊牧民ニシテ水草ヲ逐フテ移轉シ張幕ヲ家トス間々馬上鎗ヲ横タヘ沙漠ノ中ヲ漂泊シ劫賊ヲ業トスルモノアリ其土着

スル者ハ粗造ノ農具ヲ以テ耕業ニ從事ス人口七百八十萬アリト云フ
●都邑 ぼーから(Bokhara)府ハしる河域ヲ占メ露西亞支那間ノ内地貿易行ハル、處ナリ人口十萬アリさまるがんど(Samarcand)ハ昔亞細

亞ヲ併呑シ併セテ歐洲ヲモ震懾セシメタル帖木兒ノ首府トシテ建タル有名ノ都城ニシテ帖木兒ノ墳墓觀象臺ノ跡今ニ存セリ○こーかん(Khokan)ハしる上流樹木繁茂セル平原地方ニアリ

●沿革時事 此地ハ昔數名ノ酋長アリテ各々一方ニ割據シ壯大ナル都邑ニ宮殿ヲ構ヘ各其一部ヲ支配セリぼーからこーかんぎぐあ等ノ區畫ハ酋長割據ノ名稱ナリ然ルニ西曆千八百六十年ノ頃ヨリ露國圖南ノ政略ヲ以テ頻リニ此地ヲ侵略シ酋長等之ヲ防クコト能ハスぎぐあノ酋長ハ千八百八十三年遂ニ露國ト君臣ノ約ヲ結ヒテ臣從シ同年又こーかんノ酋長モ露政府ニ屈服シ遂ニ其版圖ニ入レリぼーか

シノ酋長獨リ境界ヲ確守セシモ遂ニ其位置ヲ保ツヲ得ス明治十八年
 又露國ノ版圖ニ歸スルコトナリ遂ニ全ク露西亞ニ併吞セラレタリ元
 來此地ハ獨立セシ統一政治ヲ建テシコトナク初メ國中數多ノ邦國ヲ
 建テシガ回教兵ノ爲メニ征服セラレ次テ元ノ世祖及ヒ帖木兒ノ略定
 スル所トナリ未タ一タヒモ獨立セシコトナシ是レ此地ハ人民ハ遊牧
 ニシテ定住ナク國家獨立ニ主要ナル共同心ヲ缺ケハナリ

阿富汗及比耳路斯坦 Afghanistan and Beluchistan

西韃靼ノ南ヨリ亞良比亞海ニ至ル迄ノ總稱ニシテ東境ニヒンドク
 志ゆ山 (Hindo-Kush) アリ北部ヲ阿國トシ南部ヲ比國トス北緯三十度兩
 國ノ境ニアリ面積合算七萬五千二百方里アリ我國ノ三倍強ニ當ル

●地勢 亞國ハヒンドク志ゆ山ニ萬尺ノ高度ヲ以テ北境ニ聳ヘ

東方ニナリまんど山系 (Suliman) アリ臺地次第ニ東南方ニ傾斜セリ内地
 ニへるまんど河 (Helmand) アリ河畔及山間ニ肥沃ノ地ヲ存セリ比國ハ
 其幅員亞國ノ半ニ過キス其東方ハ高原ヲ以テ印度ト境シ南方モ高地
 ニヨリテ亞良比亞海ニ臨ム國內河流少ナク中央ハ礫确ノ高原ニシテ
 東北隅ニ僅ニ沃野ヲ存スルノミ

●氣候物産 氣候ハ寒暑ノ懸隔甚タシク又地形凸凹多キヲ以テ所
 ニ隨ツテ大ニ異ナリ概スルニ夏甚タ熱ク冬格外ニ寒シ然レトモ乾燥